

官報

號外 昭和十一年五月十日

○第六十九回 衆議院議事速記録第六號

昭和十一年五月九日(土曜日)

午後一時二十分開議

議事日程 第五號

昭和十一年五月九日

午後一時開議

第一 米穀自治管理法案(政府提出) 第一讀會

第二 米穀統制法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 穀共同貯藏助成法案(政府提出) 第一讀會

第四 產繭處理統制法案(政府提出) 第一讀會

第五 蠶絲業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第六 蠶絲業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第七 昭和六年法律第四十號中改正法律案(重要産業ノ統制ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第八 商工組合中央金庫法案(政府提出) 第一讀會

第九 自動車製造事業法案(政府提出) 第一讀會

第十 東北興業株式會社法案(政府提出) 第一讀會

第十一 東北振興電力株式會社法案(政府提出) 第一讀會

第十二 不穩文書等取締法案(政府提出) 第一讀會

第十三 思想犯保護觀察法案(政府提出) 第一讀會

第十四 昭和十一年度一般會計歲出入財源ニ充ツル爲特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用等ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第十六 昭和九年法律第七號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル一時賜金トシテ交付スル公債發行ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第十七 對支文化事業特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十八 關稅定率法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十九 大正十三年法律第二十四號中改正法律案(贅澤品等ノ輸入税ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第二十 昭和七年法律第四號中改正法律案(輸入税ノ從量稅率ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

第二十一 製鐵業獎勵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十二 土地賃賃價格改訂法案(政府提出) 第一讀會

第二十三 職業紹介法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十四 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二十五 岩手輕便鐵道株式會社所屬鐵道外三鐵道及兼業ニ屬スル資產買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二十六 江常軌道株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二十七 重要肥料業統制法案(政府提出) 第一讀會

第二十八 航空統制法案(政府提出) 第一讀會

第二十九 臺灣殖殖株式會社法案(政府提出) 第一讀會

第三十 競馬法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三十一 臺灣私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三十二 土地賃賃價格改訂法施行ニ伴フ耕地整理法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三十三 昭和十一年度一般會計歲出入財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三十四 總動員秘密保護法案(政府提出) 第一讀會

第三十五 昭和十一年勅令第七號(災害善後ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

小倉ヨリ後藤寺甘木太刀洗ヲ經テ鳥栖ニ至ル鐵道建設ニ關スル建議案

提出者 田中 亮一君 片山秀太郎君

石井徳久次君 佐保 畢雄君

倉成庄八郎君 沖 藏君

藤生安太郎君 (以上五月八日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

沿岸漁民生活防衛ニ關スル質問主意書

提出者 佐竹 晴記君

行政裁判所法案行政訴訟法案訴願法案權限裁判法案及行政裁判官懲戒法案ニ關スル質問主意書

提出者 宮古啓三郎君 (以上五月八日提出)

一昨八日廣田內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外務省文化事業部長 岡田 兼一

第六十九回帝國議會外務省所管事務政府委員被仰付

內務事務官 入江誠一郎

北海道廳部長 中村 忠充

第六十九回帝國議會內務省所管事務政府委員被仰付

第六十九回帝國議會內務省所管事務政府委員被免

營繕管財局理事 關原 忠三

第六十九回帝國議會大藏省所管事務政府委員被仰付

一昨八日辭任シタル常任委員左ノ如シ

第二部選出豫算委員 山口忠五郎君

第三部選出豫算委員 中野 正剛君

第四部選出豫算委員 由谷 義治君

第七部選出豫算委員 胎中楠右衛門君

第九部選出豫算委員 平川松太郎君

○議長(富田幸次郎君) 是ヨリ會議ヲ開キ

マ、御諮リ致シマス、第八部選出決算委員津原武君、第八部選出懲罰委員川合直次君、第七部選出豫算委員大石大君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマ、仍テ許可スルニ決シマシタ、其部ノ諸君ヘ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、御届アラシコトヲ御願致シマス——次ニ川合直次君ヨリ病氣ニ付五月九日ヨリ五月二十日マデ請暇ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマ、仍テ許可スルニ決シマシタ、尙ホ御諮リ致スコトガアリマス、豫算委員長及ビ建議委員長ヨリ本日本會議中何レモ委員會ヲ開キタイトノ申出ガアリマシタ、尙ホ今後本會議中ト雖モ委員會及ビ分科會ヲ開キタイトノコトデアリマス、之ヲ許可スルニ御

異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メ許可致シマス——是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一乃至第三ハ關聯セル議案デアリマスカラ、一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマ、仍テ日程第一、米穀自治管理法案、日程第二、米穀統制法中改正法律案、日程第三、米穀共同貯藏助成法案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——農林大臣島田俊雄君

第一 米穀自治管理法案(政府提出)

第二 米穀統制法中改正法律案(政府提出)

第三 米穀共同貯藏助成法案(政府提出)

米穀自治管理法案

米穀自治管理法

第一條 本法ハ内地、朝鮮及臺灣ヲ通ズル過剩米穀ヲ統制スル爲内地、朝鮮及臺灣ニ於テ米穀ノ自治管理ヲ行ハシムルコトヲ目的トス

第二條 米穀生産者、土地ニ付權利ヲ有スル者ニシテ米穀ヲ小作料トシテ受クルモノ及命令ヲ以テ指定スル之ニ準ズル者ハ米穀統制組合ヲ設立スルコトヲ得

第三條 米穀統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第四條 米穀統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ニ限リ之ヲ行フモノトス

一 第四十三條(第五十六條第二項ニ

於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ依リ組合ニ於テ統制スベキ米穀ノ數量ヲ組合員ニ對シ制當ツルコト

二 組合ニ於テ統制スベキ米穀ヲ貯藏スルコト

三 前號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付組合員ニ資金ノ融通又ハ其ノ斡旋ヲ爲スコト

四 第四十九條、第五十條(第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)又ハ第五十七條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣渡ヲ爲スコト

五 貯藏米穀ノ倉庫證券ヲ發行スルコト

六 第二號ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ貯藏ヲ解除シタルモノヲ委託ヲ受ケ販賣又ハ保管シ其ノ他米穀ノ自治管理ニ附帶シ必要ナル行爲ヲ爲スコト

前項第五號ノ倉庫證券及シテ其ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 米穀統制組合ノ地區ハ内地ニ在リテハ市町村、朝鮮ニ在リテハ府郡島、臺灣ニ在リテハ廳又ハ郡市ノ區域ニ依ル特別ノ事情アルトキハ米穀統制組合ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外市町村等ノ區域ニ増減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル米穀統制組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ増減アリタルモノトス

第六條 米穀統制組合ノ名稱中ニハ米穀統制組合ナル文字ヲ用フベシ

本法ニ依リ設立シタル米穀統制組合ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ米穀統制組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七條 米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所

ニ依リ其ノ地區内ノ第二條ニ掲グル者ヲ以テ其ノ組合員トス

第八條 米穀統制組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ米穀統制組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル期間内ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ行政官廳ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十條 米穀統制組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ遲滯ナク組合設立ノ旨並ニ組合長及副組合長ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第十一條 米穀統制組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ組合員トス

第十二條 該當スル者ニシテ第七條ノ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員タル資格ヲ有セザルモノハ定款ノ定ムル所ニ從ヒ米穀統制組合ニ加入スルコトヲ得

第十二條 米穀統制組合ニ總代會ヲ置ク總代會ハ組合長、副組合長及總代ヲ以

テ之ヲ組織ス

第十三條 米穀統制組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員中ヨリ總代ヲ選舉スベシ

第十四條 左ニ掲グル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一 收支豫算

二 經費ノ分賦收入方法

三 事業報告及收支決算

四 借入金

五 定款ノ變更

六 第三十七條ニ於テ準用スル第八條ノ同意

七 第四十三條(第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ割當

前項第一號、第二號、第四號及第五號ニ掲グル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十五條 定款ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ増減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入セラレ又ハ削除セラレベキ區域内ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十六條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外總代會及役員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 特別ノ事情アル米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第十八條 米穀統制組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長 一人

副組合長 一人

評議員 數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合長及副組合長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ

役員ノ選任及解任ハ總代會ニ於テ之ヲ行フ

役員ノ解任並ニ第二項但書ノ規定ニ依ル組合長及副組合長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

組合長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ總代ヲ指定シ組合長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

組合長及副組合長ノ選任及退任ハ第四項及第二十六條ノ場合ヲ除クノ外其ノ旨ヲ行政官廳ニ届出ツベシ

行政官廳第四項ノ認可、第五項ノ指定若ハ第二十六條ノ解任ヲ爲シ又ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ告示スベシ

第十九條 組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ並ニ組合ノ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十條 總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ組合長ハ次ノ總代會ニ之ヲ報告

スベシ

第二十一條 米穀統制組合ハ第十八條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

米穀統制組合ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ組合長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ米穀統制組合ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

市町村ガ前項ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザルトキハ組合長ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村制第一百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

朝鮮及臺灣ニ於ケル米穀統制組合ノ經費及過怠金ノ分賦徵收、滯納處分、先取特權ノ順位及時効ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依ル

經費ノ分賦及過怠金ノ徵收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟(朝鮮ニ在リテハ異議ノ申立、臺灣ニ在リテハ異議ノ申立及訴願ニ限ル)ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十四條 使用料及手数料ノ徵收、米穀ノ寄託其ノ他米穀統制組合ト組合員トノ間ニ於ケル權利義務ニ關シテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 行政官廳ハ米穀統制組合ニ對シ組合ノ事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ業務執行又ハ財産ノ狀況ヲ検査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 行政官廳ハ米穀統制組合ノ決議若ハ選舉又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議、選舉若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、總代ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條 米穀統制組合解散又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得尙合併ノ場合ニアリテハ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

米穀統制組合分割ヲ爲サントスルトキハ前項ノ規定ニ準ズル議決及同意ノ外分割ノ各組合ノ組合員又ハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十條及第十五條第一項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外解散、

合併又ハ分割ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 米穀ヲ取扱フ販賣組合（以下米穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テ特別ノ事情アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合ノ事業ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ナキ市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

朝鮮及臺灣ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀ヲ取扱フ產業組合又ハ農會ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フ團體ハ前項ニ規定スル者ヨリ團體員ノ例ニ準ジ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十條 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

トヲ得

第三十一條 米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ地方米穀統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第三十二條 地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第三十三條 地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依ル

第三十四條 地方米穀統制組合聯合會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十五條 地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ代表者ヲ以テ之ニ充ツ

第三十六條 地方米穀統制組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

副會長 一人又ハ二人

評議員 數人

役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

前項但書ノ規定ニ依リ會長及副會長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十七條 第四條第一項、第六條、第八條乃至第十條、第十一條第一項、第十四條乃至第十六條、第十八條第三項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十六條ノ規定並ニ第二十七條中解散ニ關スル規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條 勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣區域トスル米穀ヲ取扱フ販賣組合聯合會（以下道府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得

第三十九條 地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ハ其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ニ準ジ第三十七條ニ於テ準用スル第四條第一項ニ掲グル事業ヲ行フコトヲ得

第四十條 地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲ス場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第三十條第二項ノ規定ハ前項ノ團體ニ之ヲ準用ス

前條ニ規定スル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ代表者ヲ第一項ノ總會又ハ總代會ニ出席セシメ表決權ヲ行使セシムルコトヲ得

第四十一條 政府ハ毎年内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米穀需給推算ヲ行ヒ米穀ノ供給過剩ナリト認ムルトキハ其ノ過剩數量ノ範圍内ニ於テ定ムル一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

前項ノ米穀需給推算ノ方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ一定數量ノ内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ノ米穀管外移出數量ノ増加趨勢ノ外ニ米穀管外移出數量、米穀收穫ノ豐凶等ヲモ參照シテ之ヲ定ム

第四十二條 前條第一項ノ米穀需給推算及統制スベキ米穀ノ數量並ニ同條第三項ノ割當ノ割合ニ付テハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ定ム

米穀自治管理委員會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 政府ハ第四十一條ノ規定ニ依リ内地、朝鮮及臺灣ニ付定マリタル數量ヲ各内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ニ對シ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ命ジ、地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合會ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ團體員及第二十九條ニ規定スル者ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムベキ米穀ノ數量ノ割當ニ付テハ前二項ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四十四條 地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體前條ノ規定

ニ依ル割當ヲ爲サザル場合ニ於テハ政府ハ之ニ代リ割當ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 前二條ノ割當ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當デラレタル數量ノ米穀ヲ貯藏スルコトヲ要ス但シ其ノ貯藏ヲ解除シタルモノノ及第四十九條又ハ第五十條ノ規定ニ依リ政府ノ買入ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員ハ第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ依リ割當デラレタル數量ノ米穀ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ寄託スルコトヲ要ス第二十九條及第三十條ニ規定スル者ニ付亦同ジ

第四十八條 米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除クノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條 政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮及臺灣ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生産費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌

シテ定メタル價格トス

第五十條 政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ越エルモノ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 米穀商統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第五十三條 第四條第一項、第六條及第八條乃至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十四條 勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀取扱業者ノ組織スル商業組合又ハ重要物產同業組合若ハ朝鮮重要物產同業組合令ニ依リ同業組合ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十九條及第三十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條 勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニシテ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ下ラントスル虞アリト認ムルトキハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ一定數量ノ米穀ヲ内地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

第五十六條 前條ノ場合ニ於テハ政府ハ各内地、朝鮮及臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ命ズ

第四十三條乃至第四十八條及第五十條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ統制ヲ命ゼラレタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 政府ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ガ前條ノ規定ニ依リ貯藏スベキ米穀中貯藏能力其ノ他ノ事情ニ依リ貯藏困難ナリト認ムルモノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ内地米ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮米又ハ臺灣米ニ在リテハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ定メタル價格トス

第五十八條 朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條、第十八條、第十九條及第三十六條ノ規定（第三十七條又ハ第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十九條 地方米穀統制組合聯合會又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第六十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十一條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體第四十六條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ其ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ組合又ハ團體第四十八條第一項ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ亦前項ニ同ジ

第六十二條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員、第二十一條ノ職員、總代、議員、組合員又ハ代議員本法ニ依リ割當又ハ貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十三條 第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ

定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキ亦同ジ

第六十條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十一條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體第四十六條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ其ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ組合又ハ團體第四十八條第一項ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキ亦前項ニ同ジ

第六十二條 米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體、地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員、第二十一條ノ職員、總代、議員、組合員又ハ代議員本法ニ依リ割當又ハ貯藏ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴ス

第六十三條 第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ

處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキ
ハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得
第六十四條 第四十九條(第五十條(第五
十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含
ム)及第五十七條ノ規定ニ依ル米穀ノ
買入ニ關スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需
給調節特別會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十一條第一項ニ規定スル一定數量ノ
内地、朝鮮及臺灣ニ對スル割當ノ割合ハ當
分ノ内同條第三項ノ規定ニ拘ラズ内地百
分ノ三十五、朝鮮百分ノ四十三、臺灣百
分ノ二十二トス但シ政府ハ内地、朝鮮及
臺灣ニ於ケル米穀收穫ノ豐凶等ニ依リ米
穀自治管理委員會ニ諮問シテ之ヲ變更ス
ルコトヲ妨ゲズ

米穀統制法中改正法律案

米穀統制法中左ノ通改正ス
第二條第三項中「前項」ヲ「前二項」ニ改メ
同條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テ
ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料
ヲ加算スルコトヲ得

第四條ノ二 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依

リ災害、事變其ノ他避クベカラザル事
由アル場合ニ於テ米穀ノ配給上特ニ必
要アリト認ムルトキハ米穀ノ市價ニ惡
影響ヲ及ボサザル場合ニ限リ所有米穀
ノ總數量ヨリ最高價格ヲ維持スル爲必
要ナル數量ヲ控除シタル數量ノ範圍内
ニ於テ道府縣ニ對シ米穀ノ賣渡ヲ爲ス
コトヲ得
前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之

ヲ定ム

第八條及第九條中「高粱又ハ黍」ヲ「高粱、
黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム
第十二條中「高粱若ハ黍」ヲ「高粱、黍、
小麥若ハ小麥粉」ニ、「高粱又ハ黍」ヲ「高
粱、黍、小麥又ハ小麥粉」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四條ノ二ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ニ關
スル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別
會計ニ屬セシム

糧共同貯藏助成法案

第一條 政府ハ產業組合、農會其ノ他勸

令ヲ以テ指定スル團體ガ米穀ノ出廻數
量ノ調節又ハ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ糧
ヲ貯藏スルトキハ之ヲ助成スル爲貯藏
團體ニ對シ米穀需給調節特別會計ニ屬
スル米穀ヲ交付スルコトヲ得
前項ノ交付ニ關シ必要スル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ規定ニ依リ交付スル助成米ノ
數量ハ毎年三十萬石ヲ超ユルコトヲ得
第二條 政府ハ本法ニ基ク命令ニ違反シ
タル團體ニ對シ其ノ交付ヲ受ケタル米
穀ノ價額ニ相當スル金額ノ全部又ハ一
部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

第三條 本法ニ依ル助成米ノ交付ニ關ス
ル一切ノ歳入歳出ハ米穀需給調節特別
會計ニ屬セシム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今議題トナリ

マシタ、米穀關係三法案ノ提案理由ヲ簡單

ニ申上ゲマス、御承知ノ如ク政府ハ曩ニ米
穀統制法實施ノ經過及ビ諸般ノ米穀事情並
ニ財政上ノ影響等ニ鑑ミマシテ、是ガ對策
攻究ノ爲メ、特ニ設置セラレマシタル米穀對
策調査會ノ答申ニ基キマシテ、米穀自治管
理法案、米穀統制法中改正法律案及ビ糧共
同貯藏助成法案ノ三案ヲ立案ヲ致シマシテ、
之ヲ第六十七回帝國議會ニ提案致シマシタ
リ而シテ衆議院ニ於キマシテハ、一部修正ノ
上可決サレマシタガ、貴族院ニ於キマシテ
ハ會期満了ノ爲ニ遺憾ナガラ審議未了ニ終
タノデアリマス、然ルニ此三法案ハ何レモ
現行米穀統制法ノ實施上一日モ速ニ之ヲ成
立セシムルノ必要アリト認メマスノデ、之
ヲ本議會ニ提案致シタ次第デアリマス

三法案中第一ノ米穀自治管理法案ノ眼目
ト致シマスル所ハ過剩米ノ統制デアリマス、
内地及ビ外地、即チ朝鮮、臺灣ヲ通ジマシ
テ、米穀ノ生産者等ヲシテ過剩米穀ヲ自治
的ニ管理セシメ、以テ米穀統制ノ目的ヲ達
成セントスルノデアリマス、即チ政府ハ毎
年米穀年度ノ初ニ於キマシテ米穀ノ需給推
算ヲ行ヒマシテ、其結果過剩米アリト認メ
マシタ場合ハ、其過剩數量ノ範圍内ニ於テ
一定數量ヲ定メテ、之ヲ内地、朝鮮及ビ臺
灣ニ割當テマシテ、ソレノ機關ヲシテ

割當數量ノ米穀ヲ貯藏管理セシムルノデゴ
ザイマス、統制ヲ行フ機關ト致シマシテハ、
内地、朝鮮及ビ臺灣ニ於テ一定ノ地域、即
チ内地ニ於キマシテハ市町村、朝鮮ニ於キ
マシテハ府郡島、臺灣ニ於キマシテハ廳又
ハ郡市ノ區域ニ依リマシテ、其區域内ニ於
ケル生産者等ヲシテ米穀統制組合ヲ設立致
サセマシテ、之ヲ第一次ノ統制機關ト致シ、

更ニ其上級機關ト致シマテ道府縣等ノ區域

ニ依リマシテ、其區域内ニ於ケル米穀統制
組合ヲ以テ組織スル聯合會ヲ設立セシムル
ノデアリマス、而シテ内地ニ於キマシテハ、
農村ノ實情ニ鑑ミマシテ政府ニ於テ許可致シ
マス場合ハ、當該地區ニ於ケル米穀販賣組
合並ニ農會ガ、米穀統制組合等ノ業務ヲ代
行シ得ルコトノ途ガ開カレテアルノデアリ
マス、即チ政府ニ於テ推算上過剩米穀アリ
ト認メマシテ、其數量ヲ決定致シマシタ場
合ハ、先ヅ一定ノ割合ニ依リマシテ之ヲ内
地、朝鮮及ビ臺灣ニ割當テラレマシマス、
内地、朝鮮及ビ臺灣ニ於キマシテ、ソレノ
割當テラレタ所ノ數量ヲ、各米穀統制組合
聯合會又ハ其代行團體ニ割當テマシテ、一
定數量ノ米穀ノ統制ヲ命ジ、聯合會ハ更ニ
其割當テラレタ所ノ數量ヲ、所屬ノ米穀
統制組合又ハ其代行團體ニ割當テ、而シテ
所屬團體ハ割當テラレタ所ノ數量ノ米穀
ヲ、又更ニ各團體ニ割當テマシテ、之ヲ貯
藏セシムルコトトスルノデアリマス、此場
合統制ヲ命ゼラレマシタ所ノ團體ガ貯藏能
力其他ノ事情ノ爲ニ、貯藏困難ナル場合ニ
於キマシテハ、其希望ニ依ッテ政府ハ一定ノ
價格ヲ以テ之ヲ買上ゲマシテ、而シテ統制
ノ目的ヲ貫徹シ得ルコトトシテ居ルノデア
リマス、尙ホ斯ノ如クニ致シマシテ、貯藏
管理セラレタ所ノ米穀ハ、米價ガ標準最低
價格ヨリ一定ノ程度値上リマシタル場合ニ
於キマシテハ、之ヲ解除スルコトトセラレ
テ居ルノデアリマス、以上ノ順序ニ依リマ
シテ、米穀生産者等ノ團體ニ自治管理ヲ行
ハシメマシタ以後ニ於テ、天候等ノ關係ニ
依リマシテ、實際ノ米ノ收穫高ガ増加致シ
マシタ爲ニ、更ニヨリ以上ニ米穀ノ過剩ヲ

來ス如キ場合ニ於キマシテハ、政府ハ第二
次的ニ統制ヲ命ズルコトヲ得ルモノト致ス
ノデアリマス、即チ其場合ニ於キマシテハ、
米穀生産者等ノ團體タル統制組合、又ハ其
代行團體ノ外ニ、更ニ米穀取扱業者ノ團體
ニ對シマシテモ、相當數量ノ割當ヲ致シマ
シテ、統制上遺憾ナキヲ期スルコトヲナッ
テ居ルノデアリマス、斯ノ如ク致シマスコト
ニ依リマシテ、米穀ノ需給ヲ圓滑ナラシメ、
米穀ノ生産者等ハ勿論、配給機關タル米穀
取扱業者モ、不測ノ損害ヲ被ルコトナク、
又消費者ニ對シマシテモ、好キ影響ヲ及ボス
モノト信ズルノデアリマス、尙ホ本案實施
ヲ見ルニ於キマシテハ、政府ハ從來ノ如ク
多量ノ米穀ヲ一時ニ買上ゲルコトガナクナ
リマス次第デアリマシテ、隨テ相當國庫ノ
負擔ヲ輕減シ、米穀統制法ノ運用ト相俟ッ
テ、米穀統制上好結果ヲ齎スモノト信ズル
ノデアリマス、本法案ニ對スル第六十七議
會ニ於ケル衆議院御修正ノ點ハ、過剰米穀
ヲ自治的ニ統制セントスル趣旨ヲ變更スル
モノニアラズト認メマス、仍テ右修正ノ御
趣旨ニ依リマシテ、本法案ニ於キマシテハ、
米穀統制組合ノ事業ノ中ニ倉庫證券發行ノ
項ヲ加ヘマシタ、又中央米穀統制組合聯合
會及ビ之ニ關聯スル事項、販賣組合等ノ米
穀販賣價格ノ制限ニ關スル事項、販賣組合
聯合會ノ下級團體ニ對スル平均賣ノ指令ニ
關スル事項等ハ之ヲ削除致シマシタ、之ヲ
要シマスルノニ、本法案ハ大體ニ於テ第六
十七議會ニ於ケル衆議院修正案其儘ノ内容
ト御了知下サレバ宜シイカト存ズルノデア
リマス……

(清水留三郎君「豫算總會ヲ開キマスカ
ラ委員ノ御參集ヲ願ヒマス」)

次ニ三法案ノ第二、米穀統制法中改正法
律案ニ付テ申上ゲマス、本改正案ニ於キマ
シテ改正セント致シマスル所ハ、第一ニ米
ノ出廻期ニ於キマシテ農家ガ米ノ賣急ギヲ
爲シマシテ、政府ニ對スル賣渡申込ガ一時
ニ殺到スル等ノ弊ヲ防止致シマスル爲ニ、
最低價格ノ金及ビ保管料ヲ加算スルト
云フコトニ致シタ點デアリマス、第二ハ災
害等ノ場合ニ於キマシテ政府所有米ヲ賣渡
シマシテ、應急ノ處置ヲ爲シ得ルノ途ヲ開
クコトト致シタ點デアリマス、而シテ第三
ニハ粳、高粱及黍ト同様ニ米ノ代用食糧デ
アリマスル所ノ小麥及小麥粉ニ付キマシテ
モ、輸入ノ制限及ビ輸入税ノ増減並ニ免除
ヲ爲シ得ルコトト致シタ點デアリマス、此
三點ガ統制法中改正案ノ改正ノ點デアリ
マス

米穀三法案ノ第三ハ、粳ノ共同貯藏助成
法案デアリマス、粳ノ共同貯藏助成ニ付キ
マシテハ、既ニ昭和五年及昭和八年ノ大豐
作ニ際シマシテ、之ヲ獎勵實行致シマシテ、
相當效果ヲ舉ゲマシタコトハ御承知ノ通り
ト存ジマスルガ、本法案ハ此粳ノ共同貯藏
ノ助成ヲ恒久的ノ施設トシテ行ハントスル
コトヲ目的トスルモノデアリマス、即チ產
業組合又ハ農會等ノ團體ガ米ノ出廻リ數量
ノ調節又ハ備荒貯蓄ノ目的ヲ以テ粳ヲ貯藏
致シマスル場合、政府ハ是等貯藏團體ニ對
シマシテ、金及ビ保管料ニ相當スル政府所
有米穀ヲ交付スルコトヲ得ルノ途ヲ設ケマ
シテ、其獎勵ヲ致サントスルモノデアリマ
ス、以上簡單ニ三法案ノ提案理由ヲ説明申
上ゲマシタ、何卒御審議ノ上御協賛ヲ賜ラ
ンコトヲ御願致シマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 質疑ノ通告ガアリ

マス、通告願ニ依リ之ヲ許シマス——工藤
鐵男君
○工藤鐵男君 總理大臣並ニ內務大臣ニ重
要ナル點ヲ質問シタイノデアリマスガ、豫
算委員會ニ居ルサウデスカラシテ、一ツ其
連絡ヲ取ツテ戴キタイ
○議長(富田幸次郎君) 御答致シマス、總
理大臣ハ直グ出席スルサウデアリマス
(工藤鐵男君登壇)

○工藤鐵男君 只今農林大臣ヨリ説明セラ
レマシタル米穀自治管理法外數件、之ニ
關シマシテハ案ノ實質、内容ニ付テハ、自
然特別委員會ニ於テ相當審査セラレ、モノ
ト考ヘマスカラ、私ハ左様ナル案ノ實質ニ關
シマシテハ、寧ロ委員會ニ議リマシテ、主
トシテ今期議會ニ之ヲ提出シナケレバナラ
ヌ事情、其他ニ關シテ當局大臣ニ伺ヒタイノ
デアリマス、此點ニ關スル現內閣ノ考ハ、直
接總理大臣ヨリ伺ヒタイノデアリマスルケ
レドモ、總テ御出席ニ相成ルコトト思ヒマス
ルカラ、其點ハ御姿ヲ見タ上ニ質問シマス、
此缺席大臣ノ多イ爲ニ自ラ順序ガ狂ヒマス
ルカラシテ、自分ノ認メタル點カラ先以テ
質問致シマス、內務大臣ニ關シテバアリマ
スルガ、政務次官ノ御出席ガアリマスルカ
ラ、私ノ申スコトヲ篤ト御聽取ヲ願ヒマシ
テ、大臣ニ之ヲ傳ヘテ、而シテ直接此席ニ
於テ本日此御答辯ヲ御願致シタイノデアリ
マス

ソレハ今回ノ米穀自治管理法案ハ可ナリ
ニ重大ナル案デアリマシテ、謂ハバ日本ニ
於ケル二ツノ階級ヲ對立セシメルヤウナ運
動ニ相成ルノデアリマス、隨テ此案ノ將來
ニ關シマシテハ、朝野舉ツテ之ニ對シテ注目
ヲ怠ラズ、ノミナラズ政府ハ此案ヲ取扱フ

場合ニ於テ、如何ナル態度ヲ執ラレルカト
云フコトマデ相當注意サル、ノデアリマ
ス、昨今頻々私共ノ手許ニ參ル情報ニ依レ
バ、內務大臣ハ全國ノ地方廳ニ移牒致シマ
シテ、或ハ電報其他ヲ以テ、此陳情ノ阻止
運動ヲヤツテ居ルト云フ事實デアリマス、
昨年ニモ斯様ナルコトガ行ハレマシテ、議
會ノ問題ニナリマシタガ、此度ハ一層激シ
イ干涉ヲシテ居ルト云フコトハ、今日ノ場
合、私共ハ一言ナクシテ濟マスコトハ出來
ナイノデアリマス(拍手)今ヤ戒嚴令ガ布カ
レマシテ、自由ハ制限セラレ、集會ハ制限
セラレ、出版物ヲモ制限セラレマシテ、國
民大衆ノ見ル所ハ帝國議會ノ一舉一動ヲ
ルノデアリマス、此帝國議會ノ一舉一動ヲ
動カス所ノ原動力トシテハ、即チ或ハ政
黨、或ハ俱樂部等ノ團體ヲ通ジ、帝國議會
ニ陳情スルノデアリマス、或ハ直接ニ陳情
スルノデアリマス、頼ム所ノ國民ノ代表機
關デアアル帝國議會ニ、此戒嚴令下ニ來ッテ之
ヲ陳情セントスレバ、而モ重大ナル其階級
ノ利益ヲ擁護スルガ爲ニ、必要ナル權利ニ
屬スル此運動ニ對シマシテ、官憲ハ干涉シ
テ以テ其志ヲ止メルト云フガ如キ態度ハ、
斷ジテ許スベカラザルコトデアルト、私ハ
斯様ニ考ヘルノデアリマス(內務大臣ハド
ウシタ「連レテ來イ」ト呼フ者アリ)案ノ善
シ惡シハ自ラ適當ナル機關ニ依ッテ、私共ハ
最モ慎重ニ之ヲ檢討スルノデアリマス、然
ルニ當業者、即チ利益ヲ害セラル、者、或
ハ其利益ノ擁護ヲ欲スル者、此兩者ニ陳情
ヲ致サシメテ、以テ帝國議會ニ於ケル國策
ノ審議ニ對シ、必要ナル所ノ參考資料、意
見等ヲ吾々ガ採入レルコトガ出來ナイト云
フコトハ、何ト致シマシテモ立憲政治ニ對

スル一ツノ脅威ト言ハザルヲ得ナイノデア
リマス(拍手)昨日モ地方カラ情報ガアリマ
シタ、一縣カラ一人、而モ東京ヘ他ノ用事
デ行キサウナ人デ、米ノ問題ニ關係アル者
ニハ、一日數回警察官ハ其人ヲ訪ネル、何
レモ商賣ヲ持テ居ル人ハ屢、訪問セラレテ
外出スラモ監視サレルト云フヤウナ状態
ハ、今日ニ於テハ私共ハ許スコトハ出來ナ
イコトダラウト思フ、ソコデ其關係者ハ之
ヲ當局ニ聞クト、本省カラノ命令デ、今日
モ電報ガ來タ、昨日モ電報ガ來タ、洵ニ御
氣ノ毒デアレケレドモ、斯ウセネバナラヌト
云フコトデアッテ、已ムヲ得ナイト云フコト
ヲ申スノデアリマス、隨テ是ハ一地方官憲
ガ、己ノ自由判斷ニ依ッテ行フ所ノ取締デハ
ナイ、中央政府ノ方針ニ依ルカ、或ハ内務
大臣ノ許サレタル權限ニ依ッテ行フノデア
ルカ知ラヌケレドモ、苟且ニモ立憲政治國
ニ於テ、大切ナル陳情請願ノ權利ニマデ携
ハルト云フコトハ、官權萬能、官權濫用モ
甚シイモノト言ハナケレバナラヌノデアリ
マス(拍手)斯様ナル無理ヲシテマデ、此案
ヲ通サナケレバナラヌ所ノ理由ハ何處ニア
ルカ、之ヲ總理大臣ニ伺ハナケレバナラヌ
ノデアリマス、内務大臣ニ伺フノハ、斯様ナ
ル案ニ對シ、政府ハ政府ノ面目ニ懸ケテモ
通シタイト云フコトハ、當局大臣モ政府モ
考ヘルデアラウケレドモ、斯様ナル法律上
許サレタル所ノ人民ノ權利マデ、官權ヲ以
テ蹂躪シテ此案ヲ通サウト云フガ如キコト
ハ、斷ジテ私共ハ贊成スルコトハ出來ナイ
ノデアル、隨テ此取締ノ程度竝ニ状態ハ親
シク内務大臣ヨリ後ニ伺ヒマスガ、斯ル戒
嚴令下ニ於テ、吾々ハ此案ヲ議サナケレバ
ナラヌ、自由ハ奪ハレテ居ルノデアリマ

ス、例ヘバ吾々ハ、此處ニ登院スルニ當ッテ、
數箇所ニ警察官ガ哨兵線ヲ張ッテ居ル、一々
通過ヲスル場合ニハ之ヲ差止メル、ソコデ
私ハ伺フ、何ノ爲ニ君方ハソナコトヲス
ルノカト言フト、是ハ上ノ命令デアルカラ
致方ガナイ、ケレドモ僕ハ衆議院議員デ
アルカラ、君等カラ職務ヲ行ヒニ行ク場合
ニ阻止サレル理由ハナイ、或ハ君方何カ必
要ガアッテ、職務上容疑者デモ調ベルノナラ
バ是ハ別ダ、サウスルト斯ウ云フ工合ニ來
ル、徽章ヲ出セト言フ、衆議院議員タルコ
トノ證明ノ爲ニ徽章ヲ出セト言フ、徽章ヲ
出ス出サヌハオ前等ノ權利デハナイ、徽章
ハ院内ニ於テ必要デアッテ、院外ニ於テハ必
要デナイト答ヘル、サウスルト名前ハ何ト
云フカ、名前ハオ前ニ名乗ル必要ハナイ、
オ前ガ名刺ヲ出シテ紳士的ニ聽クナラバ僕
モ出スガ、衆議院議員ガ職務ヲ行フニ當
テ、君方ノ干涉ハ斷ジテ許サヌ、ソコデ仕
方ナク名刺ヲ出ス、少シ君等モ常識ヲ以テ
判斷スルガ宜イ、斯ウ云フ時ニ斯ウ云フヤ
ウナコトヲシテハイカスト云フ位ニ、恐ロ
シイ大千涉ノ下ニ、官權濫用ノ下ニ、此帝
國議會ヲ開カナケレバナラヌノデアアルカ
ラ、此場合ニ衆議院ニ於テ、吾等ノ申スコ
トハ即チ民衆ノ聲デナケレバナラヌ、唯一
ツ自由ヲ憲法ニ依ッテ保障セラレテ、私共ハ
此議會ニ於テ有ル論争ヲスルノデアリマ
ス、故ニ特ニ内務大臣ノ出席ヲ要求シテ、
此答辯ヲ求メナケレバナラヌノデアリマ
ス、議長ニ於テモ左様御取計ヒテ願ヒマス
ソレカラ當局大臣ニ對シマシテハ、昨年
是ト類似ノ議案ハ本院ニ於テ可ナリ争ヒガ
激シカッタノデアリマス、隨テ必要ナル部分
ニ幾多ノ修正ヲ加ヘマシタル外、更ニ附帶

決議ト致シマシテ、我黨竝ニ政友會カラ最
モ詳細ニ互ル所ノ條項ヲ掲ゲマシテ政府ニ
迫ッタルデアリマス、私ハ只今ノ農林大臣ノ
話ニ依ッテ、修正條項ハ大體ニ於テ今回ノ案
ニ採入レタコト云フコトニ對シマシテハ、不
満足ナガラ一應満足ヲ表シテ置クノデアリ
マス(笑聲)併ナガラ此修正事項以外ニ、
更ニ附帶決議ニ至ッテハ、更ニ重要ナルモ
ノガアルノデアリマス、私ハ茲ニ之ヲ朗讀
シテ當局ノ參考ニ供シマシテ、此附帶決議
ヲ實行シ、且ツ實行シツ、アッテ、此案ヲ出
シタカドウカト云フコトヲ伺フノデアリマ
ス、我黨ノ委員池田君ハ黨ヲ代表致シマシ
テ「内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジテ米穀ノ生産
統制代作ノ獎勵海外販路ノ開拓新規利用ノ
増進等ニ付キ内閣會議會ニ附議シ適當ナル
方策ヲ講ズルコト」内閣會議會ハ既ニ廢セ
ラレマシタケレドモ、政府ニ對スル要望デ
アリマスカラ、審議會ノ存廢如何ニ拘ラス、
政府ハ此點ニ對シテドウ云フ方法ヲ採ッタ
カト云フコトヲ明確ニ御答辯ヲ願ハナケレ
バナラヌ、次ニハ「産業組合ノ指導監督ヲ
徹底セシメ以テ其法規ヲ逸スル所爲ヲ止メ
産業組合ヲ本來ノ使命ニ從ヒ健全ナル發達
ヲ圖ル可シ」此問題ハ單ナル米屋ト農家ト
ノ争デハナイノデアリマス、又産業組合ノ
行動如何ト云フモノハ、數百年或ハ開闢以
來存在シタル所ノ中小商工階級ニ向ッテ、一
大脅威ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、此社會
組織ノ中ニ織込マレタ所ノ中小商工階級
ハ、時代ノ進運ニ伴フ國家ノ施設トハ申し
ナガラ、其程度、法規ヲ逸脱シタル所ノ産
業組合ノ行動ニ依ッテ、少ナカラズ其利益ヲ
害サレテ居ルト云フノハ、單ニ米穀商ノ間
題バカリデハアリマセス、日本ノ中小商工

階級ヲ如何ニ擁護シテ行カト云フコトノ
重大問題デアリマスカラシテ、産業組合ノ
指導監督ヲ徹底セシメテ、其法規ヲ逸スル
ヤウナ行動ヲ差止メテ貫ヒタイト云フ、此
點ニ對シテ當局ハドウ云フ處置ヲシタカ、
第三ハ「政府ハ商業組合及工業組合ヲ助成
シ其普及及發達ヲ圖リ商工中央金庫ヲ創設
シ中小商工業者ニ金融ノ途ヲ拓キ以テ其健
全ナル發達ヲ期ス可シ」此點ハ現ニ私共ガ
廳テ審査ヲセントスル所ノ商工中央金庫法
案ガ出テ居リマスルカラシテ、稍、緩和シ
タノデアリマスルケレドモ、是ハ改メテ又
政府當局ハ如何ナル趣旨、如何ナル程度ニ
於テ之ヲ實行スルカ、又シツ、アルカト云
フコトヲ伺ヒタイノデアリマス「産業組合ト
米穀商業組合トノ協調ヲ計リ圓滿ナル發達
ヲ遂ゲシムル爲適當ナル施設ヲ講ズ可シ」
是ハ總理大臣ニモ伺ヒタイノデアリマ
ス、今日我ガ帝國ニ於テ憂フベキモノ、數
息スベキモノハ澤山アリマスルガ、中ニモ
階級闘争ヲ激成スルガ如キ所ノ施設ハ、斷
ジテ許サレナイノデアリマス、動モスレバ
階級闘争ヲ煽動シテ、由テ以テ奇利ヲ博セ
ントスル輩ガアルカモ知レマセヌケレド
モ、今日ニ於テハ斷ジテ我ガ帝國ハ左様ナ
階級闘争ヲ事トシテ居ル時代デハナイ、隨
テ産業組合ヲ助長スル所ノ政策、既ニ存在
スル、數百年間、數千年間繼續スル所ノ此
商工階級ノ利益ト相反シ、或ハ又農村トノ
對立等ヲ考ヘテ、益、激成スルヤウナコトガ
アッテハ、我國ノ社會ニ於テモ忌ハシイ
所ノ事態ヲ惹起スルコトヲ憂ヘマスルガ
故ニ、總理大臣ハ之ニ對シ、庶政一新ノ今
日ニ於テ、如何ナル手段ヲ以テ此對立關係
ヲ緩和シテ、以テ我ガ國民舉國一致ノ態度

ヲ以テ國難ニ殉ズルカ、其經綸抱負ヲ伺ヒ
タイノデアリマス「米穀ニ關シ商業組合ニ
産業組合ト同一ノ待遇ヲ與フルコト」商人
トシテ既得ノ利益權利ヲ擁護スルガ爲ニ
ハ、國家ノ保護ニ浴スル所ノ産業組合、之
ニ偏重スルヤウナコトガアツデハナラス、殊
ニ米穀取扱ニ付キマシテハ、ヤハリ産業組
合ト同一ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトハ、今
日ノ場合極メテ適當ナル處置ナリト考ヘル
ノデアリマス、而シテ之ニ關シテ政府ハ
果シテドウ云フ施設ヲ爲シ、若クハ爲シツ
ツアルカ、其考モ伺フノデアリマス、第六
「米穀自治管理委員會」委員ニハ生産者及
ヒ米穀取扱業者ノ代表ヲ加フルコト」是モ
亦對立關係ヲ緩和シ、種々ナル弊害ヲ除ク
場合ニ於キマシテハ極メテ重要デアリマ
ス、次ニハ「米穀國營検査ヲ斷行ス可シ」是
ハ讀ンデ字ノ如クデアリマス「本法ノ運用
ニ當リ中間配給機關ニ影響ヲ及ボサル様
注意スルコト」此本法施行ニ伴フ種々ナル
弊害ハ、先刻申上ゲマシタル通り、主トシ
テ中小商工階級ノ所謂中間機關ニ影響ヲ及
ボスノデアリマスルカラシテ、特ニ此點ハ
一般的ニ互ツテ、政府ハ適當ナル施設ヲシ
ケレバナラスト云フコトニナツテ、委員會ニ
於テ此附帶決議ヲ致シタ、昭和十年三月二
十二日ノ委員會ニ於テ、此附帶決議ヲ我黨
ノ池田秀雄君ヨリ提出致シマシテ成立致シ
タノデアリマス、我黨ノ希望條件ハ是デア
リマスルガ、更ニ政友會ノ希望條件ヲモ併
セテ申上ゲテ政府ニ對シテ要望シマス「米
穀ノ生産統制方策ヲ樹立シ且ツ米穀ノ新規
用途開拓利用増進ニ關シ適切ナル方策ヲ講
ズベシ」是ハ我黨ノ主張ト大體違ヒガアリ
マセヌ「速ニ米穀ノ國營検査ヲ斷行スベシ」

是モ亦我黨ノ主張ト同一デアリマス「産業
組合ノ違法及脱法行為ノ取締ヲ嚴ニシ官僚
化ト營利化トヲ排除シ産業組合本來ノ使命
ニ於テ其健全ナル發達ヲ計ルベシ」是モ御
承知ノ通り我黨ト同ジ主張デアリマス「商
業組合及工業組合ノ助長ト普及發達トニ努
メ中小商工業ノ經營改善ヲ計ルト共ニ商工
組合中央金庫並ニ庶民金融機關ヲ創設シ中
小商工業者ノ爲メ金融ノ利便ヲ計ルベシ」
次ニ「本法ノ實施ニ際シテハ中間配給機關
ニ重大ナル影響ヲ與ヘザルヤウ特ニ留意シ
米穀統制法中改正法律案ニ對スル附帶決議
ヲ以テ要望セル調査會ニ於テ調査スベシ」
次ニ「米穀自治管理委員會」委員ニハ生産
者及消費者ノ代表ヲ加フル要ス」是ハ政
友會ノ希望條件デアリマス、十分御承知デ
アリマセウケレドモ、記憶ヲ新ニシテ此自
治案ヲバ私共ハ全ク清新ノ氣分ヲ以テ之ヲ
處理シタイト云フ爲ニ、特ニ政友會ノ希望
條件ヲモ御紹介申上ゲタノデス
ソコデ此二ツノ黨派カラ出マシタル希望
條項ハ、何レモ我ガ帝國ノ輿論ト見テ差支
ナイノデアリマス、既ニ政府ハ輿論ヲ尊重
シ、議會政治ヲ尊重シ、政黨ヲ尊重スルト
云フ聲明ガアリマシタル以上ハ、此點ニ關
シマシテハ相當ナル將來經綸抱負モアルダ
ラウト思ハレル、併シ此内閣ガ出來テ以來
マダ日ガ淺イノデアリマスルケレドモ、既
ニ現内閣ハ庶政一新ヲ標榜シ、新ナル經綸
抱負ヲ以テ、過去ニ見ルコトガ出來ナイヤ
ウナ立派ナ政治ヲヤルノ聲明シタ以上ハ、
又此案ヲ難關ヲ突破シテ出スト云フコトノ
決心ヲ致シタル以上ハ、是等ノ衆議院ノ要
望ニ對シマシテハ、果シテ如何ナル處置ヲ
爲シ、若クハ爲サントスルカト云フコトヲ、

當局關係大臣ヨリ伺ヒタイノデアリマス
次ニハ農林大臣ニ伺ヒマスルガ、此案ノ
立案當時ノ事情ト今日トハ餘程違ッテ居ル、
足掛ケ三年、中ニハ共通ノ點ハアリマス、
其共通ノ點ハ必シモ二三年タツテ消滅
スベキ共通ノ理由デナイカモ知レナイケレ
ドモ、今日ノ米ノ狀態ハ昨日モ本議場ニ現
ハレマシタル通り、此立案當時ノ事情トハ
違ヒマシテ、稍、高値ニ向ヒツ、アルト云フ
コトハ、爭フコトノ出來ナイ事實デアル、其
他研究スレバスル程、例ヘバ内地外地ノ關
係ニ於テモ、外地ヲ中ニ入レテ統制スルナド
ト云フヤウナコトニ至ッデモ、是レ亦事情ガ
段々判明致シマシテ、容易ナラザル事情モ茲
ニ出來テ居ルト云フコトハ、茲ニ言ヒ得ルノ
デアリマス、其立案當時ノ事情ト今日ト、
相當ナル違ヒガアルニ拘ラズ、政府ハ二
十一日間ヲ會期トスル此議會ニ、斯様ナ
重要法案ヲ出サナケレバナラスヤウナ事
情ハ何處ニアルカラ先ヅ伺ヒタイノデア
リマス（拍手）御承知ノ通り今期議會ハ二十
一日ヲ以テ會期ト致シテ、來ル二十四日ニ
ハ終了スルノデアリマス、前回此案ヲ提出
致シマシタル當時ハ、約三十日間掛ッタノデ
アリマス、三十日間掛ッデモ足ラスト言ッ
モノヲ、二十一日ノ間デ之ヲ審議セヨト云
フコトハ、難キヲ強ユルモノニアラズシテ
何ゾヤト私ハ言ヒタイノデアリマス、而シ
テ前回ニ於キマシテハ二月二十六日ニ委員
會ヲ開イテ、三月二十三日、即チ閉會ニ日
カ三日前ニ之ヲ終了シテ貴族院ニ送ッタガ、
到頭不成立ニナツタ位デアリマス、或ハ曰ク
此案ハ前回ニ相當練リ盡サレテ居ルカラ、
最早必要ガアルマイト申スノデアリマス、
是モ一説、併ナガラ衆議院ハ解散セラレマシ

テ、新ナル議員ハ過半ヲ占メル狀態ニナツ
テ居リマス、少クトモ前回出テ居ラス所ノ
議員ハ相當殖エテ居ル、天下ヲ驚倒スル程
ノ大問題ガ此帝國議會ニ現ハレマシテ、新
ニ議席ヲ得タ人ガ澤山殖エテ來タ今日、前
回之ヲ審議シタカラ、今回ハ省略シテモ宜
カラウト云フコトハ、如何ニモ吾々帝國議
會ノ一員ト致シマシテハ、其審議權ヲ輕ン
ズルモノト言ハナケレバナラスノデアリマ
ス（拍手）斯ノ如ク總選舉ニ依ッテ新ニ加ヘタ
所ノ新進氣鋭ノ人々ハ、恐ラクハ國政ニ對
シマシテハ、最モ清新ナル眼光ヲ以テ之ヲ
觀テ、而シテ議會ニ現ハレル所ノ案件ニ對
シマシテハ、相當注意ヲ拂フダラウト思フ
ノデアリマス、私共カラ見マスレバ、此案
ハ棚曝シ案デアリマス、強ヒテ之ヲ出サナ
ケレバナラス理由ハ何處ニアルカモ不明デ
アリ、且ツ短期議會デアアル、三十日間ノ期
間ガアツテスラ不成立ニナツデモノヲ、二十
一日ノ間ノ會期ニ於キマシテ之ヲ鵜呑ニシ
ヨウト云フマデニ行カヌデモ、好イ加減ニ
ヤツテ呉レト云フコトハ、今日議會ニ對スル
所ノ非難ノ多イ場合、錯覺ヲ有スル國民ガ
一部ニアル今日ニ於キマシテハ、議會ノ態
度トシマシテハ、慎重審議之ニ對シマシテ
ノ疑問ヲ一切氷解シテ、而シテ此案ニ對ス
ル所ノ態度ヲ決メルノガ、私共ノ責任デヤ
ナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス（拍
手）故ニ政府ハ前回三十日間ノ期間ガアツ
テスラモ、容易デヤナカッタモノヲ、二十一日ノ
期間ヲ以テ此案ノ成立ヲ期待シ得ルダケノ
自信アリヤ否ヤ伺ヒタイノデアリマス、
成程現内閣ハ有力ナル政友會、更ニ有力ナ
ル民政黨（笑聲）互ニ手ヲ携ヘテ庶政一新ノ
首途ニ向ハントシツ、アル今日、一切ノ感

情行掛リヲ捨テ、斯様ナル重要案件ヲ片付ケテ行キタイト云フ考ハ、皆様同様デアラウト思フ、故ニ荷モ國家ニ必要デアリ、國民生活ノ爲ニ必要デアル案デアリマスレバ、私共ハ敢テ故ラニ之ガ審議ヲ遅延セシメ、若クハ反對スルモノデハナイ、サリトテ殆ド日本ノ政界ヲ縦斷スルカノ如ク、產業界ヲ大混亂セシメタルガ如ク見エタル所ノ此重要法案ハ、二十一日間ノ期間ニ於テ之ヲ纏メルコトガ果シテ可能ナリヤ否ヤ、政府ガ申スナラバ自信ガアルト申シマセウ、自信ガナクテ案ヲ出セバ不信任ニナルノデアルカラ、自信アリト申スノハ決リ切ッテ居ル、如何ニ農林大臣ガ快腕ヲ以テ聞エタル人物トハ申シナガラ、此案ヲバ左様ニ滑カニ之ヲ通過セシムルコトハ、極メテ困難デアルト私ハ考ヘマスルカラ、此短期間ニ之ヲ通過セシメテ貴族院ニ送り、之ヲ成立セシムルダケノ所謂妙案ガアルナラバ、此席上ニ於キマシテ伺ヒタイノデアアル(拍手)若シ妙案ガアリトスレバ、斯ウ云フ際デアアルカラ、何モ彼モ我慢シテ官判ヲ捺シテ呉レト言ハレテモ、サウドウモオ辭儀一方ダケデハ政治ガ行ハレスト云フコトモ亦御承知願ハナケレバナラス、故ニ私ハ努メテ虚心坦懷、從來ノ行掛リヲ捨テ、總テノ難問題ニ當ルトハ申シマスルケレドモ、併ナガラ眞ニ妙策湧クガ如ク出ヅル所ノ島田農林大臣、果シテ吾々ガ考ヘル以外ノ妙法ガアルナラバ、此際之ヲ明ニシテ貫ヒタイト云フノガ即チ是デアリマス(拍手)

次ハ財政關係デアリマス、財政關係ハ元來此立案當時ノ考ハ、餘リニ國庫ノ負擔ヲ加重スルカラ、漸進的ニ其損害ト利益ヲ分

ノ動機デアッタノデアリマス、併ナガラ此案ハ新ニ出テ來マシテ、爾來世相モ觀、農村界、商工界、一般社會ノ狀態ヲ見テ、決シテ負擔ノ加重ヲ避クルコトハ出來ナイノデアリマス、殊ニ外地ノ米ノ關係ニ於キマシテハ、固ヨリ我が帝國ノ憲法治下ニ在ル所ノ外地デアリマスケレドモ、之ヲ強制セントスレバ、新附ノ國民ニ果シテ如何ナル影響ヲ及ボスモノデアアルコト云フコトモ考ヘマセウ、昨日外地行政ヲ監視スル所ノ拓務大臣ハ、内地ニ於ケル米ノ生産ノ絶エザル動キニ對シマシテハ、頗ル憂慮致シマシテ、之ニ對スル妙案ハナイト答ヘテ居ルノデアリマス、若シ強ヒテ之ヲ強行スルト云フ場合ニ於キマシテハ、朝鮮、臺灣等ニ交付スル金額、或ハ強ヒテ之ヲ實行セシムルガ爲ニハ、新附ノ國民ノ犧牲、有ユルモノヲ考ヘタ場合ニ於キマシテハ、決シテ此負擔ハ輕クナルモノデハナイノデアリマス、況ヤ之ヲ實行スル場合ニ於キマシテ、内地ニ於テ機關ハ廣大ニナリ、役員ノ數ハ殖エ、監督機關モ増加致シ、只今ノ所デハ案ヲ通シタイ一方ニ、成ベク少額ノ金額ヲ盛上ゲテ、之ヲ通過セシメントスルカモ知レマセヌケレドモ、一年經チ、二年經チ、三年、五年經ツタナラバ、國庫ガ嘗テ受ケタ損害以上ノ損害ヲ、年々支拂ハナケレバナラヌト云フ、此點ニ對スル疑問ハ多分ニア

米ノ統制ヲシナケレバ、實際ノ效果ガ薄イト云フ點カラ觀マシテモ、少クモ責任ノアル拓務大臣ニ確信ガナイト云フヤウナ點カラ觀マシテモ、此案ニ尙ホ幾多檢討ヲシナケレバナラス點ガ澤山アルト私ハ信ジマス、然ラバ之ニ對シマシテ現政府ガ此短期間、此逼迫セル今日ニ於テ之ヲ出サナケレバナラス政治ノ理由、其他ニ付テハ御答辯アルデアリマセウガ、案自體ノ、先刻申シマシタ財政ト或ハ外地米トノ關係等ニ付キマシテモ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、要スルニ今日此案ガ吾々ノ前ニ現ハレマシテ、一度衆議院ニ於テ相當ナル審査ハ續ケラレタリトハ申シナガラ、庶政一新ヲスルト云フ内閣トシテハ、私ハ果シテ何處ニ新味ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス

總理大臣ハマダ御見エニナリマセヌカラ保留シテ置キマスルガ、何レ見エタ場合ニハ申上ゲマス、併シ關係政府委員ガ居リマシタナラバ、此點ヲツ御傳ヘテ願フデ、豫メ答辯ヲ續ツテ貫ヒタイ、此米穀法案ハ庶政一新ヲ標榜スル所謂新シイ一ツノ政策トシテ、總理大臣ハ之ヲ出スコトニナツカドウカ、產業組合ト中小商工階級トノ對立ハ、我が帝國ノ社會ニ相當ナル惡影響ヲ與ヘテ居ルモノト認メマスルカラシテ、我が帝國ノ現狀カラ見テ、總理大臣ハ之ヲ緩和スルダケノ根本政策ハ、具體的ニアリヤ否ヤト云フコトヲ伺ッテ置キタイ、立案當時ノ事情ト、今日トハ極メテ相違ガアルノデアリマスルガ、ソレニ拘ラズ之ヲ出サナケレバナラス事情ヲ、私ハ總理大臣ヨリ親シク伺ヒタイ、此點ハ特ニ總理大臣ヨリ伺ヒマス

更ニ內務大臣ニ對シマシテハ、先刻申上ゲマシタル戒嚴令下ニ於テ自由ヲ奪ハレ、交通權ヲ奪ハレ、或ハ言論ヲ奪ハレ、集會ノ權利ヲ奪ハレテ居ル今日、尙ホ更ニ帝國議會ニ陳情スル者ニ對シマシテハ、極度ナル干涉ト取締ヲ爲スコト云フコトハ、議會ノ現存スル限りハ斷ジテ許スベカラザルモノデアルト云フコトヲ考ヘマシテ、先以テ議會ニ對スル根本ノ信念ト、斯様ナル問題ニ對スル官憲ノ取締等ニ付テ、私ハ懇切ナル答辯ヲ此席上ニ於テ伺ヒタイノデアアル、何レ此私ノ質問ニ對シマシテハ、定メシ親切ナル答辯ガアルトハ思ヒマスカラシテ、先ヅ此席ニ居ル當局大臣ノ所見ヲ伺ヒ、併セテ總理大臣並ニ內務大臣ノ出席ノ機會ニ於テ、其答辯ヲ待ツテ更ニ再質問ヲ致スコトニ致シマス(拍手)

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今工藤君ヨリ重要ナ點ニ付テ御尋ガアリマシタガ、此場合私ヨリ御答ヲ申上ゲマス

第一ハ前々議會ニ於テ本法案ガ衆議院ヲ通過スル際ニ、民政黨並ニ政友會ヨリ提出ニナリマシタ附帶決議ニ關スル件デアリマス、當時私モヤハリ議員ノ一人ト致シマシテ、本法案ノ成立ニ贊成ヲ致シテ居ル一人デアリマス、而シテ兩黨ノ附セラレタル附帶決議ハ、只今工藤君御援用ニナリマシタ通り、各項大體ニ於テ兩黨ノ意見ハ一致致シテ居ルノデアリマス、而シテ之ニ對シマシテハ、爾來政府ニ於テ本法案ノ提出スベキ機會ヲ豫想シ、又本法案ノ成立シタル場合ヲ考ヘマシテ、此附帶決議ノ點ニ付テソレゾレ決議ノ趣意ニ副フベク努力致シ、立

案ヲ致シテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、政府ニ於キマシテハ省內ニ米穀ノ配給調整ニ關スル協議會ナルモノヲ設ケマシテ、生産者團體並ニ消費者方面ノ關係ノ人々、又其道ノ權威者ト認ムル人々ノ集會ヲ願ヒマシテ、其協議會ニ於キマシテ部門ヲ分ツテソレノ研究ヲシテ、未ダ最後ノ結論ニ到達ハシテ居リマセヌケレドモ、ソレゾレノ部門ニ於キマシテハ、只今工藤君ヨリ御指摘ニナリマシタソレノ點ニ付キマシテ研究ヲ致シマシテ、稍成案ニ達セントスルモノ、竝ニ既ニ部ニ於テハ成案ニ達シタモノモアリマス、是等ハ何レ委員會ニ於キマシテ、詳細ニ説明申上ゲタイト考ヘテ居リマスガ、要スルニ此法案ニ當時附帶致シマス所ノ決議ノ精神ハ、尊重スル方針ヲ以テ進ミツ、居リ、又自分ハ此農林當局ト致シマシテ、責任ヲ以テ此附帶決議ノ精神ヲ實現スルコトニ努力スルコトヲ茲ニ申上ゲテ置キマス

第二ニ本法案ヲ此特別議會ニ提出スルニ至ツタ事情ニ付テノ御尋デアリマスガ、米穀自治管理法案ノ主意トスル所ハ、先刻申上ゲマシタ通り米ノ需給調節ノ關係ヨリシテ、内外地ノ米ノ事情カラ考ヘマシテ、長年ノ懸案ニ付テ、即チ現行米穀統制法ノ下ニ於キマシテ、米ノ問題ニ何等カノ處置ヲシナケレバナラヌト云フコトニ付テ、朝野各方面非常ニ盡力ヲシ、協議ヲシ、即チソレガ爲ニ提案理由中ニモ述ベマシタル如ク、對策調査會ナルモノガ設ケラレマシテ、政黨派各方面ノ代表者ノ集リニ於テ得マシタ所ノ、其答申ノ案ヲ基礎トシテ之ヲ作上ゲタノデアリマシテ、根本ノ米穀對策、恆久ノ米穀對策、食糧、人口等ノ問題カラ考

ヘマシテ、根本ノ對策ト云フモノニ付キマシテハ、是ハ尙ホ大イニ考究ヲシナケレバナラヌコトガアルト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ現在ノ統制法ヲ實行スル上ニ於キマシテ、現行法ガアリマス場合ニ於テ、其現行法ノ下ニ於テ起ル所ノ米穀事情ヲ處置スルト云フコトニ付テハ、民政黨ノ方々モ、政友會ノ吾々モ、亦他ノ方面ノ人々モ集ッテ色々研究致シマシタケレドモ、先ヅ今日ニ於テハ此程度ノ案ニ依ツテ進ムノ外ハナイト云フコトガ、實情デアルト私ハ考ヘルノデアリマス、故ニ此事ニ付キマシテ意見ヲ述ベ、不満足ナ點ヲ述ベレバ私モアリマス、各方面ニモアラウト思フ、併ナガラ其各方面ニアル所ノ不滿不平等、此法案ヲ成ス所以デアアル、現内閣ハ庶政一新ヲスル行掛リニ因ハレナイデ、恆久ノコトヲスルト、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルコトハ、政綱ノ中ニモ述ベラレテ居リマスカラ、私モ其趣意ニ依ツテ進ミタイト思フ、併ナガラ行掛リノ中ニハ、拾得ル行掛リト拾得ザル行掛リガアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、米ニ對スル根本ノ對策、即チ之ヲ全ク自由放任ニスルカ、或ハ之ヲ管理、或ハ專賣等ノ所ニ持ツテ行クカト云フコトニ付テノ根本ノ大問題ハ、是ハ更ニ研究シナケレバナリマスマイ、併ナガラソレニ至ルマデノ暫定のノ恆久對策ト云ヒマスカ、或ル年限間現行ノ統制法ヲ補強策トシテヤル方法トシテハ、是レ以外ニハ私ハナイト考ヘルノデアリマス、而シテ今日之ヲ此議會ニ提案スルト云フコトハ、一日延レバ一日即チ此問題ニ付テノ解決ヲ遅ラシムルモノデアアル、産業組合ト米商人トノ間ノ問題モアリマセウ、即チ前ノ通常議會ニ之ヲ提案シテ、サ

ウシテ之ニ努力致シタノデアリマスケレドモ、是ハ不幸ニシテ成立ヲ見ナカッタノデアル(此時發言スル者多ク「靜ニシロ」内輪喧嘩ヲスルナ)ト呼フ者アリ)デ私ハ決シテ本法案ハ前ノ議會ニ於テ論議ヲ盡サレタモノデアラカラ、短期議會デモ差支ナイト、斯様ナ皮相ナ考ヲ以テ之ヲ提案シタヤウナ次第デハアリマセヌ(「新議員ガ多イヨ」ト呼フ者アリ)即チ本法案ハ斯様ナ事情カラ致シマシテ、之ヲ次ノ議會ニ送ツテモ、其次ノ議會ニ送りマシテモ、只今ノ事情ニ於テハ此法案以外ニ、現行米穀統制法ノ下ニ於テハ、是レ以上ノ名案ヲ得ルコトノ見込ガナイト私ハ斷言スルモノデアアル(拍手)ソコデ此場合ニ於キマシテ此事情ヲ御諒察ヲ願ツテ、即チ只今工藤君モ御話ニ相成リマシタヤウニ、此問題ニ付テハ中々兩派ニ分レテ議論ガアリマス、議論ガアルケレドモ、之ヲ解決セザレバ其議論ハ愈々深刻ニナルト云フコト考ヘナケレバナラヌ、故ニ私ハ國家ノ爲ニ、短期議會デハアリマスケレドモ此法案ヲ提出シテ、之ヲ議會ノ責任ヲ以テ御解決ヲ願ヒタイ、而シテ本法案ニ付テハ選舉ヲ經テ議員ノ御顔ハ變ツテ居リマスケレドモ、併ナガラ本法案ニ付テ努力シタル所ノ民政黨モ、政友會モ、何レモ其立場ニ於テ團體トシテ、此法案ニ付テハ支持ノ立場ニ立タレテ居ルノデアリマスカラシテ、此場合ニ於テ慎重審議ハ固ヨリ希望スル所デアリマス、慎重審議ハ希望スル所デアリマスケレドモ、左様ナ事情ニ於テ、短期議會デアルト雖モ之ヲ出スコトガ國家ノ爲ニ必要デアラウ、米ノ問題ノ根本解決ヲ爲スト云フ上カラ必要デアアル、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス(拍手)而シテ之ヲ短期ニ通過スルノ見

込アリヤト云フ御話デアリマスガ、是ハ一ニ工藤君ノ屬サレル所ノ民政黨、又私ノ屬スル所ノ政友會、其他此議會ノ各派ノ諸君ノ協力ニ依ツテ之ヲ御認メ下サルコト以外ニハ名案ハゴザイマセヌ(拍手)故ニ私ハ切ニ此場合ニ國家ノ爲ニ御協力ヲ願ヒタイ、之ヲ御答トシテ申上ゲテ置キマス

尙ホ財政上ノ點ニ付キマシテハ是ハ程度問題デアアル、工藤君ノ仰セラレルヤウニ、統制法ノ儘ニシテ置ケバ國庫ノ負擔ガ何處マデ行クカ分ラヌ、屢々私共モ言ウタ議論デアリマスケレドモ、本法案ニ依ツテ年度ニ割當テ、ドレダケノ財政上ノ負擔ガ輕減サレルカト云フコトニ付テハ、是ハ最惡ノ場合ヲ考ヘレバ、何等變リハナイト云フコトニナル、唯現狀ニ置キマスト云フコト、統制法ノ下ニ於テハ、一旦豐作ニ遭遇シタル場合ニ於テハ、是マデノ經驗ヲ繰返スノ外ハナイト云フコトデアリマシテ、現法律、即チ此法律ノ成立以後ニ於キマシテハ、假令全部デナクテモ、或ル部分デモ自治管理ニ依ツテ各人ノ貯藏ニナリマスレバ、貯藏ニナツタ部分ダケハ政府ハ買上ゲル必要ガナイト云フコトニナリマスカラシテ、其點ニ於テハ私共ノヤウナ財政ノコトノ分ラナイ素人考デモ、財政上ノ負擔ガ幾ラカ輕クナルト云フコトハ、判斷ガ付クヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、財政上ノ點ニ付テハ、是ハ御議論ガアルト思ヒマスカラシテ、謹ンデ承リマスガ、本案ヲ提出シタ事情理由ハ以上ノ通りデアリマシテ、而シテ附帶決議ニ付キマシテハ、私自ラ第六十七議會ニ於テ、此附帶決議ニ付テ賛意ヲ表シ

タ一人デアリマスカラシテ、産業組合トノ

關係、中間機關トノ問題、ソレ等ノコトニ付キマシテハ十分此決議ノ趣意ヲ尊重シテ、本案成立ノ場合ニ於テハ施行令其他ニ於テ之ヲ實施シタイ、又實施スルノ決心ヲ以テ進ンデ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス(拍手)

(工藤鐵男君登壇)

○工藤鐵男君 昨ハ本案提出ニ關スル農林大臣ノ一應ノ御説明ヲ伺ヒマシタ、マア大體ニ於テハ前ノ農林大臣山崎君ガ申スノト大シタ違ヒガナイガ、此短期議會ニドウシテモ出サナケレバナラスト云フ理由ニ付テハ尙ホ幾多ノ疑問ガアリマス、併シ他ノ同僚ハ、何レモ大ナル特別委員會ガ組織セラレノデアアルカラ、其處デ詳細質問サレルコトト考ヘマスルカラシテ、一應大臣ノ所見ヲ承リ置クト云フ程度ニ止メテ置キマス、唯豫算委員ノ一人トシテ、其席ニ列シテ附帶決議ニ加ハタト云フ農林大臣御自身ノ御言葉モアリマスルカラ、私ハ此附帶決議ニ對シテハ必ズ實行ナサルダラウト云フコトヲ確信シテ居ル、此中ニハ假令内閣ガ選ツデモ送ラスデモ、大臣ノ頭ガ取替ヘラレテモ取替ヘラレナクテモ、農林當局ハ行政ノ自由裁量ノ範圍ニ於テ爲スベキ仕事ハ澤山アツタノデアアル、若シ島田君ハアノ切切ルヤウナ頭ヲ以テ、豫算委員會ニ於テ此案ニ贊成シタナラバ、先ヅ重要法案——國家ノ現狀ニ於テ斯様な案ヲ速ニ片付ナケレバナラスト云フ御熱心デアアルナラバ、先以テ農林大臣ヲ拜命スルト同時ニ、屬僚ヲ集メテ此問題ニ對スル農林省ノ態度ヲ決メナケレバナラスト、之ヲ私ハ聽クノデアアル、即チ總理大臣ニ對シテハ別ニ申上ゲマスガ、産業組合ノ指導監督ヲ

徹底セシメテ、法規ヲ越エタヤウナコトガアリヤ無シヤハ、委員會ニ於テ詳細ニハ明ニナツテ居ルカラ、島田君ハ取敢ヘズ先ヅ此點ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ聞イテ見ナケレバナラスト、私ハ之ヲ聽イテ居ル、唯是カラ研究スルノ調査スルノト云フコトヲ伺ツテ居ルノデアナイ、ソレハ大臣トナレバ無論一應ノ調査ヲ致シマスケレドモ、調査ヲ俟タナイデ、島田君ガ豫算委員會竝ニ其他ノ議會ノ審議ノ場合ニ於テ、調査々々デ日ヲ暮スト云フコトハ、何ノ事デアアルカト云フコトヲ申シタ一人デアリマスカラ、如何デアアルカト云フコトヲ伺フノデアアル、産業組合ノ指導監督ニ付キマシテハ、可ナリヤカマシイ問題デアアル、農林大臣ハ果シテ部下下僚ヲ指導シテ以テ之ニ對シテ何等カノ命令ヲ發シテ、實行シ得ベキモノハ直チニ實行シタル事實アリヤ否ヤ、アリトシタナラバ學ガテ貰ヒタイト言フノデアリマス、商工關係ハ小川商工大臣ガ居リマスガ、是ハ私ダケデモ了解出來ル——中央金庫法案ト云フモノガ出來テ居ル、是ハ實行サレテ居ル、其様ニ行カナクチャナラスト(笑聲)此様ニ行カナケレバナラスト、是ハチヤント出來テ居ル位ニ行ツテ居ル、當時此案ガ提案サレテ居ルカラ、成程政府ノ考モ之ニ加ハツテ居ルト云フコトハ出來ルカラ、是ハ小川商工大臣ノ答辯ヲ要スル迄モナクスカリ分ツテ居リマス、ソレカラ産業組合ト米穀商業組合トノ協調ヲ圖ツテ圓滿ナル發達ヲ遂ゲシムル爲ニハ、農林大臣、商工大臣トドウ云フ相談ヲシテ、ドウ具體案ヲ立テタカ、是カラ調査デハイケマセヌ、島田君ハ調査調査ヲ一番非難シタ一人デアアル、私共ト一

緒ニ……ソレデアアルカラ兩省ノ關係ニ於テ、ドウ程度マデ具體案ガ出來タカ、調査會ヲ開イテスルト云フノモ一ツノ方法デアリマセウ、ケレドモ萬民悉ク議會ヲ望ンデ居ル、新ニ化粧ヲ直シテ此壇上ニ現ハレタル島田農林大臣ハ、農村ノ爲ニ、商工界ノ爲ニ、如何ナル經綸ヲ示スデアラウカト云フコトヲ一般ニ考ヘテ居ルノダカラ、此處デ言フコトハ島田君トシテ一番適當ナコトデアアル、ソレヲ調査會ト云フヤウナ半分秘密會ミタヤウナ所デ發表スルト云フコトハ、政治家トシテ洵ニ心細イノデアアルカラ、私ハ同君ノ經綸抱負ヲ公ナル場所ニ於テ發表セラレコンコトヲ希望スルノデアアル、此點ハドレダケ具體的ニナツテ居ルカラ、ソレカラ米穀ニ關シテ商業組合及ビ産業組合ニ同一ノ待遇ヲ與ヘルコト、是モ恐ラクハ行政裁量範圍ニ於テ、私ハ心ガアレバ出來ルモノダト思フ、是ハドウナツテ居ルカラ、ソレカラ米穀國營檢査ノ斷行、是ハ何處マデ進ンデ居リマス、是モ共通シタ問題デアアル、實ハオ互ニ長イ間議會生活ヲシタノデアアルカラ、議會ニ於テノ言論ト、大臣ニナツテノ言動ト違フコトハ、政治家オ互ニ情ケガアリマスカラ諒解シテ居リマス(笑聲)ケレドモ私共ハ考ヘル、島田君ノ如キ有力ナル方ガ此案ヲ提ゲテ二十一日ノ短期間ニ此重大法案ヲ突破スルニ付テハ、過去ニ優レル所ノ重大ナル理由、色々ナル經綸抱負ガアリ、又小ハ下僚ヲ指揮シテ以テ、此行政上ノ裁量範圍ガ出來ルモノハ片付ケテ議會ニ報告ヲシテ、議會ノ附帶決議ハ斯様ナル點マデ實行セラレマシタカラ、アナタ方ノ申分ヲ容レタ答デアアルカラ、ドウゾ此自治管理法ヲ議シテ呉レト云フナラ聞エルケレドモ、ソレガマダ調査

ト云フカラ聞エナイ、其處ガ私共ノ遺憾トスル所デアリマス、デアアルカラ私ハ再び此壇上ニ立ツテ申上ゲルノハ、決シテ島田君ガ大臣ニナツタカラ取ツチメヨウト云フ意味デモ何デモナイ、何トカシテ政黨政治家ヲシテ言行一致セシメタイ、言行一致セシムルニハ、洵ニ此機會ハ好機會デアアル、殊ニ現内閣ハ庶政一新ヲ以テ立ツテ居ルト稱シテ居ル、此庶政一新ニ一身ヲ捧ゲヨウト云フ總理大臣ヲ戴イテ居テ、島田君ノ辯ト、足ト、頭デ以テ、是ハ實行出來ナイ答ガナイト私ハ信ジマスカラ、特ニ申上ゲルノデアリマス、是ハ島田君ニ對スル再質問、ドウゾ具體的ニアナタ方ガ立手手續ヲ要セズ、或ハ閣議ノ力ヲ要セズ、アナタ方ノ一省ノ大臣トシテ、下僚ヲ指揮シテヤリ得ルダケノコトハヤツテ貰ヒタイ、何ヲシタノデアアルカ、實行出來ルダケノコトヲ實行シタノカ、シタナラバドレノヲ實行シタカト云フコトヲ、此自治管理法ノ提案審議ヲ求ムルト同時ニ御示シ願ヒタイガ、何モナイカラ質問シタノデアアル

尙ホ馬場大藏大臣ガ御見エニナリマシタガ、實ハ馬場サンモ大藏大臣ノ前ニ貴族院議員トシテ、此案ニハ相當御注意ヲナサレタト云フコトヲ伺ツテ居リマス、隨テ此米穀統制法案ト、將來起ルベキ所ノ米穀根本政策トノ過渡期ニ於テ、此自治管理法ヲ出スノダト云フ農林大臣ノ説明ハ、一應過渡法トシテ私ハ聽イテ置ク、經過法トシテ聽イテ置イテモ宜カラウト思フ、併シ段々其後事情ヲ調査スルニ從ツテ、嘗テ統制法ノミデヤツテ居ツテ、國家ガ二億何千万圓ト云フ所ノ損害ヲ出シテ居ツタガ、此損害ニ付テハ又種々ナル内譯ガアルノデス、買ハナクテモ

宜イ時ニ米ヲ買ッテ損ヲシタコトモアルガ、左様ナコトハ別ト致シマシテモ、少クトモ、此案ノ實施ニ依ッテ、過去ニ於テ負擔シタル所ノ國庫ノ損缺ヲ、幾ラカデモ輕減スルコトガ出來ルカ、少クトモ大ナル犧牲ヲ拂ウテ此案ヲ出シテ、ソレダケノ何カ得ル所ガアルカドウカト云フコトハ、財政上カラ見マスルト非常ナル疑問ガアル、只今ノ所デハ……又政府ノ説明ヲ聽クト云フト如何ニモ尤ラシク、馬鹿ニ都合好ク行クヤウデアリマスケレドモ、此法律ガ一度施行セラレルト云フト、法律ノ力ニ依ッテ爲スベキ仕事ハドン殖エテ來テ、又官僚ノ力ガ殖エ、其他ノ指導機關ガ殖エテ來テ、金ハ中々簡單ニ行カナイ、斯ウ云フ法律ヲ作ル場合ニ一番考ヘルノハ、此法律ガ將來ニ行ハレタ場合ニ於テドウナルカト云フコトヲ一般的ニ考ヘザルヲ得ナイ、外地米ノ統制ニ致シマシテモ是ハ簡單ニ行カナイ、統制シロト言ウタ所ガ、此管理案ノヤウナ狀態デハドンドン入ッテ來マス、是ハ實際機ノ上デ拵ヘタ案ダ、ト言フト農林省ノ役人ハ機嫌ガ惡イカモ知レナイケレドモ、先以テ實際ニ即シナイ點ガ澤山アル、ソレデアアルカラ私ハ財政上ニ及ボス關係ハ、大藏大臣トシテモ豫算編成、即チ此自治管理法案ノ意、議會提出ニ當ッテハ、ソレノ豫算ノ審議ニモ與ツタコトデアリマセウカラシテ、果シテアナタ方ノ御見込通りニ——政府ノ見込通り僅カノ金デヤリ得ルカドウカ、中々此外地米ノ關係ト云フモノハ段々金ガ殖エテ來マス、何ボ臺灣、朝鮮ガ特別會計デヤッテ居テモ、金が足ラナイトナルト、勢ヒ本國政府ノ支給ヲ仰ガナレバ出來ルモノデハナイ、ソレト同時ニ之ニ伴フ様々ナル手續法ナドガ出

來、規則ナドガ出來テ來テ、機關ガ増加スルニ從ッテ金ガ掛ル、官吏ガ殖エル、人件費ガ殖エル、是ハ莫大ナル金ニナルト云フコトハ想像出來ルノデアリマス、ソコデ此案ニ對スル財源等ハ、先ヅ財政ノ方面カラ見マシテモ、大藏大臣ハ之ニ對シテ果シテ將來如何ナル御見込デアアルカ、其見込ヲ一ツ御話願ヒタイ、二億何千萬圓ノ損害ヲ數年ニ互ッテ國庫デ負擔シタ、ソレヲドレダケ緩和出來ルカドウカト云フ、財政上ノ見地カラ御意見ヲバ此機會ニ於テ伺ヒタイ

ソレカラ總理大臣デアリマスガ、折角アナタハ庶政一新ノ旗ヲ立テ、民衆ニ呼掛ケテ居ル際デアアルカラ、私共モ心ヲ慮シウシテ、アナタノ政治ハ助ケテ見タイ、稀ニ見ラセテ見タイノデス、隨テ從來ノ行掛リヲ捨テ、我黨ノ總裁ハ陣頭ニ立ッテ黨内ヲ纏メテ、アナタノ政治ヲ善クシテヤッテ行カウト云フ、此誠意ハ御認メ願ハナケレバナラヌ(笑聲)押賣スル譯デハナイケレドモ……然ラバ此自治管理法案ト云フモノハ三年前、四年前、五年前ニ立法セラレテ、當時ノ事情ハ餘程今トハ變ッテ居ル、其時代ニ此案ガ出來テ居ル、ソレヲ此短期議會ニドウシテモ出サナケレバナラヌ其理由ハ、只今農林大臣カラ伺ヒマシタケレドモ、此重要法案ヲ出スダケノ理由ニハナラナイノデス、併ナガラアナタハ庶政一新ヲ以テ人心ヲ新ニシテ政ヲ行フト云フ際デアアルカラ、特ニ現内閣獨特ノ見地カラ此案ヲ採用シナケレバナラヌ、所謂庶政一新ノ原則ニ基イテノ御考ガアルナラバ之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ現在憂フベキコトハ階級ノ鬭爭デアアル、階級ノ鬭爭ノ中ニハ色々アリマセウケレドモ、

此案ヲ繞ッテノ階級鬭爭ハ、中間機關トシテノ商工階級ト生産機關トシテノ産業組合、此産業組合ニ屬スル者ハ農村ノ農民ガ多イ、此農民ト商工階級トノ間ノ爭ハ、此案ヲ投ツケラレタ爲ニ著シク激化シテ來テ居ル、併ナガラ今日日本ノ社會狀態ハ、假令多少ノ爭ガアツテモ、國家的見地カラ之ヲ何トカシテ行カナケレバナラヌ、即チ之ニ伴フ所ノ新立法ヲ必要トスルコトハ、私共モ敢テ之ヲ拒ム者デハアリマセヌ、ケレドモ斯様ナル問題ガ現ハレテ來テ、既存ノ勢力、即チ商工階級ノ勢力ガ、農村關係ト利害ヲ異ニシ、此利益擁護、若クハ他ノ關係ニ於テ對立シテ來タ場合ニ於テハ、之ヲ激成スルト云フコトニナルト、國家政治ノ運用上頗ル重大ナ問題ヲ惹起ス、故ニ自治管理法案ヲ繞ッテノ論爭ハ、之ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テハ、相當深刻ニ考ヘナケレバナラヌ、隨テ先刻申上ゲタヤウナ商業組合ト米穀商組合トノ協調ヲ圖ッテ、サウシテ米穀商ナドニモ、此自治管理法案ノ機關ノ中ニ入ッテ、共同一致シテヤレト云フ趣意ノコトモ出來ル譯デアアルカラ、見地ヲバ——其出發點ヲバ、階級鬭爭ノ點ニ置イテ、之ヲドウ云フ工合ニシテ調和シテ行クカト云フコトハ、アナタノ庶政一新ノ經綸抱負ノ中ノ重大ナ問題トシテ、私ハアナタノ前ニ提供シタイ、之ニ對スル經綸抱負ガアレバ之ヲ伺ヒタイト云フノデス

斯様ナル點ハ總理大臣ニ御伺ヲ致シ、財政ノ點ハ馬場大藏大臣ニ伺ヒ、更ニ又農林大臣ニハ此希望決議ヲバ、アナタノ自由裁量ノ範圍ニ於テ、ドレダケ具體化シタカト云フコトヲ茲ニ言明セシメテ、言行一致セル政治家ナリト云フコトヲ、此壇上カラ天下ニ呼掛ケテ貰ヒタイ、是ガ私ノ希望デアリマス(拍手)

(國務大臣廣田弘毅君登壇)

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今工藤君ノ御質問ニ御答致シマスガ、此米ノ問題ハ實ニ重大ナル問題デアルト思フノデアリマス、一體日本國民ノ主ナル常食デアッテ、而モ是ハ殆ド日本ノ國民性ト相伴ッテ行クトモ言ッテ宜イヤウナ問題デアリマス、而シテ是ガ生産ニ携ハッテ居ル農民ハ、日本ノ人口ノ過半数ニモ達シテ居ル、又米ノ販賣取引ニ從事シテ居ル人モ亦多數アル、サウ云フ見地カラ見マシテモ、此米ノ問題ガ如何ニ重大デアアルカト云フコトハ申ス迄モナイト思フノデアリマス、斯ル問題ニ付テコソ、庶政一新ノ大ナル部分ヲ費スベキモノデアルト私ハ思ッテ居ルノデアリマス、而シテ組閣以來此米ノ問題ニ付テ、色々ノ關係當局大臣ノ説明モ聽イタノデアリマスガ、現在提案ニナッテ居リマス米ニ關スル諸法案ハ、既ニ數年來政府ニ於テモ、亦議會ニ於キマシテモ、練リニ練ッテ作ラレタ案デアルト承知致シタノデアリマス、少クトモソレダケノ研究ノ積マレタ案ナラバ、相當各方面ニ不平不滿ガアツテモ、或ハ此際ハ我慢シテ貰ハナケレバナラヌ法案デハナイカ、其點ニ付キマシテ、私ハ之ヲ實ハドレガ良イカト云フコトヲ判斷スルダケノ頭ハ、マダ持ッテ居ナイノデアリマス、隨ヒマシテはマデノ經過ニ鑑ミマシテ、先ヅ此位ノ案ハ通シテ貰フコトガ、社會全般カラ見マシテ適當デハナイカ、ソレカラ各方面ノ色々ナ反目ハ何トカシテはハ収メテ、自制モシテ貰ヒタイ、又政府デ努力スベキ事ガアレバ努力致シタイ、是ダケノ案位ハ此際通シテ貰ヒタ

イト云フ、非常ナ熱意ヲ以テ提案シタ次第デアリマス

〔國務大臣馬場鐵一君登壇〕

○國務大臣(馬場鐵一君) 工藤君ノ私ニ對シテ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、米穀自治管理法ニ依リマスノト、米穀統制法——現行制度ニ依リテ參ルノト、國庫ノ負擔ニドウ云フ關係ヲ持ツカト云フ御質問デアリマスガ、私ノ今日マデ考ヘテ居リマス所デハ、此法案ニ依ル方ガ、現在ノ制度ニ依リマスヨリモ、國庫ノ負擔ハ増サヌデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレデハ現在ノ制度ヨリモ、ドノ程度ニ減ズルダラウカト云フコトニ付テハ、是ハ中々ムザカシイノデアリマスガ、大體私共ノ今日マデ調べタ所デハ、現行統制法ニ依ルヨリモ、國庫ノ負擔ハ減ズルデアラウ、斯ウ見込シテ居ルノデアリマス

〔國務大臣島田俊雄君登壇〕

○國務大臣(島田俊雄君) 工藤君ノ重ネテノ御尋ニ對シテ御答致シマス、附帶決議ノ問題ハ、此法案ガ成立シテ、實施ヲ致シマス場合ノ意味ニ於テ、附帶決議ヲサレタノデアリマス、併ナガラ現在ノ統制法ノ下ニ於キマシテモ、此附帶決議ヲサレタル事柄ハ、何レモ重要ナ事柄デアリマスカラ、是等ニ付テハ先刻申シマシタ如ク、内部ニ委員ヲ拵ヘマシテ、産業組合ト米ノ取扱業者等ノ關係ニ付テ、協調ヲ如何ニシテ圖ルカト云フ問題、尙ホ本法ガ實施サレマス場合ニ影響ヲ受クベキ中間ノ配給機關、即チ取引所、若クハソレニ關聯シテ業務ヲ營ンデ居ル人々ニ對スル善後ノ處置、又政府米ノ賣買ノ場合ニ於テ、米商人ト産業組合

等トノ扱ヒ、是等ノ事柄ニ付キマシテ、即チ以上三部ニ分チマシテ、回ヲ重ネテ立案ヲ急イデ居ルノデアリマシテ、各部ニ於キマシテハ、之ニ付テ相當ナ案ヲ得テ居ルノデアリマス、マダ總會ニ付シテ之ヲヤルト云フ程度ニハ達シテ居リマセヌケレドモ、相當ナ案ヲ拵ヘテ居ルノデアリマシテ、之ヲ實際ニ現ハシマス場合ニ、豫算ヲ要スルモノニ付キマシテハ、無論ソレニ從ツテ經費ヲ要求シナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ本法案ガ成立致シマシタ場合ニハ、其成立ト共ニ是等ノ事柄ヲ尙ホ進メテ、急速ニ實現ヲシタイト思フノデアリマス

ソレカラ米ノ國營檢査ノコトデアリマシガ、是ハ文書モ印刷シタコトデアリマシ、是非斯様ニ實現ヲ致シタイト思ヒマス、之ニ付テハヤハリ相當ナ經費ヲ要スルコトデアリマスカラ、ソレ等ノ事柄ハ次ノ豫算ニ要求スル機會ニ於テ、即チ十二年度ノ場合ニ於テ、本案ガ實施サレマス場合ニハ、之ヲ要求シタイト思フノデアリマス、尙ホ産業組合ノ指導監督ニ關シテノ事柄デアリマシガ、現在ノ經費ノ關係ニ於キマシテハ、此監督ヲシ、又此檢査ヲスル方法ニ付テ、十分徹底スルコトノ出來ナイ程度ノモノデアリマス、故ニ此多數ノ産業組合ニ對シテ十分ナル監督ヲナシ、指導ヲナスコト云フコトニ付キマシテハ、是ハ別ニ計畫ヲ立テ、相當ナ經費ヲ要求スル考デアリマス、經費ヲ伴ヒマスル事柄ニ付テハ、何レモ豫算ヲ以テ要求シナケレバナラヌノデアリマシガ、

經費ヲ要セズ實際ニヤリ得ル事柄、即チ實行ニ移スベキ基礎トナルベキ案ニ付テハ、熱心ニ研究ヲ致シテ居ル事情ハ、工藤君モ

御承知ダラウト思フノデアリマス、デ私ハ自分ガ此責任ヲ執リマス以上ハ、左様ニ申上ゲタコトハ必ズヤリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス(拍手)

〔工藤鐵男君登壇〕

○工藤鐵男君 御迷惑カモ知レマセヌガ許サレタル程度ニ於テヤリマス、島田農林大臣ノ答辯ハ餘リ要領ヲ得マセヌケレドモ、マア此邊デ止メテ置キマス、ソレカラ大藏大臣ハ十分御承知デアラウシ、又見据エモ付イテ居ルデセウ、ケレドモ兎角餘リ言ハナイコトヲ原則トシテ考ヘテ居ルヤウデスカラ、仰シヤラナイカモ知レマセヌケレドモ、元ヨリモ幾ラカ減ルダラウト云フ、ダラウドハチットマア——ダラウド宜イデスケレドモ、然ラバドウ云フ理由デ減ルダラウ、ドウ云フ理由デ負擔ヲ加重シナイダラウ、此點ニ付テモウ少シハッキリシタ御意見ガナケレバ、財政上ノ事情カラ出發シテ此案ヲ解決スルコトハ出來ナイ、アナタハ隨分長イ間議員ヲヤッテ大概知ッテ居ルノダカラ、先ヅ此位ナラバ行ケルダラウ、此方法ニシタラ宜イダラウト云フコトハ言ヘルダラウト思フ、固ヨリ吾々ハ行政機關ヲ持ッテ居リマセヌケレドモ、先ヅ大體ノ目安ヲ立テ、見テ、外地、例ヘバ朝鮮ナリ臺灣ノ米ヲ統制スル場合ニ於テハ、ソレハ決シテ政府ノ關係ナクシテヤレルモノデハナイ、必ズ相當ノ金ヲ出サナケレバナラヌト思フ、

又實際上ニ於テモ缺點モアルト思フ、ソレカラ全國ニ何百ト云フ、恐ラクハ何千ト云フヤウナ統制機關ガ若シ各處ニ出來ルトシタラ、之ニ對シテモ政府ハ相當ナル力ヲ貸シテヤラナケレバ是ハ出來ナイ問題デアル、ケレドモ私ハ此質問ト云フモノハ單ナル質

問デ、之ヲ豫斷シテ以テ是ハイカスト云フ意味デ言フノデハナイ、唯將來ニ於テ國民ノ負擔ガ加重スルコトハ、吾々大イニ之ヲ惧レルノデ、財政方面ノ人ニハ特ニ御考慮ヲ願ハネバナラヌ、ソレバカリデハナイ、何シロドウモ内閣ト云フモノハ一年カ半年デ始終迭ルノデスカラ、當ノ大臣ハ居ナクナルノダケレドモ、後ニ殘サレタル國民ノ負擔ト云フモノハ、之ニ依ッテ非常ナル禍ヲ受ケルノデアルカラ、大藏大臣トシテハ、私ハ特ニ斯ウ云フ重要法案ガ出タ時分ニ、財政トノ關係ニ付テハ、國民ヲ納得セシムルダケノ御考ヲ、此議場ニ於テ御發表ニナツテ戴キタイ、多分減ルダラウ、減ル見込ダ、サウ云フ見込ナラバ、ソレハドウ云フ根據ニ依ッテ減ルノカ、何シロ澤山ノ機關ガ出來ル、役人モ殖エテ來ル、外地ヲ統制シテ行ク上ニ於テモ、ソレハ種々ナル機關ヲ設ケテ來ルデアラウシ、金モ呉レルカシナケレバナラヌカラシテ、唯減ルダラウ、十年間ニ二億何千万圓ト云フ金ヲ使ッテ行クノデアアルカラ減ルダラウ、ケレドモアノ二億何千万圓ト云フモノ、中ニハ、吾々疑問ニ思フモノモアル、買ハナクテモ宜イ時代ニ米ヲ買ッテ損ヲシテ居ル時代ガ、隨分アツタデアリマセヌカ、ダカラ統制法ハイカス、財政關係ノ方面カラ考ヘテモイカストシタナラバ、ソコデ此點ガ重點トナツテ、此自治管理法ト云フモノニ吾々ハ向ハナケレバナラヌ、而シテ國家今日ノ場合、國民ノ負擔ガ益、加重シテ行ク場合ニ於テ、吾々ハ斯様ナ重要法案ガ成立シタ後ニ於ケル、財政上ノ影響ヲ聽キタイ爲ニ申上ゲタノデアリマスカラ、ドウゾ此點ニ付テハ重ネテ今少シ具體化シタ所ヲ

伺ヒタイ、固ヨリ委員會ニ於テモ質問モアリマセウガ、マア總理大臣ハマダ新シイ處女の態度ヲ以テ國政ニ臨ンデ居ルノデアルカラ、是レ以上ノ御答辯ヲスルコトハ出來ナイカモ知レマセウガ、大藏大臣ニ向ッテ重ネテ是ダケノコトヲ御伺シタイ

〔國務大臣馬場鐵一君登壇〕

○國務大臣(馬場鐵一君) 御答申上ゲマス、私ガ一般會計ニ於キマシテ損失ガ幾ラカ少イデアラウト云フヤウナ考ヲ持チマシタノハ、詰リ統制法デアリマス云フト、米ラ政府デ買ヒマシタモノヲ、最高値段マデハドウシテモ賣ルコトガ出來ナイ、此自治管理ニ依リマスレバ、米ノ値段ガ或ル程度マデニナリマスレバ、其自治管理ヲ解除スル、斯ウ云フコトニナリマスノデ、私共ハ大體ノ見込カラ申シテ、最高値段マデ持ッテ居ラネバナラヌト比ベマシテ、ソコニ多少損失ガ少イデアラウ、斯ウ云フコトヲ大體見込シテ居ルノデアリマス、併ナガラ今御話ノ如ク、此自治管理ヲ致シマスニ付キマシテハ、外地ニ於テモ相當ニ色々ノ施設ヲ致サネバナラヌデアラウト思ヒマス、デアリマスカラソレニ付キマシテノ總テノ費用、サウ云フモノヲ正確ニ見込ンダ場合ニ、果シテ統制法トドノ位違フカト云フ問題ニナリマス、中々ムヅカシイ問題ダト思ヒマス、併シ法律其モノノ立前カラ申セバ、先程申上ゲマシタ通り、最高値段マデ管理シテ置カナケレバナラヌト、或ル程度、即チ米價ガ一割ナラ一割高クナレバ解除スルト云フコトデアリマスレバ、管理保管ノ期間ト云フモノハ、ソレダケ短イ譯デアリマス、其點ニ於テハ確ニ或ル程度ノ負擔ノ減少、斯ウ云フコトニ見ラレノデハナイ

カ、私共ハサウ云フ點カラ、先程申シタヤウニ國庫ノ負擔ハ現行法ト比シテハ少クナルデアラウ、斯ウ申上ゲタ譯デアリマス

○議長(富田幸次郎君) 河野一郎君

〔河野一郎君登壇〕

○河野一郎君 私ハ本案ノ内容ニ關スル質疑ニ入ルニ先ダチマシテ、主トシテ拓務大臣ニ御尋致シテ見タイ點ガアルノデアリマス、即チ吾々ガ我國ニ於キマスル所ノ米穀對策ニ關シマシテ常ニ研究致シマスル際ニ、最モ不審ニ思ヒマスルコトハ、朝鮮米ニ關スル統計ノ杜撰、出鱈目ノ點デアリマス、ドウ考ヘマシテモ此鮮米ニ關スル統計ガ杜撰、出鱈目デアリマス爲ニ、正シキ結論ヲ得ルコトガ甚ダ困難ナル場合ニ遭遇スルコトガ多イノデアリマス、ソコデ政府ハ本案立案ニ當リマシテ、果シテ吾々ガ手ニ致シテ居リマスル調査統計ヲ基礎トシテ本案ヲ立案セラレタルモノナリヤ否ヤ、乃至ハ本案調査ニ當ッテ他ニ的確ナル數字ヲ基礎トシテ立案セラレタルモノナリヤ否ヤ、乃至ハ吾々ニ示サレテ居リマスル所ノ政府發表ノ計數ガ的確ナル數字ナリヤ否ヤノ點ニ付テ、數字ヲ示シテ最初ニ御尋致シテ見タイノデアリマス

先ヅ第一ハ朝鮮ニ於キマスル所ノ大正元年以來、二十有餘年ニ亙ッテ朝鮮住民ノ一人當リノ米ノ消費量、即チ朝鮮ニ住ンデ居ラレマスル方々ガ、ドレ位米ヲ食ッテ居ラレカ、ドレ位米ヲ食ハレルカト云フ數字ニ付テ調べテ見マスノニ、大正元年ニ一千万石消費セラレタ、食ハレタ米ガ、昭和九年ニハ八百二十八万石、人口ハ大正ノ初メト昭和ノ今日ト比ベマスルト、其間ニ是モ正シイ數字ガアリマセヌノデハッ

キリ分リマセヌガ、少クトモ四五百万人ノ朝鮮住民ノ増加シテ居リマスルコトハ事實デアリマス、然ルニ四五百万人ノ人間ガ増加シタニ拘ラズ、此處ニ住ンデ居ラレマスル方々ガ大正元年一千百万石米ヲ食ベタモノガ、昭和八年、九年ニ八百萬石、八百二十萬石ノ米ヲ食ハナイト云フコトハ、ドウシテモ吾々ガ肯クコトガ出來ナイノデアリマス、其間ノ經過ニ付テ調べテ見マシテモ、之ヲ一人當リノ消費量ニ付テ考ヘマスルト、大正ノ初メニ於キマシテハ一年ニ人間一人ガ五斗六升、五斗二升、五斗六升食ベテ居タモノガ、今日ニ於キマシテハ昭和七年ニハ三斗八升、昭和八年ニ三斗八升、昭和九年ニ三斗九升、之ヲ内地ノ一人當リノ消費量ニ比ベテ見マスルト、僅ニ三分ノ一デアリマス、我ガ聖代ニ於テ、一視同仁ノ立場ニ於キマシテ、朝鮮ニ住ンデ居ラレマスル方々ガ、内地ノ住民ニ對シテ三分ノ一ノ米ヲ食ハヌト云フ數字ハ、ドウシテモ吾々ガ之ヲ眞面目ニ此數字ガ正シイトハ、考ヘルコトガ出來ヌノデアリマス、何等カ此裏面ニ「インチキ」「トリック」ガアルト云フヨリ外ニハ考ヘラレヌノデアリマス、併ナガラ私ハ唯理由ナクシテ「インチキ」「トリック」ト申スノデハアリマセヌ、即チ朝鮮當局ガ常ニ其米穀事情ヲ内地ニ對シテ善意ニ解釋セシメルノ意味ニ於テ、發表セラレタルデハナイカト吾々ハ想像スルノデアリマス、即チ其他ノ材料ニ依リマシテモ、朝鮮ニ於テ、例ヘバ非常ニ不作ノ年デアッテモ、内地ニ向ッテハ非常ニ多量ノ米ガ移入セラレタ、斯ウ云フ馬鹿ナ事情ハ考ヘラレヌノデアリマス、デアリマスガ故ニ先ヅ最初ニ拓務大臣ハ是等ノ疑問ニ對シテ、明確ナル御答辯ヲ願ヒタ

イノデアリマス

次ニ伺ッテ置キタイノハ、昨日竝ニ本日ノ當議場ニ於キマシテ農林大臣ノ米穀對策ニ對スル御意見ハ、非常ニ明確適切ニ御示シニナッテ居リマス、然ルニ拓務大臣ノ御答辯ニ至リマシテハ——昨日同僚三善君ニ對スル御答辯ニ至リマシテハ、マルデ何等ノ信念モナク、何等ノ見識モナク、唯拓務大臣就任後ニ於ケル一屬僚ノ示ス所ヲ其儘當議場ニ受賣リセラレタルニ過ギナイトシカ考ヘルコトガ出來ヌヤウナ御答辯デアリマス、恐ラク永田拓務大臣ハ拓務大臣御就任以前ニ於キマシテハ、ア、シタ考ヘ持ッテオ居デ、ナカッタラウト私ハ思フ、而モ若シモ自己ノ信念ヲ以テ斯ノ如キ御答辯ニナッタ致シマスルナラバ、敢テ私ハ總理大臣ノ御答辯ヲ求メナケレバナラス、昨日ノ拓務大臣ノ御答辯ト農林大臣ノ御答辯トノ間ニハ、ハッキリ喰違ヒガアル、拓務大臣ノ御答辯ニ依リマスレバ、此法案ハ内地外地通ジテ共ニ忍ブベキヲ忍ンデ、此法案ヲ提案スルノデアアル、此法案ニ依ルノデアアル、此法案以外ニハ正シイ法案ハナイ、最善ノ法案ハナイト云フコトヲ明確ニ御答辯ニナッテ居ル、然ルニ農林大臣ハ私ガ今更茲ニ繰返ス迄モナク、只今最善ノ法案トシテハ他ニ探ルベキモノハアル、併シ現下ノ情勢ニ於テハ差當リ此案ヲ出スノデアアルト御答辯ニナッテ居タル、總理大臣ハ庶政一新ノ立場ニ於テ、果シテ閣内ヲ如何ニ御繼メニナッテ、本案ヲ提出ニナルノデアアルカ

此機會ニ總理大臣ニ私ガ斯ウ云フコトヲ申上ゲルコトハ、甚ダ御無禮カモ知レヌガ、御許ヲ得テ一言總理大臣ニ申上ゲテ見タイ事ガアル、總理大臣ハ昨年外務大臣當時ニ

於カレマシテ、有力ナル雜誌記者ト御會見

ニナツテ、雜誌ニ意見ヲ發表シテ居ラレ、其文中ニ依リマスルト、非常ニ農村問題ニ深キ御造詣ヲ持ッテ居ラレルヤウニ示シテアル、一例ヲ舉ゲマスルナラバ、今日ノ農村ノ窮狀ニ對シテ非常ニ同情の意味合ニ於テ、又是ガ解決ニ對シテ、現ニ愛知縣下ニ於ケル所ノ農村ノ家庭工業ノ實例ヲ例示シテ、斯ル方法ニ依ッテ今日ノ農村ノ窮狀ヲ打開シナケレバイカスト云フコトヲ、ハッキリ具體的ニ示シテ居ラレ、然ルニ只今當壇ニ於テ御述ベニナリマシタル所ニ依リマスルト、農村ノ問題ニ於テハ餘リニ深キ研究ガナイ、素人デアルト云フヤウナ、甚ダ頼モシカラザル御答辯ノヤウデアル(拍手)

私ハサウ云フ無責任ナ態度ヲ執ラレルコトハ好マシクナイ、今日ノ農村ガ家庭工業、小工業ヲ希望シテ居ルコトハ勿論デアリマス、大變ニ著眼ガ私ハ偉イト思ッテ尊敬シテ居タ、然ルニ一タビ總理大臣ニナラレマスルト、斯ウ云フコトニ何等手ヲ著ケョウトナサラズニ、唯素人、分ラヌヲ以テ胡麻化サウトスルガ如キハ、斷ジテ許スコトハ出來ナイノデアリマス(拍手)デ先ヅ最初ニ只今申上ゲマシタ通り、此統計ノ基礎ニ於テ拓務大臣ノ御答辯ヲ得マシタ上デ、重ネテ本質的質問ヲ致シタイト考ヘマス

○議長(富田幸次郎君) 河野君ニ申シマスガ、一問一答ハドウカト思ヒマスカラ、全部御質疑ニナツテハ如何デスカ

○河野一郎君 此次ニ申シマス

○議長(富田幸次郎君) 先例ハ全部御質疑願フコトニナツテ居リマス、全部ヲ一ツ御述ニナツテ、ソレカラ又繰返シテデモ御質疑ニナレバ宜シイ

(河野一郎君登壇)

○河野一郎君 議長ノ御注意デアリマスルカラ——只今私、拓務大臣ニ申上ゲマシタ數字ノ點ハ、私ノ示シマシタル數字ガ拓務省發表、朝鮮總督府發表ノ數字デアリマスルカラ、此基礎ニ基イテ私ノ質問ヲ進メテ見タイト考ヘマス

先ヅ第一ニ御尋致シタイノハ、本案ノ骨子ハ只今農林大臣御説明ニナリマシタル通り、過剩米穀ノ管理ニ在ルノデアリマス、然ルニ我國ニ於キマスル所ノ米穀事情ヲ大局的ニ達觀致シマスルナラバ、申上ゲル迄モナク内地ニ於キマシテハ、年々一千万石前後ノ米ガ足りナイノデアリマス、此足リナイ部分ヲ朝鮮、臺灣、即チ外地ヨリノ補給ヲ受ケテ我國全體ノ米穀ノ需給事情ガ圓滿ニ參ルコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルガ故ニ過剩米穀ハ常ニ内地ニハナイノデアリマス、更ニ之ヲ細カク申上ゲテ見マスルナラバ、内地各府縣ニ付テ之ヲ調ベマスルト、内地各府縣ニ於キマシテハ、東京府外二十縣ノ多キニ互リマシテ、年々其府縣ハ縣内產米ヲ以テ縣内ノ消費ニ充ツルコトハ出來ナイノデアリマス、何レモ他ノ府縣若クハ、臺灣、朝鮮米ニ依ッテ、其縣下ノ需給ノ圓滑ヲ期シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ之ヲ國家的經濟ノ大局カラ考ヘマスルト、態、運賃、諸掛リノ經費ヲ掛ケテ、足リナイ所ノ地方ニ米ノ管理ヲシテ、更ニ一層餘分ノ手數ヲ掛ケテ、其地方ニ他ノ地方ヨリ米ヲ持ッテ參ッテ、其圓滑ヲ期スルト云フコトハ、ドウ考ヘテモ吾々ノ經濟觀念ニ於キマシテハ、不合理デアルト私ハ思フノデアリマス、即チ内地二十府縣ノ縣内產米ノ不足ヲシテ居リマスル府縣ニ於キマシテハ、

自治管理ヲ致セバ致スダケ、其不足分ヲ他ノ方面ヨリ補給セナケレバナラヌノデアリマス、斯ノ如クニ自ラノ米ニ於テ足リナイ處ニ態、管理ヲセシメテ、他カラ持ッテ行ッテ之ヲ補フ如キ無用ナ手數ハ、此庶政一新ノ立場ニ於テ、朝鮮總督府其他ノ反對ノ爲ニ、内地ノ農民ガ多年熱望シテ已マナカッタ所ノ方策ヲ無視シテ、斯ル姑息ナ案ニ依ルコトハ、私ハドウカト實ハ考ヘルノデアリマス、併シ是等ノ點ニ付テ明確ナル御示ヲ願ヒマスルナラバ甚ダ仕合セデアリマス、即チ朝鮮ニ於テ、臺灣ニ於テ、其過剩米穀ヲ貯藏致シマスナラバ、管理致シマスルナラバ、其適當ナル内地ノ必要部分ダケノ米ヲ、外地ヨリ持ッテ參ルコトニ致シマスナラバ、ソレニ依ッテ總テノ問題ガ解決スルノデハナイカト思フノデアリマス、政府ハ昨年來吾々ニ御説明ニナリマスル所ニ依リマスルト、此自治管理ノ法案ニ依ッテ、何等農家ニ對シテ迷惑ヲ掛ケル所ハナイ、農家ノ利益ノ爲ニ本案ヲ實施スルノデアルト云フコトヲ説明致シテ居リマス、果シテ然リト致シマスルナラバ、昨日ノ拓務大臣ノ御考ハ非常ニ間違ヒデアッテ、本案ガ何人モ農家ニ於テ迷惑スルモノガナイト致シマスルナラバ、進ンデ朝鮮臺灣ニ於テ自ラ喜ンデ、其生產米ヲ自治管理致セバ足リルノデアリマス、朝鮮臺灣ニ於テ自治管理ヲスベキモノデアリマス、好シデ朝鮮臺灣ヨリ、内地ノ管理シタ分マデモ朝鮮臺灣カラ持ッテ參ッテ此不足分ヲ補フ、斯ル無益ナ徒勞ハ御止メニナツタ方宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ明確ナル御示ヲ願ヒタイノデアリマス

第二ニ御尋致シテ見タイ點ハ、本案ニ依

リマスルト、内地ニ於テ三割五分、朝鮮ニ於テ四割三分、臺灣ニ於テ二割二分ノ割合ヲ定メテ、此比率ニ依ッテ自治管理ヲ行フト云フコトニナツテ居リマス、過剩米ノ自治管理ヲ行フト云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ其末段ニ於キマシテ、特別ナル事情、即チ特別ナル豐凶ノアツク場合ニハ、設ケラレマシタル所ノ委員會ニ付議シテ、多少ノ比率ノ變更ヲスルコトガアルト云フコトガ規定シテアリマス、然ルニ私調查致シマスル所ニ依リマスルト、豐凶ノ場合ガ常デアリマシテ、政府當局ノ狙ッテ居リマスルヤウナ普通ナ場合ガ稀ナノデアリマス、朝鮮、内地ノ氣候風土ノ關係カラデアリマセウ、過去ニ於キマスル所ノ數字ノ示シマスル所ニ依リマスルト、大正五年以後ニ於キマスル所ノ内地ト朝鮮トノ豐凶ノ關係ニ付テ數字のニ調ベマスルト、大正七年ハ内地ニ於テ五十四万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ朝鮮ハ百九十一万石ノ豐作ニナツテ居リマス、大正八年ハ内地ガ四百六十八万石ノ豐作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ百二十七万石ノ不作トナツテ居リマス、更ニ大正十年ハ内地ガ三百六十六万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ二百二十二万石ノ豐作トナツテ居リマス、大正十二年ハ内地ガ三百四十七万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ七十七万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ七十三万石ノ豐作デアリマス、更ニ大正十三年ハ内地ガ百八十九万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ朝鮮ハ百二十万石ノ豐作デアリマス、大正十四年ハ内地ガ百三十六万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ二十七万石ノ豐作デアリマス、更ニ昭和三年ハ内地ガ二百三十万石ノ豐作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ百六十四万石ノ不作デアリマス、昭和四年ハ内

地ガ五十八万石ノ豐作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ百一十一万石ノ不作デアリマス、昭和六年ハ内地ガ五百六十七万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ七万四千石ノ豐作デアリマス、更ニ昭和七年ハ内地ガ四十二万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ四十三万石増作デアリマス、更ニ昭和九年ハ内地ガ千七百三十三万石ノ不作デアッタニモ拘ラズ、朝鮮ハ五万八千石ノ増作ニナツテ居リマス、斯ノ如ク數字のニ調ベテ見マスルト、大正五年以來、斯ノ如ク豐凶常ナラザル場合ガ非常ニ多イデアリマシテ、内地ト朝鮮トガ同一ニ、内地モ米ガ穫レ、バ朝鮮モ穫レル、内地ガ穫レナケレバ朝鮮モ穫レナイト云フ年ハ、僅ニ大正六年、九年、十一年、十五年、昭和二年、五年ノ六箇年ヲ數ヘルノミデアリマス、豐凶常ナラザル朝鮮ト内地トノ事情ガ異リマスル年次ガ多クシテ、所謂本法ノ内容ニナツテ居リマスル所ノ特別ノ場合ガ多クアリマシテ、規定セラレマシタル法律ノ文字其儘適用ヲ受ケル數字ガ、非常ニ少イデアリマス、斯ノ如キハ吾々ノ常識ヲ以テ致シマスルナラバ、立法ノ趣旨トシテ如何カト思フノデアリマス、斯ノ如ク内地ト朝鮮ノ作柄事情ガ全ク豐凶常ナラザルモノニ對シマシテハ、自ラ之ニ對シテ採ルベキ他ノ方法ガアルノデハナイカ、他ノ方法ヲ以テスルニアラザレバ、本法ヲ以テ之ノ解決ハ困難デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ特殊ノ例ヲ以テ示シマスナラバ、吾々ガ經驗致シマシタ昨年度ニ於キマシテハ如何デアリマスカ、内地ハ斯ノ如キ凶作デアツタモ拘ラズ、朝鮮ハ非常ナ作柄ヲ見セマシテ、朝鮮臺灣ノ米ヲ以テ内地ノ不作ヲ補ッテ餘リアル程度デ、

既ニ政府ハ二百万石以上ノ買上ヲ爲シタト云フ實例ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ年次ニ於テ、果シテ此割合ノ多少ノ變更ヲ以テ、内地ニ自治管理ヲ以テ臨シタラ如何ナル實情ヲ示スノデアリマセウカ、私ハ是等ニ對シテ深ク疑問ヲ持ツ者デアリマス、ドウカ政府當局ヨリ是等ニ對シテ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

更ニ大藏大臣ニ一言御尋ラシテ見タイノデアリマス（大藏大臣ハ居ラナイ）ト呼フ者アリ居ラレナケレバ宜シウゴザイマス、大藏大臣ノ質問ハ止メマス、最後ニ——商工大臣ハ居ラレマセスカ……（今ノ質問ニ答辯ヲ求メヨウ、答辯ヲ求メテ居ル間ニ出席ヲ頼マウ）ト呼フ者アリ）以上ノ點ニ付テ先ヅ御答辯ヲ願ヒマス（拍手）

（國務大臣永田秀次郎君登壇）

○國務大臣（永田秀次郎君） 河野君ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ致シマス、第一ニ私ガ此米穀自治管理法案ニ對シテ何等ノ信念ヲ持タヌ、農林大臣ハ信念ヲ持ッテ居ルガ、私ガ信念ヲ持タヌト云フヤウナ御言葉ガアリマシタノデ、此點ニ付テ一應申上ゲテ置カナクチャナラヌカト思ヒマス、ソレハ昨日モ申上ゲマシタノデアリマスガ、昨日ノ御問ハ私ニ何カ獨特ノ良法ガナイカト斯ウ云フコトヲ聽カレタノデ、此法案ト云フモノハ洵ニ難カシイモノデアッテ、皆サンガアシナニ御研究ニナツテ、尙ホ今日色々ノ御議論ヲ此議場デ見ルヤウナ、ソレ位ニ此問題ハ難カシイ問題デアリマス、隨テ私ニ獨特ノ良法ガアルカト言ハレマス、遺憾ナガラ私ノ智慧デハ良イ方法ガ見付カリマセヌ、今ノ場合ハヤハリ極端ニ米穀管理專賣ト云フコトモ出來ナケレバ、放任ト云フ譯

ニモ行カヌ、此現狀ニ於テハヤハリ此米穀自治管理法案ガ一番良イ方法ト思フ、斯ウ云フコトヲ申述ベタノデアリマス、隨テ是ガ農林大臣ノ御話トハ精神ニ於テ全ク一致スルト思ヒマシテ、此間ニ何等矛盾衝突ガナイト私ハ考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ニ朝鮮ノ統計ノコトヲ述ベラレマシテ、朝鮮ガ或年ニハ一千百万石ヲ消費シタ、或年ニハ八百萬石ヲ消費シナイト云フコトニ付テノ御尋デアリマシテ、此統計ガ杜撰デアルト云フコトヲ御指摘ニナリマシタノデアリマスガ、統計ノ面デハ此通りニナツテ居リマスノデ、私ハ此統計ヲ信ズルカト云ヘバ、統計ガ此通りニ出テ居リマスカラ、私ハ一應此統計ハ信ジマス、併ナガラ果シテ是ガドウ云フ原因デスウ云フ風ニナツテ居ルノカ、又何カ此統計ノ由テ來ル所ニ間違ヒガナイカト云フコトニ付テ、取調ヲシナクチャナラヌノデアリマス、是ハ私モ此統計ニ付テハ河野君ト同ジヤウニ、ドウ云フ譯ダラウカト云フコトヲ疑ヒマス、ソレハ正直ニ申シマス、ソレハ併シコシナ事情モアルノデス、米ヲ消費スルト云フノハ、假令人口ガ殖エテ來マシテモ、其時ニエラク米ガ高イト云フヤウナ場合ニハ、朝鮮ハ米ト同時ニ粟ヲ澤山食ヒマス、ソレデスカラ高イ米ヲ内地ニ賣ッテ、粟ヲ食ヒタイト云フヤウナコトハ、ソレハ實情アルト思フノデス、隨テ或時ノ朝鮮ノ消費量ガ非常ニ多額デアリ、又或時ニハ少額ニナルト云フコトハ、強チ統計ガ間違ッテ居ルト一概ニ申サレナイ場合モアラウト思フ、此點ニ付テハ尙ホ十分私研究致シテ見タイト思フノデアリマス、又或年ニハ不作ニモ拘ラズ、内地ニ移入ガ多クッタノハ怪シカ

ラスト云フヤウナ御話デアリマスガ、是モヤハリサウ云フ事情ガ事實ニ於テナイトハ申サレナイト思フノデス、統計デサウ表ハレテ居レバ私ハヤハリ一應統計ヲ信ジマス、ソレハ物價ノ關係ニ依リマシテ、ドウモサウ云フ場合モアリ得ルノデ、吾々同ジ内地デアリマシテモ、隨分自分ノ米ハ餘所（賣ッテ、他カラ買ウテ來テ食フ）ト云フ實情ガアルノデスカラ、朝鮮ト内地トノ關係モ色色ナ場合ガゴザイマセウト思ヒマスカラ、其點ハ私トシテハ一應統計ヲ信ジマスルケレドモ、尙ホ統計ハ場合ニ依ッテ、ヨク過チヲ傳ヘルコトモゴザイマスカラ、其點ハ何處マデモ注意ヲ致シマシテ研究致シマス、何分私モマダ十分此問題ヲ本當ニ吞込ムノハ中々容易デナイノデアリマスカラ、其邊モ能ク御察シヲ願ヒマス（拍手）

（國務大臣島田俊雄君登壇）

○國務大臣（島田俊雄君） 只今ノ河野君ノ御尋ニ付キマシテ御答ヲ致シマス、大體ニ於テ内地ハ一千万石程度ノ不足デアリ、隨テ外地カラノ移入ニ依ッテ之ヲ補フ場合ガ多イ、然ルニ内外地ヲ通ジテ之ニ統制ヲ命ジテ一定ノ數量ノ割當スルト云フコトハ、内地ニ於テ必要ナキニ統制ヲ行フヤウナ結果ニナルノデハナイカト云フヤウナ御尋ト考ヘマスガ、是ハ即チ附則ニ於ケル特別ノ事情アル場合ニ割當ヲ動カシ得ル規定ガ加ヘラレテ居ル點ト、サウシテ今一ツハ左様ナ事情ヲ斟酌スル場合ニ於キマシテ、貯藏保管ヲスル者ニ於テ能力其他ノ事情ニ依ッテ貯藏困難ナル場合ニハ、一定ノ價格ヲ以テ政府ガ買上ヲスルト云フ規定ノ運用ニ依ッテ、此關係ヲ處置シテ行クノ外ハナイ、是ガ本法案ガ前議會ニ於テ或點ニ修正ヲ見テ

可決セラレタ點デアリマシテ、此間ニハ内地外通ジテ米穀事情ノ上カラシテ、本法案ヲ成立セシメ、又此成案ヲ得ルニ付テ非常ニ微妙ナル關係ノアツタコトヘ、私以上ニ御承知アラウト考ヘマスガ、ソレ等ノ各法條ノ運用ニ依ツテ、此自治管理ノ案ノ、ソコニ缺點ト云ヘバ缺點デアリガ、妙ト云ヘバソコニ妙ガアルト云フコトヲ御諒解下サレバ、此以上ノ説明ヲ要セズシテ本法案ノ已ムヲ得ザルモノデアリ、是レ以上ニ案ノナキコトヲ御諒解下サルデアラウト考ヘマス、是ダケ御答致シテ置キマス(拍手)

〔河野一郎君登壇〕

○河野一郎君 拓務大臣ノ御答辯ハ事情ガ能ク分ラスト云フコトデアリマスカラ、何レ委員會マデニ十分御調べニナツテ、委員等ニ御答アランコトヲ御願致シテ置キマス、尙ホ數字ノ點デアリマスガ、私ノ申上デマスノハ只今拓務大臣御示シニナリマシタヤウニ、米ガ高カッタカラ内地ヘ行ツタノデアラウトカ、米ガ高カッタカラ粟ヲ餘計食ウタノデアラウトカ云フヤウナ意味合デナシニ、大正元年以來今日マデ内地ノ一人當リノ消費量ニ比ベテ、常ニ半分若クハ三分ノ一ノ米シカ食ウテ居ラス、朝鮮ニ住ンデ居ラレル方ガ、斯ノ如ク果シテ米サヘ食ヘズニ米ヲ作ツテ居ラレルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、朝鮮ノ農民ハ自家デ生産スル所ノ米ヲ食フコトガ出來ナイヤウナ經濟ノ事情ニ置カレテ居ルノデアリマセウカ、若シモ果シテ然リト致シマスナラバ、拓務行政上篤ト御考ヘニナラナケレバナラヌ點ガ、アルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、併シ私ハ此點ニ付テ深ク研究ガアリマセウガ、ドウシテモサウ云フ事情ニ

アラズシテ、此統計ノ示ス所ニ依リマスルト、大正元年ヨリ昭和ノ年代マデ、順次年々歳々次第々々ニ一人當リノ消費量ガ減ツテ參ルノデアリマス、是ハ私ガ計算シマシタノデ、間違テ居ルカモ知レマセウガ、拓務省ノ統計ニハナイ、御調べニナツテ戴キタイ

更ニ商工大臣ガ御見エニナリマシタカラ、民政黨出身閣僚タルノ立場ニ於テ、御答ヲ願ヒタイノデアリマス、商工大臣ハ嘗テ民政黨ニ於カレマシテハ、政務調査會長トシテ民政黨ノ政策ニ付テ重要ナル地位ヲ占メ、熱心ニ政策ニ付テ御研究遊バサレタ方デアリマス、其嘗テ民政黨ノ政策調査ノ首班トセラレマシテ、米穀政策ニ關シテハ十分ナル御研究ガアルト信ジマス、其見地ニ立ツテ、今回黨出身閣僚ニナラレマシテ、今回ノ米穀自治管理法案ニ對シテハ如何ナル所見ノ下ニ、如何ナル見解ノ下ニ、本案提案ニ御贊成ニナツタノデアリマスルカ、御所見ヲ承ツテ見タイノデアリマス、更ニ大藏大臣ハ御見エニナリマセウカラ質問ヲ留保致シテ置キマス

〔國務大臣永田秀次郎君登壇〕

○國務大臣(永田秀次郎君) 朝鮮ノ人達ガ米ヲ消費スルコトガ内地ノ人ノ三分ノ一ニモ足リナイト云フコトハ、如何ニモ可哀相ダト云フヤウナ御同情ノ御話ガゴザイマシタデス、併シ私トシテ考ヘマスルト、是ハ其民族ノ習慣ニ依リマスコトデアリマスカラ、内地ト同ジヤウニ朝鮮ノ人モ米ヲ食ハナクテハナラヌト、サウ決メル必要モナイノデヤナイカ、又粟ヲ澤山朝鮮デハ食ベマスルシ、臺灣デハ諸ヲ食ベル習慣ガアリマス、其爲ニ米ヲ消費スルコトガ少ナイカラ

ト云ツテ、アノ人達ガ非常ニ自分達ガ不仕合セダトハ考ヘテ居ラスヤウデアリマス、サウシテ私モ何等朝鮮總督カラ、民ニ怨嗟ノ聲アリト云フコトヲ聞キマセウノデアリマスルカラ、此點ハ私トシテソレ程心配シテ居リマセウト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

〔國務大臣小川郷太郎君登壇〕

○國務大臣(小川郷太郎君) 河野君ニ御答致シマス、米穀自治管理法案ニ付キマシテハ、私閣僚ノ一人ト致シマシテ、此法案ガ適當ナモノデアリ、必ズ皆様ノ御協賛ヲ得タイト望ンデ居ル所デアリマス、私ガ民政黨ノ出身デアルトカナイトカ云フコトハ問題デナイト思ヒマス、尙ホ其事ニ付テ御話ガアリマシタカラ、敢テ辯解スル必要モアリマセウガ、此調査ハ私ノ政務調査會長時代デヤアリマセウ、サウ云フコトヲ御引用ニナリマシタカラ御答ヲ申シテ置ク譯デアリマス、敢テ是ハ黨出身ト否トヲ問フ問題デナイト私ハ考ヘテ居リマス

〔河野一郎君登壇〕

○河野一郎君 拓務大臣ニ最後ニ一言御尋致シテ見タイト思フノデアリマス、拓務大臣ハ民族習慣ニ依ツテ米ノ食ヒ方ガ少クテモ、大シテ同情ノ必要ハナイト云フ御答辯デアリマスルガ、其點ハ別ニ致シマシテ、年々米ノ食ヒ方ガ減ツテ行クト云フコトハ、ドウ云フモノデアラウカト云フコトヲ私ハ伺フノデアリマス、米ヲ食フコトガ出來ナイヤウニ段々ナリツ、アルノデアラウト云フ疑ヲ持チマス、一面ニ於キマシテ内地ニ米ヲ賣リサヘスレバ、無暗ニ高ク賣レルカラ、ソレデ食フ物モ食ハズニ賣ルノデハナイカ、數字ノ示シマス所ニ依リマス、朝

鮮ノ豊凶如何ニ拘ラス、内地ニ移入セラレマスル數量ハ、内地ノ米穀事情ニ依ツテ朝鮮カラノ移入ハ決マルノデアリマス、總テ内地ノ經濟事情ニ依ツテ朝鮮ニ居ラレマスル方々ガ、米ガ食ヘタリ食ヘナカッタリスルト云フコトニナツテハ、甚ダドウカト私ハ思フノデアリマス、ト同時ニ、更ニ私ノ御尋致シタイノハ、政府ハ一昨年來相當ノ經費ヲ以テ朝鮮ニ於キマスル所ノ生産費調査ヲ、委員會マデ設ケテ調べラレテ居ラレマス、昨年ノ議會ニ於テモ、一昨年ノ議會ニ於キマシテモ、此生産費調査ガ出來レバ出來レバト云フコトデ、吾々ガ委員會デ幾ラ質問ラシテモ其内容ヲ嚴秘ニ付シテ、暫ク待ツデ呉レト云フコトデ、今日ニ及ンデ居リマス、然ルニ吾々ノ承知致シマスル所ニ依リマスルト、一昨年モ金ダケハ使ツタガ、調査ノ結果ハ何等世間ニ發表セラレヌ、昨年モ經費ダケハ使ツタガ、其調べタ結果ガ、内地ノ委員ト外地ノ委員トノ間ニ意見ノ一致ヲ缺イタトカ缺カナイトカ云フコトヲ新聞デ見マシタガ、結果ノ發表ガ出來ナカッタ、サウ云フコトデアリマスルト本案ノ實施後ニ於キマシテハ、只今農林大臣御説明ニナリマシタル通り、事情氣ノ毒ナ、必要ト認ムル場合ニハ買上ラスル、貯藏困難ナル者ニ對シテハ買上ラスルト云フコトニ、法文ガナツテ居リマスルガ、其場合ニ買上價格ハ何ニ依ツテ基礎ヲ定メルカト申シマス、申上ゲル迄モナク生産費デアリマス、所ガ外地ニ於テ相當ノ經費ヲ掛ケテ一年間モヤッタガ、其結果ガ何等意見ガ纏ラス、吾々ニ對シテ示スコトサヘ出來ナイト云フコトデアリマスレバ、何年ヤッタラ一體出來ルノデアリマセウカ、若シ其生産費調査ガ出來ナ

ケレバ、結局本案ノ實施ハ出來ナイコトニナルノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、總テソレ等ノ生産費調査ニ致シマシテモ、吾々ガ常識的ニ考ヘテモ大體ノ見當ハ付クノニ、外地ノ當局ハ、故ラデハナイカモ知レマセヌガ、非常ニ外地ノ生産費ヲ高ク計算セラレテ、世間ニ發表セラレヨウトスル傾キガアル、デアリマスルカラ、只今ノ御答辯ニシマシテモ、拓務大臣ハ屬僚ノ言フコトヲ一切排シテ、サウシテ今迄ノ行掛リニ囚ハレナイ立場ニ於テ、本案ニ當ラレルニアラザレバ、益、問題ヲ紛糾スルノミデアル、其點ヲ十分御注意ニナルト同時ニ、其點ニ對シテノ最後ノ御答辯ヲ得タイ思フノデアリマス

商工大臣ノ御答辯ハ私甚ダ不満足デアリマスルガ、今日政黨ノ現狀ニ付テ考ヘマシテモ、黨出身閣僚ハ、今少シ毅然タル態度ニ於テ、其政黨ノ政策ニ對シテ今少シ忠實ニ、勇敢ニ、大膽ニヤッテ戴キタイ、單ニ小川サンガ偉イカラ商工大臣ニナラレタノデハナイデアリマセウ、民政黨ノ領袖タルノ立場ニ於テ大臣ニナラレタノデセウ、然ラバ堂々ト民政黨ノ政策ニ、忠實ニヤッテ戴キタイト云フコトヲ一言申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

〔國務大臣永田秀次郎君登壇〕

○國務大臣(永田秀次郎君) 朝鮮ノ人達ガ年々米ヲ食フコトガ減ッテ行ク、ソレガ内地ノ經濟事情ノ爲ニ米ヲ食フコトガ減ッテ行クノハ困ル、氣ノ毒デヤナイカト云フヤウナ風ニ伺ヒマシタガ、此事ハ先ニモ申上ゲマシタ通りニ、ヤハリ朝鮮ノ人ガ米ヲ食ヒタケレバ食フノダラウト思フノデス(笑聲)ソレデスカラ何カ色々ノ事情ガアツテ、米ヲ

食フヨリモ粟ヲ食フ方ガ宜イト云フヤウナ事情ガアルモノト私ハ推測シテ居ルノデ、是デ必シモソノナニ朝鮮ノ人達ガ不仕合セノ狀態ニアルトハ、私ハドウシテモ考ヘラレマセヌ、ソレハソレダケノコトニ私ノ氣持ダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ生産費ノ調査ヲ何年ヤッテモ出來ナイデヤナイカ、是ハ洵ニ私トシテモ恐縮シテ居リマス、生産費ノ調査ト云フモノハ、調べレバ調べル程難カシヤウナ感じガスルノデアリマス(笑聲)何處デ是ガ本當ニ信念ノアル間違ヒノナイ調査カト云フコトハ洵ニ難カシイノデス、ソレデスカラ今日マデ調査ガ出來テ居ラスデヤナイカト言ヘルト、何モセズニ放ッテアル譯デヤナイノデ、色々調査ノ結果ガ現ヘレテ來テ居ルノデアリマス、併シソレガ此點ハ疑問ガアル、アノ點ハ疑問ガアルト云ッテ、更ニ色々討究ラシテ居リマスル爲ニ、數字のニ正確ニ、今茲ニ一石ニ付テ幾ラ掛カルト云フコトヲ此席デ申上ゲルコトハ、洵ニ私トシテ躊躇致シマスルガ、本案ガ通過シテ愈々實施スルト云フ時機ハ、是非トモ之ヲ確定致シマスカラ、ドウカ其點デ御諒承ヲ願ッテ置キマス(拍手)

○議長(富田幸次郎君) 岡田喜久治君

〔岡田喜久治君登壇〕

○岡田喜久治君 諸君、御承知ノ通り我國ニ於キマスル米穀ノ問題ハ、國策上極メテ重要ナ現下ノ一懸案デアリマス、而シテ米穀統制法竝ニ又米穀自治管理法案、此兩法案ノ實現ハ、畢竟此米穀問題ノ根本的對策ヲ解決セントシテ試ミラレントスルコトデアリマス、何レモ極メテ強力ナル所ノ經濟立法デアリマシテ、或ル意味ニ於テハ、世界ニ於テサヘ其類ヲ見ザルヤウナ、強力ナ

經濟立法デハナカラウカト思ヒマス、ソレダケニ洵ニ本案ニ對シマシテハ、初メカラ天下ノ議論囂々タルモノガナイデハナイノデアリマシテ、昨年来穀自治管理法案ガ本議會上程セラレ、續イテ可決セラレルニ際シマシテモ、院外ニ於テ到ル處デ様々ト之ニ對スル論難モアリ、批評モ起ッタノデアリマス、是ハ此法案ノ重要性ト至難性トニ考ヘテ見マスルナラバ、或ル意味ニ於テハ私ハ無理デモナイ筈ノコトデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ吾々議員ト致シマシテハ、昨年既ニ此自治管理法案ハ、御承知ノ通り本議會ニ於キマシテ滿場一致之ヲ可決致シテ居ルモノデアリマス、況ヤ米穀統制法ニ至リマシテハ、先年既ニ之ニ協賛ヲ與ヘ、之ヲ實現セシメタ責任アルモノデアリマス、隨ヒマシテ今更私ハ此自治管理法案ニ付キマシテモ、是ガ根本問題ニ付キマシテ、アレヤ此レヤト論議ヲ試ミル必要ハナク、質問ヲ致ス要ヲ認メナイヤウナ次第デアリマス、此點ニ付キマシテハ、先刻島田農林大臣カラシテ、此席ニ於テ御答辯ガアリマシタガ、私ハ極メテ簡明至極ナ御答デアルト思フノデアリマスルシ、吾

吾ガ昨年舉ッテ之ニ協賛シタ趣意モ、アノ答辯ノ趣旨ニ外ナラスノデアリマス、要スルニ色々ト世間ニハ異論ハ多クアリマスルガ、苟モ今日米穀統制法ト云フモノガ現存致シテ居リマシテ、米穀ニ對スル統制ノ政策ヲ國家トシテ行ハントスル以上、アノ統制法獨存ノミデアッテハ、容易ニ是ガ圓滑ナル運用ヲ全ウスルコトハ出來得ナイト云フコトハ明カデアラウト思ヒマス、是アルガ爲ニ此自治的統制ヲ行ハシメントシ、隨テ或ハ圓滑ナル運用ヲ期待シ、或ハ財政負擔ノ

輕減ヲ圖ランガ爲ニ、或ハ進ンデハ又朝鮮及ビ内地ニ對シマシテ、一貫シタル統制ノ趣意ヲ徹底セシメンガ爲ニ、茲ニ必然生レタモノガ此自治管理法案デアルニ違ヒナイノデアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、全ク此自治管理法案ト云フモノハ、苟モ統制法ノ存在シテ居ル以上、附隨的ニ、所謂補充的立法トシテ具ハラネバナラスダラウト思ヒマス(拍手)統制法ノ重大ナル缺陷ヲ、此手段ニ於テ補フノ外ハナイノデアリマス、他ニ途アラバ率ザ知ラズ、先刻農林大臣モ言ヘレマシタ通り(簡單)ト呼フ者アリ)若シモ統制ノ手段ニシテ他ノ途アルナラバ、或ハ統制ヲ否トスルナラバ率ザ知ラズ、今日ノ場合ニ於キマシテハ以上ノ見地カラシテ、此法案ノ實現ハ、必然茲ニ一日モ早く解決ヲセネバナラス問題デアルト云フ一事ニ盡キテ居ルノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス(贊成演説カ意見カ何ダ)ト呼フ者アリ)併ナガラ之ニ對シマシテ、世上ニ於テ尙ホ往々ニシテ隨分様々ノ意見ガアリマスル中デ、私共ノ諒解ニ苦マザルヲ得ナイヤウナ意見モ多クアルノデアリマス、私ハ之ニ對スル一々ノ事項ヲ捉ヘテ論ズル意思ハアリマセヌガ、餘リニモ此自治管理法案ニ對シテ理解ヲ得ラレナイコト

ノ遺憾ヲ禁ジ難イ結果ト致シマシテ、此一二ノ事例ニ付キマシテ茲ニ申上ゲマシテ、併セテ之ニ對スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、即チ吾々ノ判斷スル所、解釋スル所ガ相當デアルカ、ソレデ間違ッテ居ラナイノカ、ソレトモ世間ニ行ハレツ、アル所ノ、之ニ對スル反對ニ關スル意見ノソレガ正シイモノデアルカ、誤ッテ居ルモノデアルカ、是等ノ點ヲ明ニセンガ爲

ニ、聊カ此事項ヲ例示的ニ申シ、論ジテ見
タイト思フノデアリマス

世間ノ議論ノ中最モ代表的ナモノハ、彼
ノ米穀商組合聯合會ニ於キマシテ「米穀自
治管理法案反對要旨」ト云フ冊子ヲ配布セ
ラレテ居リマスルガ、是ハ極メテ其代表的
ナモノデアラウト思ヒマスルガ、此反對要
旨ヲ一覽致シマシテ、甚シク本案ノ趣旨ヲ
幾多誤解シテ居ルノデハナカラウカト思
レル點ガ多イノデアリマス、例ヘバ其中ニ
ハ、若シモ此自治管理法案ガ實施セラル
ナラバ、米穀商ト云フモノハ全ク地ヲ拂ッ
シマフモノデアアル、跡ヲ絶ッテシマフモノ
デアル、全部是等ノ業務ハ奪ハレマシテ、而
シテ天下二十五萬、或ハ其家族ヲ合セテ二
百萬ニ垂ントスル所ノ一大商人層ガ、茲ニ
没落ノ運命ニ歸セネバナナイカノ如キ、
甚ダドウモ強イ意味合ニ意見ガ述べラレ
居ルノデアリマスルガ、私共ノ見ル所ヲ以
テシマシテハ、此自治管理法案ガソレ程強
力ナルモノデアアルベキ筈ハナイ、言フ迄モ
ナク自治統制ト申シナガラ、所謂過剰米
ノミヲ統制スルト云フコトニ、限度ハ自ラ
決ッテ居ルノデアラウト思ヒマス、從前
ノ米穀法ニ於ケル政府ノ買上ノ量ト、此自
治管理法案ニ於ケル過剰米ノ統制スベキ量
トノ相違ハ、是ハ米穀事情ニ依ッテ相違
ガアリマセウカラ、ドウ云フ風ニ相成ル
カ知レマセヌガ、少クトモ申上ゲ得ルコト
ハ、必シモ自治管理法案ガ實施セラレタ
シマシテ、今迄ト違ッテ大變ニ澤山ナ所
ノ米穀ガ、總テ統制貯藏セラル、モノデア
ルト云フコトデハ少シモナイノデアリマス、
況ヤ既ニ米價ガ漸次標準最低價格ヨリシ
一割高ニナルト云フヤウナコトニ相成リマ

スレバ、御承知ノ通り是ガ解除セラレマシ
テ、續々ト市場ニ出廻ルコトガ出來ルノデ
アリマス、隨ヒマシテ自治管理法案ガ實行
セラレルナラバ、私ハ寧ロ從來ヨリモ此市
場ニ出廻ルベキ所ノ數量ト云フモノハ、多
クナルヤウナモノデアアルト解釋スルノガ、
通例ノ場合ト見テ宜シイノデハナカラウカ
ト思フノデアリマス、其外必ズシモ統制組
合、若クハ産業組合ガ之ヲ取扱ヒマシタ
テ、是等ノモノハ必ズ適當ノ日ニ、然ル
ベキ時期ニ於キマシテハ何レモ解除セラレ
マシテ、一般市場ノ商品トシテ取扱ハルベ
キモノデアリマスルカラシテ、總テノモノ
ガ、縱シソレガ産業組合ガ扱ッタルシマシ
テモ、産業組合カラシテ直接ニ、或ハ他ノ消
費團體等ニ販賣セラレルト云フコトバカリ
アルベキ筈ハナク、必ズヤ是ガ商人諸君ノ
手ニ移リマシテ、其中間機關ニ依リマシ
テ處理セラレルト云フコトハ言フヲ俟タス
思フノデアリマス、隨テ其憂ヘラレル所ハ
御尤ナ點ガアルデアリマセウガ、一言ニシ
テ申セバ、甚シク之ヲ過大視シテ居ルノデ
ハナカラウカト存ズルノデアリマス、言葉
ヲ換ヘテ言ヘバ痴人夢ヲ説クガ如シト云フ
ヤウナ有様デアリマシテ、洵ニ餘リニ事
將來ニ向ッテ悲觀的ノミニ物ヲ觀テ居ルト
申シマセウカ、或ハ誇張的、過大的ニ物ヲ
考ヘ過シテ居ルノ結果デハナカラウカト思
ハザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ此自治
管理法案ガ通過シマスルコト云フト、是迄ヨ
リモ尙ホ一層融通ニ於テ自由潤澤ノ途ヲ起
スデアラウト云フヤウナコトハ、他ノ點ニ
於テモ亦考ヘラレルノデアリマス、デアリ
マスカラ、其心配サル、所ハ甚シク思ヒ過
シデナカラウカト思フノデアリマス

又次ニハ産業組合中心主義云々ノ點ニ付
キマシテ、非常ナ心配ヲセラレテ居ルヤウ
デアリマスルガ、必シモ自治管理法案ノ立
前ト云フモノハ、産業組合ノミヲ非常ニ重
ク視テ居ルトカ、或ハ産業組合ニ偏重シテ
居ルトカ云フコトノミヲ言ヒ得ナイト思フ
ノデアリマス、要スルニ憂ヘラレル所ハ、
或ハ産業組合ガ今日漸次自然ノ勢トシマシ
テ、非常ニ伸展發達ヲ見ツ、アルト云フヤ
ウナ關係デアアルカラシテ、其上ニモ代行機
關トシテ、統制組合ニ代ルベキ所ノ機關ト
シテ、此過剰米ノ取扱等ヲ爲スヤウナコト
ニナルト、多々益、以テ産業組合ガ其威力
ヲ發揮シ、若クハ普及擴大ヲスルデアラウ
ト云フ結果、所謂中小商工業等ニ對シマシ
テ、是ガ非常ナ重壓トナリ、壓迫トナリ、
其權益ヲ侵害スルノ域ニ至ルデアラウト云
フヤウナ見地カラシテ、心配セラレテ居ル
ノデアラウト思フノデアリマス、此點ハ勿
論私ハ一部認メマス、洵ニ左様ナ事情ノ一
部アリマスルコトハ能ク承認出來マスルガ、
併ナガラ其説タ所、憂ヘラレル所ガ餘リニ
私ハ過大デハナイカ、所謂物ハ程度問題デ
アリマスルカラ、餘リニドウモ過大デハナ
カラウカ、ソレ程マデニドウモ産業組合ガ
非常ナ伸展發達ヲ遂ゲルト云フコトハ、實
際ニ於テ容易デハナイ、況ヤ法規ノ立前カ
ラ申セバハ唯單ニ過剰米ニ關スル所ノ統制
ノ事務ガ少シク殖ニエルト云フダケデアリ
マスカラ、ソレノミニ依ッテ必シテ産業組合、ガ
憂フルガ如キ非常ナ力ヲ伸バストカ、或ハ
是ガ延イデ以テ一切ノ米穀ヲ獨占的ニ處理
統制スルヤウナ力ヲ發揮スルデアラウト
云フガ如キコトヲ憂ヘラレルコトハ、餘リ
ニモ憂ヒニ過ギルノデハナイカト思ハザル

ヲ得ナイノデアリマス、是等ノ點ニ付キマ
シテデハ、吾々ハ斯ノ如キ見解ヲ持ッテ居ル
第デアリマスガ、政府ニ於テハ如何ナル見
解ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスカ、殊ニ私
ノ最モ遺憾トスルコトハ、從來政府ハ斯ノ
如キ米穀商聯合會等ノ所見ニ對シマシテ、
是デ十分之ニ對シテ其法案ノ趣意ヲ表明
シ、或ハ其諒解納得ヲ求ムルト云フヤウナ手
段ヲ施スニ十分デアツカドウカ、吾々ハ今
日依然トシテ斯ノ如キ反對ノ論ガ囂々トシ
テ行ハレル所ヲ以テシマスルナラバ、之ニ
對スル所ノ政府ノ態度其ノモノニ付キマシ
テ、聊カ遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイト云フコ
トニ相成ルノデアリマスガ、果シテ政府ハ
是等ノ點ニ付キマシテ、ドウ云フヤウナ處
置方針ヲ以テ臨ンデ來ラレテ居リマスカ、
此點ニ付キマシテモ併セテ茲ニ答辯ヲ載キ
タク思フノデアリマス

其外幾多質問モ申上ゲタイト思ヒマシ
ガ、實ハ先刻附帶決議ノ條項ニ付キマシ
ハ、我黨ノ工藤君カラ十分ニ徹底シタ質問
モアツクノデアリマス、唯之ニ對シマシテ政
府ノ御答辯ガ洵ニドウモ要領ヲ得ナイバ
カリデハナク、何故カドウモ曲庇シテ多ク
ヲ語ラナイト云フヤウナ有様デアツクコト
ハ、私ノ洵ニ遺憾ニ思フテ居ッタル次第
デアリマス、寧ロ政府ハ斯ル議場ニ於テコソ、
幾多ノ當議會ガ附帶決議トシテ要望シマシ
タ諸案件ニ付キマシテ、其後ノ處置ノ經
過及ビ結果ニ付キマシテ、逐一之ヲ發表セ
ラレマシテ、天下ヲシテ安心ヲセシメルト
云フコトガ至當デハナカラウカト思フノデ
アリマス、或ハ委細ノ事ハ委員會等ノ機會
ニ於テ、之ヲ語ラウト云フヤウナ意味合カ
モ知レマセヌガ、以上申上ゲマスル通り、

私ハ斯様ニ物議紛々タル所ノ問題ニ對シマシテハ、此機會、此議場ニ於テこそ、農林大臣ハ堂々トシテ逐一此點ニ付キマシテ發表シテ然ルベキモノデアラウト私ハ思フノデアリマス、何レモ決議事項ト云フモノハ、眞ニ吾々議會ニ於キマシテ——法案ヲ實施スル上ニ於テハ、此點ダケハ是非共之ヲ條件トシテ全ウセシメネバナライ、即チ米穀商人ニ對スル所ノ打撃影響ト云フモノハ、政府ノ言フガ如クシテ全ク無イト申シマスルガ、吾々ノ觀ル所ヲ以テシマスレバ、全ク無イガ如キ語ヲ以テ辯ズルコトハ甚シキ誤デアリマス、私ハ此米穀自治管理法案ガ總テノ方面ニ無影響デアルトハ申シマセス、必ズ是ハ相當ニ、御氣ノ毒ナコトナガラ米穀商人側ニ對シマシテハ、其業務ノ範圍ニ對シマシテ、相當ノ影響ヲ與フベキモノデアルト云フコトダケハ明カデアラウト思フ、隨テ之ヲ心配スル結果、即チ決議案ニ掲ゲルガ如キ様々ナ註文ヲ吾々ハ致シタノデアリマス

或ハ又産業組合ノ進展ニ付キマシテモ、私ハ以上申上ゲタ次第デアリマスルガ、産業組合ノ進展發達ニ從ッテ、中小商工業者若クハ米穀商人ノ權益侵害ト申シマセウカ、兎ニ角ソレ等ニ對スル影響ト云フモノガ、絶無デアラナドトハ私ハ考ヘナイ、政府ハ往々ニシテ之ニ對シマシテモ、殆ド何等ノ影響ガナイ、ト言フヨリモ、政府ノ理由書ニ依リマス、何レモ是等ノ點ハ何等ノ影響打撃ハアルベキモノデハナイト云フヤウナ極論ヲ致サレテ居ル、是ハドウモ吾々ハ政府ノ答辯ト申シマセウカ、説明ト申シマセウカ、即チ前以テ配付セラレテ居リマスルヤウナ各種ノ説明書ニ依ッテモ、以上

ノヤウナコトヲ漏ラサレテ居ルコトハ、決シテ當ラナイト思フ、併ナガラ又吾々ハ米穀商組合ノ諸君ニ於テ叫ブガ如ク、ア、云フ極端ナ過大ナル所ノ影響アルガ如キ言辭ヲ爲スコトモ誤デアラウト思フ、相當ノヤハリ影響ト申シマセウカ、關係ハアルノデアリマスカラ、之ヲ憂ヘレバこそ、少クトモ本法ヲ實施スルト云フ以上ハ、私共ハ此産業組合ニ於ケル從來ノ弊風ニ付キマシテモ、宜シク相當ノ取締ヲ加ヘネバナライ、或ハ不當ナル所ノ業務ガアルナラバ、監督ヲ嚴シテ之ヲ改メナケレバナライ、或ハ徒ニ其業務ノ範圍ヲ擴大致シマシテ、中小商工業者ノ領域ヲ侵害スルト云フヤウナ憂ガアル場合ニ於キマシテハ、是亦相當ニ産業組合ノ立場ニ在ルベキ者ヲシテ大ニ反省ヲセシメ、若クハ取締ノ實ヲ擧ゲ、其他ノ手段ニ於キマシテ、是ガ調節ノ途ヲ講ゼネバナラス、斯様ナコトヲ痛切ニ感ズル餘リ、最重要ナル點トシマシテ、是等ノ問題ヲ附帶決議ニ述ベテ居タノデアリマス

聞クガ如クシテ、最近配給調整協議會ナルモノヲ農林省ニ於テ開カレマシテ、先刻一寸大臣ノ御話モアツタヤウデアリマスルガ、ソレハ是等ノ問題ニ付キマシテハ、主務省モ詮議、協議、研究中デアル如ク、新聞紙上等ニ於テ吾々ハ承知致スノデアリマス、隨テソレ程ノ實際ノ用意モアリ、様々ナ研究調査モアリマスル以上、是ハ取りモ直サズ此附帶決議ニ關聯致シマシタ問題デアリマスルカラ、大臣ハ本當ニ此處ニ於テ率直ニ、又熱誠ニ、唯獨リ此議場ニ於ケル答辯ヲ爲スト云フ意味デハナク、滿天下此問題ノ成否ヲ憂フル所ノ農民諸君ニ對シ、或

ハ之ニ對スル所ノ米穀商ノ組合ヲ初メ其他ノ關係者方面ニ對シマシテ、廣ク天下ニ之ヲ聲明シテ諒解ヲ求ムルト云フ意味ニ於キマシテ、大イニ此際御努力アルコトハ然ルベキデアルト思ヒマスルカラ、茲ニ更ニ御答アラシコトヲ希望シテ已マスノデアリマス

最後ニ申上ゲマスガ、法案ニ於キマシテ以上申上ゲタ通り世上様々ノ論議ガアリマスルコトハ、私共ノ衷心遺憾トスル所デアリマス、併ナガラ本案ハ申上ゲタ通り全ク是ハ附隨的立法デアリマシテ、苟モ今日マデ米穀統制法ヲ存立セシムル以上、無クテハナラナイ補強立法デアルト云フ以上ハ、是ハ必要缺クベカラザルモノデアルト言ハナケレバナライ、ダカラシテ、此意味ニ於テ、吾々ハ昨年議一決シテ之ヲ可決決定致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今尙ホ之ニ關聯致シマシテ、諸般ノ質問ニ際シマシテモ、往々洵ニ意外トスルガ如キ質問ノ現ハレルコトハ、吾々ノ洵ニ了解ニ苦シム所デアリマス、ソレハ宜シイトシテ、滿天下三千万人ノ農民ハ、如何ニ本問題ノ威行キニ付キマシテ、之ヲ熱望シ、要望シテ居ルカト云フコトハ、敢テ申上ゲルマデモナイ所デアラウト思ヒマス、昨年ノ議會ニ於キマシテモ農民ハ默シテ語リマセスガ、總テ責任アル所ノ天下ノ政黨、天下ノ政治家ニ向ッテ、其爲ス所ニ信賴致シマシテ、多年此原案ハ速ニ是ガ解決セネバナライト云フ意味ニ於キマシテ、農民諸君ハ鳴リヲ潜メテ此事ノ速ニ成就スルコトヲ待ッテ居タノデアラウト思ヒマス、然ルニ不幸ニシテ審議未了ニ終ッテ、此議會ニ提出サレルニ當リマシテハ、如何ニ農民ガ之ニ對シテ關心ヲ有ス

ルカ、察スルニ餘リアルノデアリマス、萬一ニモ先程質問ニ現ハレタガ如ク、本案ガ茲ニ提出サレマシテモ、或ハ短キ特別議會ノ故ヲ以チマシテ、審議未了ニ終ルトカ、或ハ通過ヲ躊躇スルガ如キコトガアツタナラバ、私ハ農村ノ振興、農村ノ經濟更正ノ上ニ於テ、否々寧ロ我國ノ國策ノ上カラ申シマシテ、洵ニ一大事デアルト同時ニ、私ハ農村ニ於キマシテ斯様ナ情勢、事態ニ相成ルナラバ、思想上、社會的ニ如何ナル所ヲ、敢テ斷言シテ憚ラザル次第デアリマス（拍手）之ニ對シマシテ政府ハ、本案ニ對シ十分徹底的解決ヲ爲スト云フ所ノ眞ノ決心アリヤ否ヤ、併セテ最後ニ此所見ヲ伺ッテ私ノ質問ヲ結ブ次第デアリマス（拍手）

（討論ニ涉ルコトハ注意シナケレバイカス）ト呼フ者アリ

（國務大臣島田俊雄君登壇）

○國務大臣（島田俊雄君） 只今岡田君ヨリ御質問ニナリマシタ事項ニ付キマシテ、質問中ニ御述ニナリマシタ御意見ニ付キマシテハ、大體ニ於テ政府ト致シマシテモ、亦自分ト致シマシテモ同感ニ存ジテ居ル次第デアリマス、全ク本法案ハ現行ノ統制法ヲ存在スルモノトシマシテ、之ヲ前提トシテ統制法ノ實行ヲ有效ナラシムル、此意味ニ於テ、即チ之ヲ補強スルノ意味ニ於テ本法ヲ立案シタモノデアルト云フノハ、御趣意ノ通りデアリマス、即チ米ノ問題ニ付キマシテハ、先刻モ申上ゲタ通り、現行ノ統制法ニ依ル統制ノ方針ヲ更ニ進メテ、管理若クハ專賣ニ至ルカ、或ハ統制ヲ止メテ全ク米ヲ自由ノ商品トシテ扱フノ方針ニ出ルカト云フコトニ付テハ、是ハ根本的ニ横ハル

大キナ問題ガアルノデアリマス、併ナガラ久シキ以前ヨリ米ノ問題ガ段々推移致シマシテ、遂ニ現行統制法ノ制定トナリ、統制法ノ實行ノ上ニ於テ、國庫ヨリ相當負擔ヲ爲シツ、アル現狀ニ鑑ミマシテ、此統制法ヲ前提トシテ米穀事情ヲ察シ、對策ヲ立テルト致シマスレバ、本法ノ程度ノモノニ依ルノ外ハナイト云フノガ、本法ノ趣意ニ歸著スルノデアリマシテ、本年ノ如キ氣候等ノ不順ナ年ニ於キマシテハ、或ハ不幸ニシテ凶作ヲ見ルコトガアルカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ本年ノ米作ノ豊凶ハ今後ニ於テ決定スルコトデアリマシテ、凶作ニ對スル處置ニ付テハ政府ハ從來ノ經驗ニ依リ、又他ノ方法ニ依リマシテ之ニ處置スルノ途ガアリマスガ、一旦豐作ニ遭遇シタ場合ニハ、之ニ處スルノ途ハ本法ヲ成立セシムルノ外方法ガナイノデアリマス、此點ガ即チ此議會ニ提案ヲシマシタ重大ナ理由ノ又一ツデアアルノデアリマス、而シテ此法律ガ米穀商等ノ人々ニ對シテ、或ハ非常ナ損失脅威ヲ與ヘル、此點ニ付キマシテハ、此法律ノ成文ノ上ニ於テ御覽ニナル所ニ依リマシテハ、法案其モノノ中ニハ何等左様ナコトハアリマセヌ、唯之ヲ實施スルニ付テ、政府ガ之ニ對スル施行令其他ノモノヲ立案シマス上ニ於テ、産業組合ニ偏重スルトカ、或ハ他ノ考ヲ以テシマスル場合ニハ、左様ナ危險ガアルト云フコトノ虞ヲ懷カレル點ニ付テハ、是ハ御尤ナ點ガアルト思ヒマスルガ、其點ニ付テハ即チ前議會ニ於ケル附帶決議ガ明瞭デアル、此附帶決議ノ趣旨ニ副ウテ、私ハ先刻言明致シマシタ通り、此趣意ヲ實現スベク、茲ニ此議場ヲ通シテ國民ニ誓フ次第デアリマス、而シテ此附帶決議ノ條項ニ付キマシテハ、先刻工藤君ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマシタ通り、此各條項ニ付テハ、政府ハ現ニ實行スベキ準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、殊ニ此産業組合トノ關係等ニ付キマシテハ、先刻岡田君ガ此

處ニ申サレマシタ、又私モ申上ゲマシタ米穀配給調整ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、此協議會ニ於キマシテ、販賣組合、販賣組合聯合會其モノト、此米穀商トノ關係ニ付キマシテハ、案ヲ當相ニ得テ居ルノデアリマス、唯是ハ部會ニ於テ之ヲ決定シタモノデアッテ、未ダ協議會ノ成案トシテ發表スルノ時期ニ至ラナイ爲ニ、私ハ此議場ニ於テ之ヲ發表スルコトヲ差控ヘテ居ルノデアリマス、而シテ其他ノ點ニ付キマシテハ、先刻來申上ゲマシタ通り、即チ國家ノ管理ノ一檢査ヲ國營ニスルノ點、或ハ政府ガ米ノ賣渡ノ場合ニ於キマシテ、米商人ヲ如何ニ扱フカ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、ソレモ、處置ヲ執ルコトニ立案ヲ致シテ居リマス、而シテ此法案ガ左様ナ附帶決議ノ趣意ヲ尊重シ、之ニ則ツデヤル場合ニハ、私ハ米穀商ニ對シテ脅威ヲ與ヘル、左様ナコトハ斷ジテナイト云フコトヲ信ジテ居ル者デアリマス、是ダケヲ御答申上ゲマス

○議長(富田幸次郎君) 田淵豐吉君

(田淵豐吉君登壇)

○田淵豐吉君 我ハ殊ニ米ニ對シテハ素人デアリマス、併シ小サイ時カラ食ッテ居リマスカラ、米ト云フモノヲ、多少稻モ見テ居リマスシ、能ク西洋人ヨリモ知ッテ居ル積リデアリマス、今度前カラ懸案ニナツテ居タ案ヲ——私條文ヲ一々讀ミマセヌカラ甚ダ失禮デスケレドモ、米ノ値段ヲ少シ吊上ゲテ貰ヒタイト云フ方法ヲ講ジタ點デヤナイカ知ラント思フノデス、英吉利ハ農業國カラ段々工業國ニナツテ、八年間モ掛ッテ「コブデン」「ブライト」ガ彼ノ穀物條例ヲ廢止シマシタ、非常ナル大運動ヲ起シタノデアリマス、是ガ英人ノ所謂「フリー・ブレック」「フアースト・デーブル」即チ砂糖トカ、茶トカ麵粉トカ云フモノ——朝飯ニ食フモノハ税金ノ課ラナイヤウニ、安クサセルト云フコトガ文明デアリ、又同時「フリー・ツレッド」ト云フモノハ「ゴールデン・エージ」即チ黃金ノ社會ヲ造

ルモノデアルト云フ風ニヤッタラシイ所ガ獨逸ノ或ル學者ハ、英國ハソレデ宜イカモ知ラスケレドモ、コッチハマダ工業ガ發達シテ居ナイカラソレデハ堪ラヌカラト云フノデ、關稅政策ヲヤッタラシイ、又アノ「カント」ノ弟子デアリマス「フキヒテ」ナドハ「ゲシュロツセネ・ヘンデルススタート」、鎖國商業國家ト云フ本ヲ書キマシテ、愛國主義ノ上カラ民族主義ト經濟ガ合致シマシテ、茲ニ一定ノ地域ニ獨逸ガ立チ得ル、之ニ愛國ノ精神ト民族ノ文化ヲ盛ラウト云フ精神ガアッタラシイ、日本モ滿洲マデ手ヲ出シテ、民族主義ト經濟ト云フモノヲ結付ケテ、此「ブロック」ニ依ラザレバ東洋ノ平和ハ確保出來ナイト云フ立前ニナツテ來タ(米ハドウシタ)ト呼フ者アリ、米ガ其中ニ入ッテ居ル(笑聲)一々言ハナクテモソレダケ言ウタラ諸君ハ大體分ッテ居ルダラウト思フ、ソコデ總理大臣ニ今御出席ヲ求メテアリマスケレドモ、豫算總會ニ居ラシイ、先ツ總理大臣ニ聽キタイ、一體米ガ高イノガ宜イノカ安イノガ宜イノカ、私ノ父親ガ申シマシタ、アンマリ高クテモイカズ安クテモイカズ、昔ノ人ノ考ハサウデ、今ノ諸君モ多分サウデヤナイカト思フ、エラウ變ラヌ、サウシテ今モ伊豆君ガ言ハレタ、田淵君、君ハ米只論ヲ言ウタデヤナイカ、シッカリヤレト嘆シ掛ケラレタ、サウシテ米ハ空氣日光ノ如ク只ノ方ガ宜イノダ、道路ヲ造ルニモ幾十億ノ金ガ掛ッテ居ル、ネ、中々是デ大變デス、併シ米ヲ作ル人ハ只デ作ッテ呉レ、バ宜イケレドモ、是ハ困ルト云フノデ、ソコデ相當ノ値段デ米ヲ買ッテ呉レナイト生活ガ出來ナイト云フ意味デヤナイカ知ラン、何モ唯米ヲ高クシテ呉レト云フ意味デヤナイ、米ヲ高クシナイト飯ガ食ヘヌ、小遣取リガ出來ヌ、娘ノ嫁入りガ出來ヌカラ困ル、本當ハ其救済ニアリ、生存ニアリ、文化發展ニアルト思フ、故ニ私ハ總理大臣ニ聽キタイノハ、諸君ガ御存ジノ通り、數

百年モ争ツ所ノ「マーカンチリズム」即チ重商主義ト「フィジオクラット」即チ重農主義、私モ能ク知ラスノデスガネ(笑聲)佛蘭西ノ「ケネー」アタリガ言ヒ出シタ所ノ主義、「フィジオクラット」是ガ即チ日本ノ現代ノ問題デアラウト思フ、歐洲ノ問題デヤナイ——歐洲ノミノ問題デヤナイ「フィジオクラット」ハ、諸君是ハ御研究シテ戴キタイト思フ、此問題ダケデヤナイ「ナツール」自然ト云フモノヲ愛シテ「レッセフェール」レッセパッセ」自由ニ置ケ、然ラバ能ク行クト云フ話ラシイ、是ガ「ケネー」カラ英國ノ「アダム・スミス」ニ傳ッテ、富國論ガ「アダム・スミス」ニ依ッテ著ハサレタラシイ、併ナガラ井戸ヲ掘ッテ食ヒ、田ヲ耕シテ食フト云フ老莊思想モ、此「フィジオクラット」ノ一面ノ眞理ヲ穿ッテ居ルノデハナイカト思フ、故ニ昔ハ開ク所ニ依ルト、噓カホンマカ知ラスガ、徳川時代ニ於テハ地方ニ金札ナシカ廻サナカッタモノラシイ、地方ト都會トハ別ニシテ居ッタラシイ、又昔支那ノ國デハ商人ハ農業ヲ營ムコトガ出來ナイ、農業ニ從事シテ居ル百姓ハ人生ノ根本義ヲ立テル爲メデアル、經濟ヲ立テル爲メハナイ、自分ノ娘ヲ外ノ村ナリ、外ノ郷ニ成ベク出サナイデ結婚セシムルト云フヤウナ人生ノ大道ノ上カラ、根本ノ倫理觀念ノ上カラ行ッテ居ル、日本ノ國ハ成ッテ居ナイ、唯飯ガ食ヘヌト云フヤウニ、何等指導原理ガ立ッテ居ナイト云フコトハ、如何ニモ憐レナ狀態デハナカラウカト私ハ思フ、成ッテ居ナイカ、蛙ガ騒イデ居ルヤウナコトガ多クアルヤウニ私ハ思フ、サウ云フヤウナ問題デ此「メリカンチリズム」ト云フハ重商主義デ、例ヘバ日本ノ農村カラ多ク出ル所ノ人ガ鐵砲ヲ持ッテ滿洲ニ行ク、多クノ壯丁ガ向フニ行ク、戰死スル、後家サンガ出來ル、子供ガ養ハレタ、ソレカラ段々ト生活ノ程度ガ高クナツテ來ル、公課ガ高クナツテ來ル、

同ジヤウナ米ヲ作ルノニ、朝鮮ノ倍モ三倍モ掛ルモノガ多イ、ドウシテ朝鮮米ト對抗ガ出來ルカ、朝鮮ヲ取ツタガ爲ニ日本國民ハ首ヲ縮メラレルヤウナコトガ起テ來ル、滿洲國ガ獨立シタツテ、實ハ百姓ガ首ヲ縮メラレテ居ルト云フヤウナコトデアル、何ニモアリハシナイ、又支那ハ世界ニ稀ナル大ナル農業國デアル、ダカラ提携シテ日本ガ工業國ニナラナレバイケナイノデアル、纖維工業デハイカヌカラ、マア此化學工業ト云フヤウナモノデ段々ト進シテ行カナケレバ食ヘナイヤウナ狀態デアル、ソレデ農村ノ工業化モ起テ居ルト云フヤウナ現在ノ狀態デアル、サウシテモ元ノ通り行ケハシナイ、故ニ拓務大臣ガ移民政策ヲヤルトシテモ、亞米利加デモ人ヲ入レヌ、濠洲デモ人ヲ入レヌ、移民ヲスル處ガナイト云フ憐レナ狀態デアル、軍艦ヲ多ク造ツテモ、コッチガ金バカリ要ツテ、コッチガ先ニ死ヌト云フ狀態ニナツテ來ル、是ハ中々ムツカシイ(笑聲)サウ云フノデ、私ハ思フノニ、「マーカ」ニチリスム」ト云フ所ノ「フレデリック」大王ニ依ツテ鐵砲ヲ以テ外ノ國ヲ征服シテ、其處ヨリ原料ヲ取ツテ製品ヲ賣出スト云フ政策ト、内ニ自然ヲ樂ンデ、金ヨリモ人、サウシテ食ヘル所ノ現物、金ヂヤナイ、米、其「フアミリ」即チ家族ノ生活、家族制度、之ヲ以テ人生ノ——吉植君ハ多分サウヂヤナイカト思フガ……(笑聲)此二ツノ潮流ガ如何ニシテ居ルカト云フコトガ、私ハ大問題デアルト思ヒマス

ケレバ食ヘナイト云フ時代デハナイ、朝鮮米デアラウガ、哈爾濱米デアラウガ、何デモ構ヘナイト云フ狀態ニナツテ居ル、日本民族ハ島國ニ入ツテ居ル、朝鮮ハ新附ノ民デアル、臺灣亦然リデアリマス、彼等ハ彼等ノ義務ヲ持ツテ居ル、併シ徵兵ノ義務モナイ、掛リモ少イ、生活程度モ低イ、安イ米ヲ食ツテ居ルヂヤナイカ、米ヲ日本ニ持ツテ來タラ却テ困ラダラウト云フヤウナコトニナツテ來ルカラ、却テ移入制限ヲシテ貰ツタ方ガ、朝鮮ノ貧民ガ喜バヌトモ限ラヌ、此事情ヲ能ク吾々ハ見テ貰ヘナケレバナラヌ、故ニ斯ウ云フ小サイ事ヲセヌデ、ネー日本ナラ日本ノ島國デケラ限ッテ移入制限ダトカ、時ニ依ツテ關稅ヲ課ケテ、サウシテ一年百石モ殖エル所ノ人間ニ對シテ、米ノ需給調節ヲ行ツタラ、米ハ段々騰ッテ行クダラウト思フ、サウシタラ百姓ガ助カルダラウト思フ、併シ今日百姓ハ、三十圓カ四十圓ノ米カ何カ知ラヌケレドモ、米ガ安イカラヂヤナイ、他ノ掛リモノガ多イ、物價ガ高イカラ食ヘヌト云フノデアルカラ、臺灣ノ「バナ」、デモ持ツテ來テ肥料ニヤレバソレデ宜イヂヤナイカ(笑聲)故ニ諸君、米ノ問題ナシカ末ノ問題ナシカ、モット大局ノ問題ニ目ヲ注ガナケレバ私ハ解キ切レヌト思フノデゴザイマス、是ハ總理大臣ガ居タ方ガ都合ガ好イノダケレドモ居ナイ(笑聲)故ニ私ハ一クサリ、此日本ノ現代立ッテ居ル所ノ「マーカ」ニチリスム」ガ大戰前獨逸國ガ「ダンピング」ヲヤリ、又寄附ヲ募ツテ義勇艦隊ヲ作り「キール」運河ヲ作ツテ北海ニ出ダタ所ノ獨逸ガ、遂ニ英國ノ怨ム所トナツテ一敗地ニ墮レテ、遂ニ彼ノ「ヒトラー」ガ弱ヲ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、日本モサウダ、帝國主義デ以テ軍艦ヲ買フワ、兵隊ハ作ルワ、サウシテ官僚ヲ多ク作ルワ、道具立ハ非常ニ多イノデアツテ、貧民農民ガ、段々段々骨マデ枯レテ行クト云フ狀態ナシカ、大キナ事ヲ言ツテ滿洲へ行

クケレドモ、持ツテ來ルモノハナイ、注ギ込ミ注ギ込ミシテ居ル、危ナクテ仕樣ガナイト云フ狀態デアル(笑聲)金モ地方マデ廻レバ宜シウゴザイマスガ、滿洲ニ廻ッテ地方ニハ廻ッテ來ナイ、是デハ迎モヤリ切レヌ、本立ッテ而シテ道生ズ、軍艦ノ數ヲ減ラシ、兵隊ノ數ヲ減シテ、先ツ農民カラヤリ出サウヂヤナイカト云フ程、日本ハ疲弊シテハ居ナイ、所デソレモ宜シイガ、ソレハイケヌヂヤナイカ、イケヌト云フコトハナイ、滿洲マデ行ツテ支那マデ行カウトスル、行カナケレバナラヌ、何トカ大ナル決心ヲ以テ、一ツ——「ピラミッド」ヲ建テタ時ニ、三百尺ノ高イ上ノ空中ノ一點ヲ見出シテ「ピラミッド」ガ建テラレタサウデゴザイマスガ、是ハ中々ムツカシイ、幾何學上ノ問題デアアル——(笑聲)ガ、是同ジク高ク空中ノ一點ニ考ラ置カナケレバナラヌ、此帝國主義的發展ヲ何處ニ置クカ、此問題ハ即チ今言ウタ「ピラミッド」ノ「デバイス」デアリ、一ツノ發見デナケレバナラヌト信ズルノデゴザイマス、諸君何レヲ採ルカ、大イニ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマスカラ、私ハ總理大臣カラ、オ前ドウスルカト聽イテ見タイト思フ(笑聲)

サウシテ私ハ今、此處ニ農林大臣モ居マスガ、此間會ツタカラ私言ウタシマス、大隈重信モ私一寸知ツテ居ル人ダ、死ンダ人デアアルガ、コノ方ハ人ヲ減多ニ褒メヌ人デアアルガ、島田俊雄君ハ偉イト言ツタ、大隈ハ何ヲ見テサウ言ウタノカ、今ニ不思議ニ思ツテ居ル(笑聲)大隈サンハ家康ノオ弟子デアアルカドウカ知リマセヌガ、人ノ一生ハ重荷ヲ負ウテ高キニ登ルガ如シト云フヤウナコトヲ言ツテ居ル(笑聲)急カベカラズト言ツテ居ル、島田君ハ多分急ガヌ人ヂヤナイカ知ラフ、農業のヂヤナイカ知ラント私ハ思フ、聞ク所ニ依リマス、島田君ハ、斯ウ云フ案ハ駄目ヂヤナイカ、下カラ押サレテ無理ニ出シテ居ル、マア願カ足ラ立テルト云フ話デアアル(笑聲)大臣ガ自信モナイ所ノ案ヲ何故御出シニナツタカト聽キタイ(笑聲)自信ガナイヲシイ、アノ願ヲ見テモ——(笑聲)「御覽ナサイ、アノ願……(笑聲)」私ハ農林大臣及ビ他ノ大臣ニモ關係ガアレバ聽キタイノデスガ、私聞ク所ニ依ルト、モウ既に七年當リ前カラ或ル一ツノ「マシン」ガ働イデ、米ガ高クナルヤウニ「拵ヘル」機械ガアルヲシイ、ソレガ統制法ニ依ツテ居ルヲシイ、ソレガ或人ニ聞クト、ドウモ一石四十圓位ノ米ヲ食ツテ居ルト二三年前モ言ウテ居リマシタ、即チ此高イ米ヲ食ツテ居ル、國家ニ非常ニ損失ヲ與ヘテ居ルト云フ話デアアル、ソナナ損失ヲ與ヘルナラ、與ヘヌ前ニ百姓ニデモソレヲヤレバ宜イノニト私ハ思フ、又候今同ハソレハイケナイカラ、モット後口ヘ子ヲ附ケテ、ソレニ附ケ足シヲシタラ宜カラウト掛ツテ居ル、サウ云フヤウナ馬鹿ナ、ト言ツテハ失禮ダガ、ソナナコトヲ爲サラヌト、モウ少シ待ツテ全體ノ米ノ政策、或ハ五穀ノ政策ヲ確立シタラドウカト私ハ思フ、斯ウ云フヤウナ米ダケセ、ツデモ、麥ヤ豆ハドウスル積リカ、私ハ何百人モ——百人以上モ居ル米穀局へ行キマシタ、何故オ前ハ米穀局ト書クノカ、五穀局ト何故書カヌノカト言ツテ彌次ツタコトガアリマス、一體麥ノ方ガ米ヨリ蛋白ガ倍アルヲシイ、鰯ヲ食ヘナイデモ麥ヲ食ツテ居レバ鰯ガ中ニ入ツテ居ル、米ハ濕地ニ生ズルモノデアアル、東北ノ方デハ麥ヲ食ツタ方ガ宜イカモ知レヌ、米ヲ食ツテ居ルカラ罰ガ當ツテ居ル、是ハ即チ人力ヲ以テ天然ヲ無理ニ支配シヨウトスル罰デアアルヤウニ失禮ダガ考ヘラレル、今人間ハ反省シナケレバナラヌト私ハ思フ、横ヘ入リマシタガ、斯ウ云フ風ニ統制法ト云フモノガアツテ七年間モヤツテモ皆ク行カヌヂヤナイカ、モウソレガ三箇年シタラ潰レ掛ツテ來ル、ソコヘ又小サイ箱ヲ造ツテ入レルト云フ

コトハ、餘リニ彌縫ヲ事トスルヤウナコトニナルデハナイカ、ソナ馬鹿ナコトヲシテ——私モ鐵砲ヲ撃ツコトガアル、雉子ヲ撃ツモ度々當ラスト無駄ニナルカラ、犬ガモウ探シニ行カヌヤウニナル

私ハ失禮デアリマスガ、玆ニ「イソップ」物語ヲ、私ハ選舉區デモ此間觸レテ廻ッテ來マシタガ、一寸甚ダ失禮ダガ諸君ノ前ニ申上

グタイ、三千年前ニ「アラビヤ」カ何處カニ「イソップ」ト云フ人ガアッタラシイ、賢イ人デアッタラシイ、此人ノ言フノニ、或時ニ蛙ガ澤山何處カニ住ンデ居ッテ喧嘩シテ居ル、規則ヲ作ッテモ直グ破ッテ直グ喧嘩シテ居

ル、是デハドウモナラヌト言ッテ、後ノ「オリソプ」ノ山ノ鷲ノ王様ノ所ヘ行ッテドウカ

王様、良イ王様ヲ送ッテ下サイト頼ミニ行ッ

タ所ガ直グ送ッテ來タ、ゴオ——山カラ大キ

ナ音ガスルカラ、何カト思ッテ蛙共非常ニ吃

驚シテ肅正ヲヤッタラシイ、靜カニナリマシ

タ、所ガ大キナ材木ノ音ガシタカラ暫クハ

オトナシカケレドモ、材木ハ動カナイモ

ノデスカラ其上ニ乗ッテ遊ンデ居ッテ、又多

クノ法律ヲ作ッテハ直グソレヲ破ッテ喧嘩シ

テ居ル、ソレデマツト良イ王様ヲ送ッテ呉レ

ト又頼ミニ行ッタガ、今回送ッテ來タノモ大

キナ音ヲシテ、ノロ——トシタモノ、ソレハ

練リ歩ク、先刻ノヨリ荒ボイ、所ガ是人

ヲ害シナイ、普通ノ素人ハ害シナイ、構ハ

ヌト云フノダ、是ハ動クカラ氣色惡イケレ

ドモ、構ハヌ、是ハ氣遣ヒナイト言ッテ又喧

嘩シ始メタカラ、又マツト良イ王様ヲ送ッテ

呉レト願ヒ出タノデ、大王ハ怒ッテ、送ッテ

ヤルト申シマシタ、送ッテ呉レタノハ驚デ

アツタ、驚ハ來ルナリ其蛙共ヲ皆食ベテシ

マツタサウダ、少シク法律ヲ作ッテ固ク之ヲ

守ッテ居レバ宜カッタニト「イソップ」ハ申シ

マス、今ヤ日本ハ世界ニ斯ノ如キ「イソップ」

ノ言ガ當ルヤウナ時代ガ來タノデハナイカ

ト虞レル一人デアアル、之ヲ如何ニ見ル、家ニ歸ッテ能ク考ヘテ御覽ナサイ、宿題ニ與ヘテ置キタイト思フノデアリマス(笑聲)是ハ少シ大キナ話、今日ノ問題ヨリモ百倍モ大

キナ話デアリマス、此小サイ議論ニシテモ

直グ法律ヲ作ッテ、直グ破ッテ、直グ喧嘩シテ

居ル、現ニ米屋サンナンカ最先頭ニ立ッテ

喧嘩シテ居ル、若シ私ノヤウナ空氣只論、

米只論ト言ッタラ、米屋サンモ怒ルシ、百姓

モ怒ル、單ニ米屋百姓ノヤウナ小サイ問題

デハアリマセヌ、日本ノ産業ヲ如何ニシテ

發達サセ、日本ノ民族ヲ發展サセ、ドウシ

テ文化ノ上ニ貢獻シヨウト云フ大問題ガ、

此中ニ潜ンデ居ルト云フコトヲ私ハ知ラナ

ケレバナラヌカラ、サウ云フヤウナ直グ止

メナケレバナラヌヤウナ、中腰ノヤウナモ

ノヤラヌコトヲ、庶政一新ノヤラントスル

ナラバ、モウ考ヘルベキ時デハナイカ、私

ハ農相ニ言ウテ見タイ、餘リ口幅ッタイ

コトヲ言ウテモ怒ラレルカモ知ラヌガ、マ

ア二三年待ッテ貰ヒタイ、一三年待ッテ貰

ハナケレバコンナ今ノ窮困ナ此制度デ、人ノ

頭モ神經ガ失ッテ直グ喧嘩スルヤウナ時

代ニ、斯ウ云フヤウナ朗カナ米ノ問題ヲ言

ハナイデ、機會ヲ待ッテモツト寛クリヤツタ

ラドウカト思フガ、一體御答辯如何デゴザ

イマスカ、ソレハイカスト仰セラレルデセ

ウガ、マア少シ考ヘテ下サイ、ソレガ私ノ

第一カ第二ノ問題デアリマス(笑聲)

ソレカラ私ノ聴キタイノハ、滿洲ハ生命

線デアルト云フコトヲ言フ、米ハ生命其モ

ノニ近イ、私ハ社會黨デナイ、唯物論ヲ擔

ギ出ス者デナイケレドモ、米ハ生命ナリト

云フノハ必シモ唯物論ノ「エクスプレッショ

ン」デハナイト思フ、米ヲ生産スル人ハ最

モ大ナル國家奉仕デアアル、社會奉仕デナケ

レバナラヌ、神ノ恵ヲ受ケタ所ノ人デナケ

レバナラヌ、此人ガ汚イ金ノコトヲ言ッテ、

サウシテ賣ラヌ、モツト高ク買ヘト云フヤ

ウナコトヲ餘リ言フト、終ヒニハ罰ガ當テ凶作ガ來ヘセヌカト思フ、是モ能ク考ヘテ見ナケレバナラヌ、何モ我ガ作タ物デナイ、我ハ培ッタ所ノ保姆ニ過

ギナイノデアアル、産ンダ所ノ米デハナ

イノデアアル、之ヲ能ク知ラヌト、百姓

ハ米ヲ作ッタト言フガ、作ッタモノハ一ツモ

ナイ、唯培ッタ、培養シタダケノ話デアアル、

何モ百姓ハ力論スルコトハナイ、人ノ生命

ヲ繫グ所ノモノハ——總理大臣モ言ハレテ

居ルガ、私モ同感デ、母子心中ガ一年ニ五

十モ六十モアル、此悲惨ナコトハ、米ノ騰

貴又諸物價ノ騰貴ニ依ッテ來タ影響モアラ

ウ、是ハドウスルカ、現在ノ農林省デヤッテ

居ル政策ガ、大農ヲ満足サセル所ノ主義デ

アルト云フコトヲ、或ル重要ナ人カラ聞イ

タ、統制法ト云ウテモソレノ統制ノ仕方ガア

リマス、何ヲ統制スルカト云フ核心ヲ知ラ

ズシテ、徒ラナ統制法ヲ叫ブコトハ、最モ

禁物デアルト私ハ思フ一人デゴザイマス、

新聞雜誌ガ澤山アツテモ何等其上ニ於テ書

カナイ、百回モ千回モ同ジヤウナコトヲ書

イデ居ル、頭ノ冠ヲ忘レテ居ル、如何ニモ

幼稚デアルト失禮ナガラ私ハ此席上カラ言

ヒタイ、現在ハ大農主義、然レバ東京ニ暴

動ガ起ル、起ッテ民心ガ惡化シテ、國家ガ潰

レ掛カラントシタナラバドウスルカ、又所

得稅相續稅ト云フモノガ地主ニ課ッテ來ル

ノデハナイカ、佛蘭西革命ハ何故起ッタカ、

ルテール「モルソー」モ、亦王様ノ專制モ

ゴザイマセウケレドモ、財政困難ノ爲ニ

「ネッカー」ガ財政ノ局ニ當ッテ、資本家及地

主ニ課稅ヲヤラウトシタガ、彼等ガ拒ンダ

爲メモ一ツノ原因デアルト云フコトデゴザ

イマス、故ニサウ云フ大キナ事ヲ考ヘテ、

米ガ一圓トカ二圓トカ、クダラヌコトヲ言

ウテ争フノハ、實ニ一文吝ミノ百知ラズデ

アルト、大地主ニ對シテ言ヒタイノデゴザ

イマス、是ハ大キナ問題デアアル、ソレカラ

私ガ言フ所ハ、此必需品ヲ持ヘル所ノ者、而モ其必需品其モノハ生命其モノデアアル所

ノ米ニ向ッテ、專賣的ノ獨占ノ利益ヲ商人ニ

與ヘズシテ、我レ自身ニ取ラウト云フヤウ

ナコトハ、神ノ許サザル所デアルト私ハ斷

言セントシテ居ル者デゴザイマス、是レ大

イニ恐ルベキコトデアハナイカト思フノデア

リマス

第三ニハ是ハ諸君モ既ニ言ハレタ如ク、

小農ヲ困窮ノ地ニ陥レルモノデアルト思フ、

小農ハ食フ米ガナイノデアリマス、買ハン

ナラヌノデアリマス、故ニ困ルト私ハ思フ

ノデゴザイマス、統制宜シキヲ得ズンバ、

却テ統制ヲシタ議員及ビ官吏ヲ怨ムノハ勿

論デアハナイカト私ハ思フノデアリマス、又

私ハ先年議會デ農村振興ト云フヨリモ、現

在ノ狀態デハ漁村、山村、農村ト云フ、即

チ生物ノ採集業ニ其根柢ヲ置イテ改メタ方

ガ宜イト言ヒマシタ所ガ、諸君ノ御採用ニ

ナッテ居ルヤシイ、故ニ現在ハ山村漁村ヲ

ドウスルカ、山村漁村ニ米麥ハ少イノデゴ

ザイマス、故ニ此點ヲモ重ンジテヤラナケ

レバナラヌ、都市ニ於テハ米ヲ作ッテ居ル者

ハ三越ノ七階カ八階ノ上ニアルダケデ、中々

見エ惡イト云フ狀態デゴザイマス、然レバ都

市ガ困ル、山村ガ困ル、農村ガ困ル、農村ノ中

小農ガ困ルトスレバ、非常ニ利益スル所ハ農

村ノ大農ト中農ノ半以上ノ者デアッテ、外ノ

者ハ餘リ有難クナイト云フ狀態ニナッテ來ル

ノデヤナイカ、餘リ大シタ問題デナイト私

ハ思フ、故ニ斯ウ云フモノヲ決メル時ニハ、

社會ノ趨勢、其影響ヲ考ヘナケレバ却テ危

イト思フノデゴザイマス、ソレカラ豐凶ト

云フヤウナモノハ豫メトスルコトハ出來ナ

イ、又人心ヲ官吏ガ豫メトシ、農民ノ心理

ヲ知ルコトガ出來ナイ、農林省ヤ内閣ニ行ッ

タンデハ農民ノ心理ト云フコトヲ知ラナ

イ、唯單ニ均一ノヤウニ言ッテ居ル、人生ハ

波瀾アツテ初メテ希望ガアルノデアアル、同ジ

月給デハ嫌ラナイ、此波瀾ト云フモノガ經濟ノ中ニアルト云フコトハ、春夏秋冬ノ循環アルガ如キモノデアルト私ハ思フノデゴザイマス、人生ハ曲線のデアッテ、必シモ直線的デハナイノガ、人生ノ眞意デアルト私ハ思フ、然レバ農民ノ心理ハ一體ドウデアアルカト云フコトハ大ナル洞察力ナクシテ、一律ノ立前カラ見ルノガ官僚ノ徒ダラウト思フ、サウ云フ者ガ作ッテモノデハ、ソレハ眞ニ農民心理ヲ穿ツタ百世不磨ノ大典トナルコトハ、絶對ニ出來ナイト私ハ思フノデゴザイマス(拍手)故ニ眼界ヲ廣クシテ、徒ニ米屋ト農民ガドウダト云フコトヲ中心ニ置カナイデ、工業ノ原料ハ石炭、石油デアアルトスルナラバ、人間ノ動力ハ尊キモ卑キモ皆此米デアアル、斯ウ云フ重大ナ必需品デアアルト思フナラバ、是レ輕々ニ議シ去ッテ、其變動ヲ徒ニ爲サシメルト云フコトハ、其生産者ニ對シテモ濟マズ、消費者ニ對シテモ大不忠ノ謗ヲ免レヌノデハナイカト、私ハ固ク信ズル一人デゴザイマス、サウ云フヤウナ意味カラ、私ハドウカマア少シ時ヲ置イテユックリト考ヘテ、是デナケレバト云フコトヲ以テ行カナケレバイケナイノデハナイカト思フノデゴザイマス、人或ハ言フデゴザイマセウ、農産物ト云フモノハ工業品ノ市場ニ出ナイト「ゾンバルト」アタリガ言ッテ居リマス、此意味ハ何ヲ意味スルカト云フコトハ、私ハ能ク知ラスケレドモ、農林大臣ニ於テ大ニ調査研究サレタイ、農産物ハ工業品ト違フト云フコト「マーケット」ニ悉ク出ナイト云フコトハ、如何ナル理由ガアルカト云フコトヲ調べテ貰ヒタイ、又工業品ハ精良ナル機械ヲ持チ、好イ條件ヲ持ッテ居ル所ノ工業品ハ世界ニ擴マリマスケレドモ、農業品ハ限リアル土地ニ生産シテ、生産費ガ高クツデモヤッテ行ケル、其割合ニ安クナラスト云フヤウナ原理モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此點ニ

付テモ其意味ガ何デアアルカト云フコトヲ考ヘルナラバ、多少御參考ニナルカモ知レヌト、私ハ失禮ナガラ思フノデアリマス、中此麥ノ如キ必需品ニ付テハ、獨逸デモサウデアリマスガ、關稅ヲ上ゲルコトハ社會黨ハ「パン」カ高クナツタライカスト云フノデ、非常ニ反對ラシテ居リマシタ、サウシタラ片一方ノ地主ハ松ノ木ヲ抜イテ「ポテト」ヲ植エ、麥ヲ植エテ、麥ノ生産ラ多クシ、且ツ其價格ガ上ルヤウニ關稅ヲ課シテ麥ノ價格ヲ吊上ゲテ居ル、又戰爭ノ時ニ備ヘル、或時私ハ申シタノデアリマサガ、後藤君ノヤツタコトハサウデナクシテ、彼ガ「インテンシブ」ト云フコトヲ知ラナイデ、唯單ニ反別ノ制限ヲヤレバ宜シイト云フヤウナ子供ラシイ案ヲ出シタノダ、私ハ或ル友達ノ人ニ電話ヲ掛ケテ、馬鹿ナコトヲスルナ、笑ハレルヤウナコトヲスルナト云ツタラ止メタラシイ、後藤君ノ聰明ヲ以テ既ニサウデスカラ、官僚ノ徒ハ實ニ淺學デアッテ、共ニ語ルニ足ラヌ者ガ實ニ多イ

○議長(富田幸次郎君) 田淵君、質問ノ要旨ヲ述ベテ下サイ

○田淵豐吉君(續) 要旨ヲ述ベテ居ル、モウ終ヒマスカラ御安心下サイ(笑聲)故ニ日本ハ商工主義ニ段々ナリツ、アッテ、農業ノ工業化サヘモ起ラントスル傾向ガアリマス、故ニ國家全體ヨリ見テ、大所高所ヨリ之ヲ達觀シマシテ、農村ノ米ダケヲツツカズニ、農村ヲ能ク保護シテ、經濟的ニモ精神的ニモ此公課ヲ減ジテ、租稅ヲ減ジテ、肥料ヲ安クシテ、貿易作物ヲ作ッテモ過チノナイヤウニ能ク保護シテヤッテ、サウシテ同時ニ帝國ガ東洋ニ發展ヲ爲シ、而シテ世界ニ文明ヲ與ヘルト云フ基礎ニシタイト云フヤウニ、私ハ考ヘテ居ル者デゴザイマス、公課ハ多イ、兵役ニ服スル義務ガアル、サウシテ現代ノ農村ハ疲弊シテ諸物價ガ高イノデゴザイマス、故ニ此諸物價ガ高イト云

フヤウナ原因ガ農村ヲ苦シメテ居ルノデゴザイマスカラ、米ダケ一ツ無理ニ高クシタ所ガ、ソレデハイケナイト私ハ思ヒマスカラシテ、モット大局カラ物ヲ見テヤラレタイ又私小川商工大臣ニ聽キタイガ、米ト言ヘバ都會ト云フコトヲ人々ガ思フ、アナタハ今農林大臣ノ提案ニ對シテ、果シテ米ヲ高クシナケレバ都市ノ方ハイカスト思フカ、今位ニヤッテ置イタ方ガ宜イト思フカ、或ハアナタハ「マーカチナリズム」ヤ何カノコトハ能ク御存ジデゴザイマセウカラ、ドウ云フヤウナモノデゴザイマセウ、私ハ大イニ聽キタイ、又政友會モ民政黨モ好イ加減ナコトヲ云ツテ居ル、兵農ガ兩全デアアルトカ、軍備ト産業ト云フモノガ並行ダト云フヤウナコトヲ言ウテ居リマスケレドモ若シ假ニ戰ガ二三年ノ内ニ始マレバ、全財産ヲ賭シテモ軍備ヲ整ヘナケレバナラス、竝進トハ何事カ、是ハ大イニムジカシイ問題デスヨ、其時機ヲ知ラズンバ事ヲ論ズベカラズ、漫然描イタヤウナ繪デハ動カナイデス、元ノエリ楚材ガ所謂雄才能ク豫算ス、大略固ヨリ量リ難シト云ツテ居ル、大ナル才能ニ非ズンバ豫算ハ立チニクイ、大略ハ固ヨリ量リ難シト云フノハ是デアラウト思フ、諸君ノ軍備ト産業ト竝立トハ何ヲ言フカ、意味ナイデヤナイカ、モウ少シ物ヲ考ヘテ、斯ウ云フ所ニ心ヲ潜メテ國家ノ大事ニ當ラレシコトヲ私ハ諸君ニ望ム、今ヤ國家多事庶政ヲ一新シナケレバ日本ハ立行カナイ、人ノ氣ガ立ッテ、暗殺ガ處々ニ流行シテ居ルト云フ状態デアリマス、實ニ危イノデアリマス、吾々ハ爆彈ヲ抱イテ眠ッテ居ルヤウナ近年ノ傾向デアアル「カールメント」デアルト私ハ惧レルノデアリマス、此秋ニ方ッテ帝國議會ノ任務亦夫レ大ナリト申スノデゴザイマス、私ハ麻生君ノ言フヤウナ、帝國議會ダケ善クナレバ日本ガ治マルト云フヤウナコトマデモ言ハントスル者デ

ハナイ、天ノ運行、國運ノ進行、他國ノ狀態、各、敵ヲ知り己ヲ知ッテ初メテ吾々ハ出來ル、吾々ハ假令出來ナクモ、吾々議員ノ職責ヲ全ウシテ、國政變理ノ爲ニ吾々ハ自ラ當リ、大臣ヲシテ當ラシメルト云フ氣慨ガアル、此精神ヲ以テ國家ノ前途、國民ノ前途ニ臨ミマスレバ、必ズヤ國家安泰デナケレバナラスト思フ、私ハ前ノ米國大統領「ルーズヴェルト」ノ如ク觀ズル一人デゴザイマス、ドウカ諸君ハ此米ノ問題ヲ小サイ問題トノミ思ハナイデ、重大ナ深刻ナルコトガ、此問題ヲ基トシテ色々起ッテ來マスカラ、大イニ注意ナサラントラ私ハ願フ、又現代ハ特殊利益ノ代表デアリ、多元的世界ノ調和デアリマス、廣田君ノ出タノハ何モ政治ガ分ッテ居ル譯デハナイ、軍部ノ支援ヲ得テ外務大臣ニナリ、又同時ニ總理大臣ニナツタト私ハ失禮ナガラ聞イテ居ルノデアリマス

○議長(富田幸次郎君) 田淵君——田淵君(發言スル者多ク聽取スルコト能ハス)

○田淵豐吉君(續) 少シバカリ火ガアルナラバ、必ズ火ニ……

○議長(富田幸次郎君) 田淵君——田淵君

○田淵豐吉君(續) 明カデアルト思フ、斯ウ云フヤウナ内閣ニ向ッテ大ナル政策ヲ要望スルコトハ、甚ダ失禮デアリマスケレドモ出來ナイト思フ、私ノ此言ハ、私ガ死ンデモ尙ホ速記録ニシテ燒ケズンバ、後世ニ傳ハルト思ヒマスカラ、此内閣ダケニ言フノデハナイ、ドウカ諸君ハ慎重審議(笑聲)此問題ヲ決メラレテ、委員會ニ於テモ諸君ノ精神ヲ吐露シテ十分ニ御聞ヒアランコトヲ私ハ願フ、又同時ニ斯ウ云フヤウナ案ハ少クトモ二三年ハ延シテ、仕方ナケレバ來ルベキ通常議會マデユックリト考ヘテ其意見ガ國民ニ徹底シタ上デ、之ヲ實施セラレタイド云カ大臣カラ然ルベク御答辯ヲ願ッテ、私ハ此壇ヲ降ルヤウナ次第デアリマス(笑聲)

○國務大臣島田俊雄君登壇

○國務大臣島田俊雄君 田淵君ノ多岐ニ互ツテ御述ヘニナリマシタ御意見ノ點ニ付テハ、政府トシマシテ大ニ參考ニ致シタイト考ヘテ居ル點ガ多クアツタコトヲ申上ゲテ置キマス、唯本案ノ目的トスル所ガ、米ヲ高クスル意味デハナイカト云フヤウナ御意見ノアツタ點ニ付キマシテハ、是ハ決シテ左様デハアリマセヌ、即チ米穀ノ需要供給竝ニ價格ノ調節、是ガ本案ノ目的トスル所ノ一ツデアリマシテ、先程御話ニ相成リマシタ高イガ宜イカ、安イガ宜イカ、高過ギテモイカナイ、安過ギテモイカナイ、生産者モ消費者モ共ニソレニ依ツテ害ヲ受ケナイ、與ニ俱ニ満足シ得ル點ヲ狙ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、隨テ此法案ハ米ノ値上ラスト云フヤウナ意味ヲ含ンデハ居ラナイノデアリマス、生産費ニ相當スル價格ニ依ツテ、米ノ價ガ常ニ安定スルコトヲ目的トシテ居ルノデアリマス、斯様な法案、尙ホユツクリ研究ラシテ、次ノ議會、又ハ其次ノ時ニ提案シタラバ宜カラウト云フ御意見ニ對シマシテハ、先刻提案ノ理由ヲ申述ベマス際ニ私ノ所信ヲ申上ゲテ、又之ヲ提案セザルヲ得ザル事情ヲ申上ゲタ次第デアリマスカラ、之ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、田淵君ノ御意見ハ十分ニ參考ト致シマス

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

タナラバ、吊上ツタ時ニハ低クナルヤウナ細工ヲ爲サイマスカ、ソレヲ聽キタイ(笑聲)

○議長(富田幸次郎君) 永山忠則君

〔田淵豐吉君議長、議長、私今答辯ヲ促シテ居リマスガ、答辯シマセヌカト呼フ〕

○國務大臣島田俊雄君登壇

○國務大臣(島田俊雄君) 御答致シマス、ソレガ即チ申上ゲテ調節ト云フコトノ意味ニ含マレテ居ルノデアリマシテ、上リ過ギタ場合トカ、サウ云フ場合ニハ之ヲ調節スルノ途ガアリマス

〔田淵豐吉君「上ラスト斷言ハ出來マセヌカト呼フ」〕

〔答辯ノ必要ハアリマセヌ〕ト呼ヒ私語スル者アリ

○議長(富田幸次郎君) 私語ヲ禁ジマス

永山忠則君

○永山忠則君 本員ハ第一ニ米穀自治管理法案ト重要農産物ノ販賣統制ニ關スル問題ヲ御聽キシタイト思フノデアリマス、此米穀自治管理法案ニ依リマシテ、當局ハ果シテ米ノ販賣統制ガ十分ニ出來得ルト御考デアリマスカ、是ガ第一ニ御尋シタイノデアリマス、本案ヲ見マスルト、過剩米ノミニ付テ自治的管理ヲセシメラレルノデアリマスカ、此程度デハ米ノ販賣統制ハ斷ジテ私ハ十分出來得ナイト思フノデアリマス、元來米穀自治管理法案ト云フ名前ヲ付ケタコトガ、非常ナル錯誤ニ陥ルノデアリマヌマイカ、寧ロ過剩米ノ統制ト云フ方ガ宜イノデヤナイデセウカ、此程度デアツタナラバ、勿論反産運動アツリモサウ強ク起ル筈ハナイト思フ、ト同時ニ又貧農大衆ハ助カラナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、而モ十一月ノ月ニ於キマシテ、需給推算ヲオヤリニナルノデアリマスカ、貧農大衆ハ總テ米ヲ賣ツタ時ニ於テ統制ヲ受ケルノデアリマス、管理ヲ受ケルノデアリマス、農民ノ今日ノ生活狀態ノ苦シイコトハ言フ

マデモアリマセヌ、私、農村ニ居リマス關係上、皆サント共ニ其點ニ付テハ痛感シテ居ル、田植ガ濟ンダナラバ、米ヲ買ツテ食ツテ居ルノデアリマス、田植ガ濟ンダナラバ、殆ド現金收入ハナイノデアリマス、非常ナ苦シイ生活デアリマスカラシテ、早稲米ヲ植エマシテ、出來上ツタラ減茶苦茶ニ早ク投資スルノデアリマス、此憐レナル農民ガ投資スルスト云フコトヲ防止シナケレバ、本當ノ米穀統制ニハナラナイノデアリマス、此點ニ於キマシテ私ハ此法案ニ依リマシタナラバ、米ノ販賣統制ガ十分ニ行ヘラナイト云フコトヲ思フノデアリマスガ、當局ノ所見ハ如何デアリマスカ、何ト云ヒマシテモ今日非常ナル疲弊困憊シテ居ル農村ヲ救済セント致シマスレバ、重要農産物ノ販賣統制デナケレバナラヌト思ヒマス、生産ノ統制デナケレバナラヌト思ヒマス、當局ハ重要農産物ノ販賣及ビ生産ノ統制ニ關シマシテ、如何ナル御所見ヲ御持チニナツテ居ラデアリマスカ(拍手)更始一新ヲ叫ンデ居ラレル以上ハ、少クモ此重大ナル所ノ農産物ノ統制ニ關シマシテハ、販賣及ビ生産ノ統制ニ關シマシテハ、十分ナル御考ガアラウト思フノデアリマスカ、御所見ヲ承リタイノデアリマス、莫大ナル經費ヲ掛ケマシテ、國費ヲ投ジテ米穀ノ統制ヲスルト云フコトハ、私ハ至難ナ問題デハナイカト思フノデアリマス、勿論根本問題ニ關シマシテハ、農林大臣ハ十分ニ御研究ヲ下サルノデアリマスカ、根本問題ニ對シマシテハ御尋致シマセヌケレドモ、漸進的ニ農民ガ自治的ニ販賣統制ヲ爲シ、生産統制ヲ爲スダケノ助長ヲサレル必要ガアルト私ハ思フノデアリマス、農民自體ガ自治的ニ販賣ト生産ノ統制ヲ爲スニ、農林大臣ハ如何ナル指導方針ヲ御持チニナツテ居リマスカ、之ニ對シマシテハ必ズヤ農會ノ活動ニ俟タナケレバナラヌデアリマセウ、更ニ經濟團體デアリマス産業組合ノ活動ニ俟

ツベキデアラウト私ハ思フノデアリマス(拍手)齋藤、岡田兩内閣ノ手ニ於キマシテ、有ユル農村ノ匡救ノ施設ヲオヤリナリマシテ、中央地方ヲ通ジマシテ八億圓以上ノオカヲ投ジテ、匡救事業ヲナサツタノデアリマス、果シテ其結果、農村ハ惠マレマシタノデアリマセウカ、勿論最悪ナル狀態ニナルコトヲ喰止メタト云フコトハ確カニ利益ガアリマスカレドモ、地方自治團體ハソレガ爲ニ莫大ナル負債ヲ増シタト云フコトハ申ス迄モアリマセヌ、補助金ガ少ナイ故ニ借金ヲシテ事業ヲヤツテ行ツテ居リマス、更ニ經濟更生指定町村ニ依リマシテ、果シテ農民ハ惠マレタデアリマセウカ、有ユル計畫ヲサレタノデアリマス、有ユル事業ヲヤリマシタケレドモ、ヤハリ借金ハ増スバカリデアリマス、負債整理法案ヲ御出シニナリマシテ、負債整理組合ヲ作ルヤウニ御指示ニナツタノデアリマス、然レドモ債務ハドン／＼増スバカリデアリマセヌカ、ナゼ農村ガ救ヘラナイノデアリマセウカ、即チ農村ヲ救済スル根本ノ農産物價、重要ナル農産物價ノ價格ノ安定、價格ノ統制ト云フコトニ、當局ハ眼ヲ著ケラレナカッタカラ左様デアルト私ハ思フノデアリマス、カルガ故ニ農民ヲシテ自治的ニ販賣ノ統制ヲヤラシメルベク、産業組合ノ擴大強化ニ對シマシテ、當局ハ如何ナル御所見ヲ御持チニナツテ居リマスカ、此産業組合ハ非常ニ恐レラレテ居ルノデアリマスカレドモ、遺憾ナガラ農民ノ方ニ於キマシテハ、發達ラシテ居ラナイノデアリマス、昭和八年ノ産業組合要覽ニ於キマシテモ、大正十四年ニ全國一萬三千三百七十九程アリマスカ、大正十四年ニソレダケアツタモノガ、昭和八年ニナリマシテ、ヤハリ一萬三千四百四十六ニナツテ居ルノデアリマス、産業組合ノ數ハ餘リ殖エテ居ラナイノデアリマス、私ハ廣島縣デアリマスカ、廣島縣ニ於キマシテ

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

○議長(富田幸次郎君) 田淵君

モ未設置産業組合町村ハ六十一アリマス、廣島縣デ四百アリマス産業組合ノ中、良イ組合ト云フモノハ僅ニ八十シカナイノデアリマス、五分ノ一シカナイノデアリマス、他ノ縣ノコトヲ申シマシテハ失禮デアリマスガ、新潟縣ニ於キマシテモ五百ノ産業組合ガアリマスガ、其内優良組合ハ、僅ニ五分ノ一シカナイト云フコトガ、讀賣新聞ニ出テ居ルノデアリマス、デアリマスカラシテ、農村ガ自治的ニ販賣ト生産ノ統制ヲセントスル場合ニ於キマシテモ、此産業組合ノ活動ニ俟タネバナナナイケレドモ、産業組合ハ微々トシテ振ハナイト云フ状態デアリマス、此原因ハ色々アリマセウ、即チ農村ノ有力ナル子弟ガ都會ヘ都會ヘ行テ居ルノデアリマス、農村ノ資金ハ都會ヘ集中サレテ居ルノデアリマス、カルガ故ニ産業組合ヲ設立シヨウト致シマシテモ人ガナイ、理事者ガナイ、偶ニ出マシタナラバ非常ナル不正ナコトヲヤル、産業組合ノ機能ノ發達ヲ十分ニセシムルコトガ出來ナイ、又未設置町村ニ對シマシテ、設置ヲ促ガサウト致シマシテモ、ドウシテモ設置出來ス、資金ガナイカラデアリマス、出資金ガ出來ナイカラデアアル、當局ハ此農村更生ノ根幹ヲ成ス産業組合ノ助長發達ニ對シマシテ、如何ナル程度ノ獎勵ヲ爲シ、助長ヲ爲サレントスル御方針デアルカラ御伺シタイノデアリマス

リハ優ツテ居ルコトハ勿論デアリマス、然ルニ反産運動ガ猛烈ナル勢デ起ルト云フコトハ、何ヲ意味シテ居ルデアリマセウカ、即チ今日中小工業者ガ非常ニ虐ゲラレテ居ルト云フコトヲ、如實ニ現シテ居ル、何處ニ持ツテ行ツテ其更生ヲ當局ノ力デシテ戴カウカト云フコトニ對シテ、狂奔シテ居ルト云フコトヲ如實ニ現ヘシテ居ル、本當ニ中小工業者ガ困テ居ル問題ハ何デアリマセウカ、百貨店ノ進出デアラネバナナナイ（然リト呼フ者アリ）東京ニ於キマシテモ、商品ノ六割マデ百貨店ガ販賣シテ居ルデハナイカ、大阪ニ於テハ五割ヲ販賣シ、廣島ニ於テモ三割ヲ販賣シテ居ルト云フ状態デアリ、此大資本家ノ百貨店ニ鋒先ヲ向ケ得ズシテ、憐レナル農民ガ結束シヨウト云フ産業組合ニ鋒先ヲ向ケルト云フコトハ、如何ナルコトデアルカ、此點ハ所謂中小工業者ガ非常ニ疲弊困憊シテ、如何ニシテ更生セシカト云フコトヲ當局ニ迫ツテ居ル、敵ハ本能寺ニ在リト私ハ思フノデアアル、此問題ハ單ニ米穀自治管理法ダケデハナイ、是カラ延イテ農民ガ自治的統制ヲ致シテ行クコトヲ防止シヨウト云フノデアリカト私ハ思フノデアリマス（拍手）然ル時ニ於キマシテ當局ハ此反産運動ノ爲ニ、産業組合ノ發達助長ト云フコトヲ阻礙シ、躊躇サレルヤウナ狀況デアリマス、此點ニ關シマシテハ少フル者デアリマス、此點ニ關シマシテハ少クトモ反産運動、所謂商工業者ト農民トノ統制ニ關シマシテ、十分ナル融合一致和協ガ出來ルヤウニ、庶政一新ノ此場合デアリマスカラ、當局ニ御願シタイト同時ニ、如何ナル方法ニ於テ此尖鋭化ヲ妥協シ、融合シヨウトスルノデアリマスカ、經濟統制ハ生産者ノ爲メノ統制デアツテモナラナイ、消費者ノ爲メノ統制デアツテモナラナイ、私ハ思フノデアリマス、生産者ト消費者トガ能ク融合一致スルヤウニ、當局ガ統制スルト云フソレニ對スル具體案ヲ御持チデアアルカ、即チ重要産業統制委員會ノ

ヤウナモノヲ開キマシテ、以テ農村ト商工業者トノ融合一致ヲ御圖リニナルト云フヤウナ御考ヲ御持ニナルナラバ、此場合ニ御發表ヲ願ヒタイノデアリマス

次ニ米穀自治管理法案ト耕地改良事業ノ問題デアリマス、追加豫算ヲ見マシテモ、或ハ前年度豫算ヲ見マシテモ、米穀自治管理法案ガ出マシタナラバ、急ニ耕地ノ改良事業、即チ開墾助成ト云フモノヲ打切ツテシマハレテ居ルノデアリマス、米穀自治管理法案ト云フモノハ生産制限ヲ意味シナケレバナナナイノデアリマセウ、此點ヲ御伺シタイノデアアル、米穀自治管理法案ガ生産制限ヲ意味スルモノデアツタナラバ大變デアリマス、多イガ故ニ、過剰デアアルガ故ニト云フコトニ目ヲ著ケラレマシテ、サウシテ生産制限的的政策ヲ農林當局ガ御執リニナルナラバ、恐ラク時代錯誤デアルト言ハナケレバナナラ、即チ農産物ノ中ニハ海外ヘドン輸出スル物ガアルデアリマセウカ、除蟲菊、柑橘、或ハ蠶表、是等ノ物ハドンント栽培ヲスベキデアリマセウ、故ニ烟ノ開墾事業ニ對シテハ、ドン／＼ト獎勵資金ヲ御出シニナツタラ如何デアリマスカ、外國カラ輸入シテ居ル所ノ棉、之ニ對シマシテモ、内地デ栽培出來ルデアリマセウカ、綿羊ハ勿論廣島縣種畜場ニ於テモヤツテ居ルデアリマスガ、是亦綿羊モ飼育出來ルノデアリマス、農業經營ノ綜合化ヲ圖ラント致シマスレバ、畜産ニ力ヲ致サナケレバナナラ、畜産ニ力ヲ致ストスレバ飼料ノ問題ヲ解決シナケレバナナラ、今迄ノ水田ヲ乾田ニスル爲トスルナラバ、今迄ノ水田ヲ乾田ニスル爲ニ、茲ニ暗渠排水ヲ爲シテ乾田ニスル、故ニ米ハ少ク出來マスカ、其他ノ副産物ガ澤山出來ルノデアリマス、飼料ガ出來ルノデアリマス、斯様ニ考ヘマシタ時ニ於キマシテ、耕地改良事業ト云フモノハ、是非並行シテヤラナケレバナナラ問題デアルト私ハ思フ

ノデアリマスガ、農林當局ニ於キマシテハ、米穀自治管理法案ト減反ト云フ問題ヲ非常ニコンガラガラセテ、極メテ不明瞭ナ點ガアルノヲ遺憾トスル者デアリマスガ、農林大臣ハ此點ニ對シマシテ、如何ナル御所見ヲ御持チニナツテ居リマスカヲ御伺シタイト思フノデアリマス

最後ニ御伺致シタイコトハ、朝鮮米及ビ臺灣米ノ移入管理ノ問題デアリマス、過剰米ノ統制ダケデハ、到底眞ニ米ノ問題ヲ解決スルコトハ出來ナイト云フコトハ、既ニ農林大臣ガ御話ニナツテ居リマスカレドモ、此臺灣米ノ移入ヲ制限シ、若クハ之ヲ管理スルト云フコトハ、是非緊急ニオヤリニナラナケレバナナラ大キナ問題デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマセウ、此點ニ對シマシテ、拓務大臣ハ餘程躊躇ヲサレテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ決シテ御躊躇ヲナサル必要ハナイト思フノデアリマス、今日朝鮮ノ米ノ生産費ハ非常ニ安い、自分ハ粟ヲ喰ウテ居ル、滿洲カラ粟ヲ輸入シテ喰ツテ居リマシテ、生産費ノ安い米ヲ内地ヘ送りマス、而モ立派ナ米ヲ作りマシテ、朝鮮木浦ノ米ハ廣島縣ノ「マル」改テ格差ガ違ハナイヤウナ立派ナ米ヲ送りマスカラシテ、ソコデ農林省デハ五等米ノ設置ハ全國的ニ御許ニナラヌ方針デアルト聞イテ居ルノデアリマス、五等米ノ設置ヲ何故御許ニナリマセウカ、五等米ノ設置ヲ許シタナラバ、朝鮮米ノ方ガドン／＼ト入シテ來マシテ、内地ノ五等米ト云フモノハ賣レナクナルノデアリマス、カルガ故ニ貧農大衆ハ五等米ガ出來マセウカラドン／＼ト入シテ來マシテ居リマスカ、座談會ニ於キマシテ農民ガ言ツタノデアリマス、吾々ノ子供ガ非常ニ出來ガ惡イ或ハ運動會ニ於テ負ケタト云フコトヲ言ハレルガ、是ハ粉米ヲ食フテ居ル關係デアルト云フコトヲ言ツタ、産米改良ヲヤカマシク言ハレマシテ、四等以上デナケレバイケナイ、四等以上ノモノデナカッタナラバ販賣スルノニ宜クナイカラ、五等米ヲ認メスト言ハレマスカラ、

四等ニスル爲ニ非常ナ無理ヲシテ米ヲ作
ル、十五俵出來ル所ガ十四俵ニナルノデア
リマス、而モ粉米ガ澤山出來マスカラ、殆
ド粉米ヲ食シテ居ルネバナラス云フ状態デ
アル、然レニ地主ノ方デハ小作米モ負ケテ
吳レナイ、粉米ヲ食ウテ居ル、子供ニモ粉
米ヲ食ハセネバナラスカラ、穀色兒童
朝飯ヲ食ハヌト云フ意味デアリマセス、色
ヲ缺イテ居ル所ノ穀色兒童ガ澤山ニ農村ニ
出來テ居ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラ
スノデアリマス、是等ノ點カラ考ヘマシテ
モ、十一月頃内地米ガ出來マシタ時、雪崩
ヲ打ッテ朝鮮米ガ入ッテ來ルト云フコトガ、
非常ニ貧農大衆ヲ困ラセテ居ルト云フ事ダ
ケハ間違ノナイ事實デアアル、然ラバ之ヲ移
入管理ヲヤツ場合ニ於テ、朝鮮ノ農民ガ困
ルデアリマセウカ、決シテ困ラナイ、朝鮮
ノ農民ハ今日デモ生産費以上ノ價格ヲ得
テ居ルノデハナイ、中間商人ガ阻止シテ居
ルノデアアル、其中間商人ノ利潤ヲ少クス
ト云フコトニ依ッテ、朝鮮ノ農民モ困ラス、而
モ内地ノ農民ガ助カルト云フ此重大ナル問
題ニ關シマシテハ、十分研究ヲセラレテ、一
日モ早く朝鮮米ノ移入管理ヲ實現サレンコ
トヲ望ムノデアリマス、此點ニ付テ此場合
ニ御答辯ヲ御願シタイト思フノデアリマス
(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 只今永山君ノ御
質問中ニ御述ニナリマシタ御意見ニ對シマ
シテハ、謹ンデ政府ノ參考ト致シマシテ、
法案實施ニ農林省ノ事務ヲ進行スル上ニ
於キマシテ參考ニシ、之ヲ考究致シタイト
考ヘテ居リマス、唯此法案ニ付キマシテ、
自治管理法案ヘ之ヲ實施スル爲ニ耕地ノ改
良事業、即チ生産制限ト云フヤウナ事柄ヲ
目的トシテ居ラナイカト云フヤウナ意味ノ
點ニ對シマシテハ、左様ナ意味ハ決シテナ
イト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、又反産
運動トノ關係ニ付キマシテハ、先刻、産業
組合ト中小業者ノ關係ニ付キマシテ、部

内ニ於テ協議會ヲ設ケテ研究ヲシテ、略、成
案ヲ得ントシテ居ルト云フコトヲ申上ゲマ
シテ、其内容ニ付キマシテハ、發表シ説明
ヲシ得ル點ニ付テハ、參考トシテ委員會等
ニ於テ説明致シタイト考ヘテ居ルコトヲ申
上ゲマシタガ、之ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイ
ト思フノデアリマス、最後ニ朝鮮米ノ移入
管理ノコトニ付キマシテハ、御議論ノ點ハ
洵ニ拜聴致シマシテ、左様ナ事情ノアルコト
ヲ自分モ諒解ヲ致シマスケレドモ、外地米、
内地米ノ關係ニ付テハ極メテ微妙ナ關係ガ
アリ、此間ノ事柄、即チ内外地ヲ通ジテ統
制ノ制度ヲ立ツルニアラザレバ、現行統制
法ノ效果ヲ完ウスルコトガ出來ナイト云フ
ノガ、此法案立案ノ根本ノ趣意ノ一ツデア
ルト云フコトヲ説明ヲ申上ゲマシタ、此點
ニ於テ御諒承ヲ願ヒマシテ、現行法ノ下ニ
於テ直チニ朝鮮米管理ノ方法ヲ執ルト云フ
コトハ致サナイト云フコトニ、御諒解ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○議長(富田幸次郎君) 富吉榮二君

(富吉榮二君登壇)

○富吉榮二君 本案ニ關シマシテハ、先刻
來先輩議員諸氏ト當局トノ間ニ、有ユル角
度カラノ質疑應答ガ繰返サレタノデアリマ
ス、更ニ又獨リ本議場ノミナラズ、我國ノ
一切ノ機關ヲ舉ゲテ本問題ニ對スル討議ガ
行ハレテ居ルヤウデアリマス、コト程左様
ニ此問題ハ重大ナル問題デアルト思ヒマ
ス、是等ニ對スル色々當局ノ辯明ニ依リ
マシテ、略、了承スルコトガ出來タノデア
リマス、贊成反對ノ意思ハ別ト致シマシ
テ、當局ノ意ノ在所ハ大體ニ於テ分ツタ
ノデアリマスルガ、尙ホ少シク當局ニ對シ
テ御尋致シタイト思フノデアリマス、
極メテ時間ガ切迫シテ居リマスルノデ、簡
單ニ申上ゲタイト思フ、先程農林大臣ハ田
淵氏ノ質問ニ對シマシテ、米價ノ昂上ヲ目的
トスルモノデハナイト云フヤウナ御意見デ
アツヤウデアリマスルガ、其點ニ付テハ私

共マダ一向合點ガ參ラナイノデアリマス、
要スルニ本案ノ眼目トスル所ハ、必シモ本
法實施ニ依ッテ直チニ米ヲ昂上ゲルト云フ
コトデハナイカモ知レナイケレドモ、少ク
共米價ト云フモノヲ、生産費トノ間ニ於テ
或ル程度ノ高價ヲモノニスル、ヤハリ其政
策ヲ基本トシテ、詰リ米價ノ月別ノ均等化
ヲヤラウトスル、斯ウ云フコトガ吾々共ニ
ハ親ハレルノデアリマス

更ニ第二ニ此案ハ先程來財政上ノ見地カ
ラ種々言ハレマシタヤウニ、米穀需給特別
會計ノ損失ヲ防止スル、斯ウ云フコトデア
ル、サウシテ其損失ハ一般會計ノ方ニ轉嫁
サレテ行クヤウデアリマス、更ニ又直グ私
ノ前ノ何ト云フ方デアツカ知ラヌガ、臺灣
朝鮮ノ植民地產米ノ内地ヘノ移入ヲ阻止ス
ル、斯ウ云フ風ノ立前デアルヤウデアリマ
ス、由來吾々ハ計畫經濟即チ組織經濟ト云
フモノヲ主張シ來タノデアリマシテ、其
計畫經濟、組織經濟ノ根本ヲ成スベキ所ノ
産業統制ト云フモノニ對シテハ、極メテ贊
成デアリ、大イニ之ヲ鼓吹致ス一人デアリ
マス、ケレドモ吾々ノ主張スル所ノ産業統
制ナルモノハ、要スルニ國民大衆ノ生活安定
ヲ基調トスル所ノ、即チ社會的産業統制デ
アツテ、其統制スルコトニ依ッテ或ル一部ノ
者ヲ利益セントスルガ如キ産業統制トハ、
斷ジテ其本質ヲ異ニスルノデアアル、ケレド
モ私ガ以上冒頭ニ於テ觀來ツタ如ク、本案
ハ所謂米穀販賣高價僅ニ一五・五%總戶數ノ
六・五%斯ウシタ僅少ナル、殆ド地主ノ爲
ノ政策デアラザルカト云フコトヲ私ハ憂フ
ルノデアアル、サウシテ政府ハ其爲ニ所謂月
別ニ均等化シテ維持シヨウト云フ見地カ
ラ、朝鮮臺灣ノ產米ノ内地ニ移入スルコト
ヲ防止シヨウトシテ居ル、斯ウ云フ風ニ私
共ハ觀ルノデス、從來政府ハ米價高維持ノ
目的カラ、米ノ市場出廻ヲ調節スル爲ニ、米
穀統制法ナルモノヲ實施シテ、サウシテ相
當ノ買上ヲナサレテ來タヤウデアアル、其資

金トシテモ所謂需給特別會計ニ於テハ十一
億五千萬圓、サウ云フモノヲ計上シテ、既
ニ其中最最近ニ至リマシテハ、先程カラモ言
ハレテ居ルヤウニ二億八千萬圓ト云フヤウ
ナ莫大ノ損失ヲ招クニ至ツタ、此莫大ナ損
失ノ負擔ヲ除去スル爲ニ、所謂過剩米ヲ政
府ガ買上ゲズニ、農民各自ノ責任ニ於テソ
レヲ管理セシメヨウトスル、詰リ其管理ヲ
農民自身ノ方ニヤラシメテ、今マデノ農民
救済ニ依ル所ノ費用ヲ通レヨウトシテ居ル
ノデハナイカ、斯ウ云フ所ノ所謂一石二鳥
主義ノ策ニ出タルモノデハナイカト私共ハ
見テ取ルノデアリマス、結果ニ於テサウナ
ラナケレバ結構デアアルケレドモ、往々ニシ
テ今日マデノ立案ガ、其當初ニ於ケル當局
ノ辯明並ニ之ヲ支持スル者ノ意見ハ極メテ
結構デアアルガ、其實際的ナル結果トシテ
現ハレル所ノモノハ、往々ニシテ其立論ト
全然結果ヲ異ニスル場合ガ多イノデアアル、
其點ニ付テハ色々選良諸君ガ慎重審議サレ
タ選舉法デモ其通りデアアル、或ハ又色々練
ラレテ作ラレタ所ノ米穀統制法ノ買上政策
ニ於テモ斯ノ如キ結果ヲ見タ、自作農創定
ニ於テモ其通りデアアル、必シモ現在ニ於ケ
ル立案者ノ主張其モノガ、現實ニソグハナ
イ、私共ハ此點ヲ憂フルノデアリマス
ソコデ私ハ先ッ御尋シタイノデアアル、極
メテ御答辯ノ便利ノ爲ニ、此米價ヲ昂上ゲ
ル政策ガ、社會的ニ妥當デアアルカ、第二點
ニ於テ、之ヲ適用スル府縣ト、不適用ノ府
縣ニ於ケル所ノ米作農民ノ間ノ關係ヲ、ド
ウ云フヤウニ取扱フカ、此二ツノ點ヲ御尋
シタイノデアアル
更ニ今一ツ大事ナコトハ、茲ニ所謂都市
ト農村ノ對立關係、先刻カラ言ハレタヤウ
ナ問題ガアリハシナイカ、言フマデモナク
米ヲ高クスルト百姓ハ直チニ利益スルヤ
ウニ考ヘルガ、一般ノ認識ノヤウデア
リマス、ケレドモ先程來御述ニナツタヤウ
ニ、日本ノ農村ニハ瑞穂ノ國ニ生レタ米ノ食

ヘナイ連中が居ルノデアル、自分勝手作りノ米が食ヘナイデ、アベコベニ之ヲ買ッテ喰ッテ居ルト云フヤウナ状態デアル、先程トナタカノ御示シニナツタ統計ニモアリマシタガ、朝鮮ニ於テ米ヲ食ヘナイト云フノハ、アレハ決シテ拓務大臣ノ仰シヤツタヤウナ意味デハナシニ、私共ハ端のニソレヲ知ッテ居ル、米が食ヘナイデ、サウシテ其量ガ減ッテ居ルノデアル、斯ウシテヤウナ農民ガ居リマスノニ、唯單ニ茲ニ現在ノヤウナ法規ヲ持ッテ來テ、サウシテ直チニ社會不安、農村ノ不安ガ除去サレルモノデハナイ、尤モ此點ニ付テハ農林大臣ハ、是ハ極メテ暫定のモノデアル、過渡的ナモノデアルト御承知ヲ願ヒタイト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、其後ニ根本方策ヲ御持チデアラウカラ、稍、安心ハ致シマスガ、要スルニ農民ノ救済ハ斯ノ如キ所ノ、現在ノ農村ニ横ヘル所ノ不安ヲ除去スル爲ニハ、今少シク根本的ニ農村ノ問題、即チ土地ノ問題デアリ、或ハ小作料ノ問題デアリ、之ヲ繞ル所ノ色々ナ問題デ現ハセル深刻ナ闘争ノ問題、此問題ヲ緩和シ得ルニ足ル所ノ根本的ナ農村策ガ立テラレナケレバ、唯單ニ米ヲ買上ゲル、若クハソレノ統制ヲ圓滑ニスルト云フヤウナ意味合ニ於テノ自治管理ヲスルト云フダケニ依ッテハ、斷ジテ私農村ノ米穀政策ナルモノガ根本的ニ解決サレルモノデハナイト云フコトヲ思フノデアリマス、以上ノ點ニ對シテ、所謂吊上政策デナイト云ハレルケレドモ、私ハ必ズサウアルモノナリト確信スルモノデアリマスガ、之ニ對スル農相ノ御意見如何

尙ホ此所謂米ノ吊上ニ依ッテ都市消費階級ト云フヤウナモノガ、非常ナル生活脅威ニ曝サレル虞ハナイカ、此點ヲ憂フル者デアリマス、斯ウシタコトガ又現在ノ所謂本法ニ對スル反對運動ノ本旨トモナツテ居ルヤウデアリマス、斯ル立前カラ此都市ト農村トノ對立ヲ緩和シテ、ソ

コニ一方農民ヲ眞ニ救済シ、サウシテ又此生活不安ヲ除去シ得ル、所謂眞ノ勤勞農民モ宜シイ、更ニ又勞働大衆ノ生活ヲモ脅威シナイ、一般市民階級ノ生活ヲモ脅威シナイト云フ所ノ、公正米價ヲ樹立スルト云フヤウナ、政府當局ニ於テハ御準備ガアルカドウカ、サウ云フコトヲ四點ダケ御尋シタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 富吉君ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、本法案ノ目的ガ米價吊上ノコトヲ意味シナイ、此事ハ度々申上ゲタ通りデアリマス、調節ヲ目的トシテ居ルモノデアッテ、吊上ヲ目的トシテ居ルモノデハナイコトヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ此法律ハ地主ノ爲ノ立法デハナイカト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是亦左様ナ點ヲ目的トシテ居ルモノデハナイノデアリマス、尙ホ都市ト農村トノ對立關係ニ關シテハ御意見ハ、謹ンデ拜承致シマスガ、政府ハ全ク此點ニ付キマシテ、都市ト農村トノ對立ヲ緩和スルノ根本精神ニ依ッテ、此農民行政、農村對策ヲ考ヘテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、而シテ此事ハ此法案ニ現ハレタル事柄ノミヲ以テ、是ガ達セラレルモノデハナイト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、農民行政全體ヲ通ジ、或ハ政府ノ施設全體ヲ通ジテ、此點ニ付テハ實ニ都市農村バカリデハナイ、各階級、各方面ノ諸和協調ト云フコトヲ根本ニ置イテ居ルモノデアルト、斯様ニ自分ハ諒解シテ居リ、其意味ヲ以テ總テノコトヲヤッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

(富吉榮二君登壇)

○富吉榮二君 私共ノ見ル所ト當局ノ御意見トガ喰違ッテ居ッテ、私共ノ憂ヘテ居ルコトガ杞憂ニ終ルモノデアルコトヲ聞イテ安心致スノデアリマス、更ニ私ハ進ンデ此際ニ承リタイノハ、政府ノ米ノ方針ニ付テデアアル、勤勞農民ノ要望致

シマスハコトハ、所謂生産費ノ引下ニ依ル所ノ公正米價ノ樹立ト云フコトガ最も問題デアリマス、ソレハ決シテ理論上ノ問題デハナクシテ、私共ガ實際ニ百姓ヲヤッテ行ク上ニ於テ、最も重大ナル事デアリノデアリマス、デスル事柄ハ唯單ニ利己的ナ偏見カラ之ニ對シテ見ルベキモノデハナクシテ、最重要ナル國民ノ必需品デアルト云フ點ニ於テモ、更ニ又我國ニ於ケル二千萬五百万ノ勤勞農民大衆ノ生活ノ安定ノ策カラ致シマシテモ、見地カラ致シマシテモ、是ハ眞ニ妥當ナル米穀政策ガ樹立サレナケレバナラヌガ、其樹立策ニ於テ最も考慮サレナケレバナラヌコトハ、生産費ノ引下、生産費ヲ現在ノ如ク、硫酸「アムモニア」云々ト云フヤウナ話モ此議場デ出マシタガ能ク覺エテ居リマセヌ、ア、云フヤウナ所謂資本家ニ利ヲ取ラシムル所ノ肥料ノ價格、斯ウシタモノニ對シテ大イニ當局ハ眼ヲ注イデ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、即チ所謂農業經營ソレ自體ヲ本位トスル肥料統制ヲ斷行セラル、所ノ政府ニ御意見ガアルカドウカ、唯單ニ資本主義的ナ見地カラ、所謂肥料ヲ生産スルコトヲ一ツノ營利事業ト云フヤウニ見ル見地カラノミニ依ッテ、此資本家のヲ採算ノ上カラ値段ガ現在ニ於テハ無軌道的ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對シテ統制ヲ斷行セラルル意思ガアルカト云フコトヲ御尋シマス

更ニモウ一ツ小作料ノ輕減、是ハ地主ノ諸君ハビツクリスルノデアリマスルガ、小作料ト云フモノハ現在ノヤウニ高クテハ、モウ日本ノ農村ハ潰レト思フ、ドウシテモ農民生活ヲ安定セシムルノミナラズ、以上申上ゲタ公正米價ノ樹立ト云フ爲ニハ、現在ノ如ク小作料ガ高率デアッタラ、連モサウシタコトガ出來ナイノデアアル、又農村問題ノ癥ハ實ニ此點ニモアルノデアアル、是ハ要スルニ地主ノ方ニ於テ、若シ小作料ヲ引下ゲルコトニ依ッテ被ル不利益ハ、相當ノ方法

ヲスレバ宜イ、ソレハ幾ラデモ政治的ノ分野ガ殘サレテ居ルノデアル、先ヅ此小作料輕減ト云フコト、私ハ地價ノ引下ト云フコトヲ基本トシテ、小作法ガ制定サレナケレバナラヌモノダ、私ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル、唯單ニ地主ノ所謂所有權絕對ヲ強化スルヤウナ、乃至小作人ノ高率小作料ヲ絕對的ニ釘付ニスルヤウナ小作法ノ制定デアッタラ、ソレナモノヲ作ッテモ農村ヲ破壊スルモノデアアル、斯ウシタ見地カラ政府ハ斯ノ如キ小作法ニスル意思アリヤ否ヤ、更ニ此農民ト云フモノハ洵ニ困ッタモノデアリマシテ、所謂外ニ大キナ店ヲ出シテ居ル、何時如何ナル時ニ風ガ吹クカ知レナイ、雪ガ來ルカ知レナイ、斯ウシタヤウナ所謂不可抗力ニ因ッテノ損失ト云フヤウナモノヲ豫定シナケレバナラナイデアアラウ、殊ニ本年度モ東北地方ノ雪害ト云フヤウナコトガ、此處ニ於テモ問題ニナツテ居リマスルガ、要スルニ斯ウシタヤウナ農民ノ不可抗力ニ因ル所ノ損失ヲ、何トカシテ再ビ盛返ス力ヲ生産ニ與ヘテヤル、斯ウシタヤウナ保護政策ガ掲ゲラレナイ限り、斷ジテ日本ノ農村ハ健在デアリ得ナイト思フノデアリマス、此點ニ對シテハ島田農林大臣ハ如何ナル御考ヲ御持ニナツテ居ルカ更ニモウ一ツ、農民ノ公租公課ノ負擔ノ輕減ト云フコトデアアル、是ハモウ既ニ言ヒ盡サレテ來テ居ルコトデアアルカラ、私ガ特ニ言ハナクテモ宜シイガ、斯ウシタコトニ對シテ十分ノ用意ガアルカドウカ、馬場大藏大臣ハ成ベク大衆カラ搾リ取ラウト云フヤウナ風ノ決意ガアルカノヤウニ考ヘラレテ居ルガ、ソレガ吾

吾ノ憂所ヲ狙フニ於テハ甚ダ吾々モ考ヘザルヲ得ナイ、之ニ對シテ政黨ニ於テ百戰練磨ノ、而モ苦ヲ嘗メ盡サレテ今日ノ榮冠ヲ擔ハレタ農林大臣島田俊雄閣下ハ、ドウ云フ御考ガアリマスカ、十分ノ所謂トン／＼拍子ガ出テ來タ大藏大臣ト太刀打セラレルノ用意アリヤ否ヤ、斯ウ云フコトニ付テ御

尋シタイノデアリマス、更ニ御答辯ニ依ッテモウ一回ダケ保留サレテアリマスカラ……

○國務大臣(島田俊雄君) 米ニ對スル方針、此消費階級、勤勞大衆、之ニ對シテハ成ベク米ハ安イ方ガ宜イ、併シ農民トシテハ生産費ヲ割ルヤウナ値段段デハ供給スルコトハ無論論ルコト云フコトハ、論ノナイコトデアリマシテ、政府トシテハ此間ニ於テ米ノ生産費ノ引下ニ依ル低米價ヲ方針トシテ居ルコトハ明カナコトデアリマス、隨テ米穀ノ生産費ヲ引下ゲルト云フ爲ニ、生産費中ノ重要ナル部分ヲ占メル肥料其他ノモノニ對シテ、如何ナル方策ヲ執ルカト云フコトニ付キマシテハ、現ニ總テ諸君ノ前ニ御協賛ヲ仰グ爲ニ上程セラレントシテ居リマス、重要肥料ニ關スル法案ニ付テ、其機會ニ於テ説明スルコトガアラウト考ヘマス、肥料ノ事ニ付キマシテハ、御趣意ノヤウナ意味ニ於テ之ニ統制ヲ加ヘルノ方針ヲ以テ進シテ居ルト云フコトヲ、御諒解願ヒタイノデアリマス、小作料ノ問題ニ關スル小作制度ニ關シマシテハ、曩ニ此場所ヨリ御答ヲ申上ゲマシタ通りニ、重要ナル問題トシマシテ慎重ニ考究ヲシ、成案ヲ得ル場合ニハ諸君ノ御協賛ヲ得ルヤウニ致シタイト云フ考ヲ以テ進メテ居ル次第デアリマス、尙ホ公租公課ノ輕減、此點ニ付キマシテハ、大藏大臣ガ財政ノ方針ニ付テ申シマシタ通り、中央地方ヲ通ジテ負擔ノ均衡ヲ圖リ、之ヲ大本ト致シマシテ、其意味ニ於テ國家ノ必要ニ應ジテ增收ヲ圖リ得ルモノデアラナラバ、圖ルコトガ然ルベキモノデアラウト斯様ニ考ヘテ居リマス、是ダケヲ以テ御答ト致シマス

(富吉榮二君登壇)

○富吉榮二君 マア御厭デゴザイマセウケレドモ、暫ク御清聴ヲ願ヒマス、是ハ日本ノ勤勞農民大衆ノ代表的ナ意見デアリマス、只今農相ハ極メテ眞面目ニ、サウシテ

正直ニ御答ヘ下サイマシテ甚ダ敬意ヲ表シマスルガ、小作法ヲ近ク成案ヲ得テ諸君ノ協賛ヲ得ルト仰シラレマシタガ、ソレハ次期議會ニ提出サル、モノトシテ了承シテ宜シウゴザイマスルカ、若クハ近ク、デ押延バサレルモノデアリマスカ、其點ヲ先ヅ御尋致シマス、現在ノ此自治管理組合ノ本法ガ實施セラレルト云フコトニナルト、承ル所ニ依リマスル寄託米ニ付テ、時價デ七割程ノ融資ヲ受ケルト云フヤウナ風ニ解釋シテ居ルノデアリマスルガ、是非非常ニ困ル場合ガ實際ノ百姓トシテアルノデアリマシテ、之ニ付テ時價ノ全額ヲ融資スルト云フヤウナ、御英斷ヲヤラレルコトハ出來ナイカ、更ニモウ一ツノ點ハ、利子、保管料、手数料等、相當ノ金額ヲ要スルヤウデアリマスルガ、折角出來マシテモ斯ウシタヤウナモノヲ彼方此方デ取ラレテ居ルト云フト非常ニ困ルノデアリマスルカラ、之ニ對スル所ノ御考ハドシナモノデアラルコト云フコトヲ御伺シマス、更ニモウ一ツ、簡單ニ御答ヘ下サレバ宜シイ、統制米ノ販賣ヲ消費組合ヤ或ハ白米ノ小賣商人ニヤラセルト云フヤウナ方針ヲ執ラレルカドウカ、是ハヤラセルナラヤラセル、ヤラセヌナラヤラセヌト、ソレダケデ宜シイ、ソレカラ政府ノ買上ゲル場合ニ於ケル政府ノ買上法規則、相當ニ改正シナケレバナラス點ガアルンデヤナイカ、モウ時間ガ來タカラ、サウ云フ一々ノ理由ハ申上ゲマセヌガ、大體斯ウ言ヘバ賢明ナル農林大臣ハ、胸ニビシット來ルダラウト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事ニ付テ當局ハ如何ナル御見解ヲ御持チニナルカ、極メテ簡單ニシテ、サウシテ能ク私共ガ吞込メルヤウナ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、マダ私共ハ本案ニ對シテ絕對ノ反對トカ、或ハ賛成トカ云フヤウナ見解ヲ執ッテ居ラヌノデアリマシテ、是等ノ杞憂ナシトシテ、本當ノ意味ニ於ケル所ノ社會政策ノ産業統制ヲ持ツモノデアッタ

ナラバ、或ハ賛成スルニ——私ハ百姓ノ代表トシテ賛成スルニ答ナラナイコトヲ茲ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

(國務大臣(島田俊雄君) 富吉君ニ御答致シマス、富吉君ハ小作制度、小作法ト云フ

風ニ段々具體的ニ御話ニナリマシタガ、私ノ御答ヲ申シマシタコトハ小作制度、尙ホ自作農、凡ソ所謂土地制度ニ關スル事柄ニ付テハ、慎重ニ考究致シテ居リマスカラシテ、是等ニ付テ方針ガ定マリ、成案ヲ得タ場合ニハ、諸君ノ協賛ヲ求メルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ事ヲ申上ゲタノデアリマシテ、此事ニ付テ一言申上ゲテ置キマスガ、調査ト云フコトニ名ヲ藉リテ、出來テ居ッテモソレヲ出サナイヤウナコトヲスルデアラウト云フコトハ、或ハ是マデサウ云フ事ガアツカモ知レヌ、又アツカヤウニ思フコトヲ私思ヒマスガ、私ハ左様ナコトヲ致サナイ、是ダケヲ申上ゲテ置キマス、成案ヲ得レバ必ズヤリマス、ソレガ次ノ議會ニナルカ或ハ其次ニナリマスカ、此時機ニ付テ申上ゲルコトハ出來マセヌ、成案ヲ得レバヤリマス、尙ホ次ニ之ヲ次期ノ議會ト云フコトヲ以テ言質ヲ得ラレントスルノハ、是マデノ當局ノヤツタ弊ニ付テ御鑑ミニナツタコトト思ヒマスガ、其御心配ノナイコトダケヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ此統制米ニ付テ、融資ノコトノ割合等ニ關シマシテハ、是ハ七割トカ云フヤウナ御話ガアリマシタガ、出來ル得ルダケヤルト云フ意味デアリマシテ、歩合ヲ限ッテ居ル次第デアリマセヌ、又保管料、手数料ノヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ公正ナ程度ニ於テ之ヲ認メザルヲ得ナイ、又不公正ニ互ルコトハ避ケナケレバナラスト斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ統制米ヲ販賣スル場合ニ、之ヲ小賣商人、即チ米商人ニ扱ハセルカト云フコトハ、御尋ノ通りデ、之ヲ米商人ノ扱フヤウナ方法ニシタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、是ダケ御答

致シマス

○議長(富田幸次郎君) 野中徹也君

(野中徹也君登壇)

○野中徹也君 私人時間ノ都合モアリマスルカラ、此米穀自治管理法案ノ内容、又此米穀自治管理法案ノ本質、或ハ其運用ノ問題ニ關シマシテ、果シテ此法案ヲ實行致シマシテ、政府ガ考ヘテ居ルヤウナ工合ニ、所期ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ、或ハ此米穀自治管理法案ニ依リマシテ、農民ヲ救済スルコトガ出來ルカドウカ、又更ニ此本文ヲ以テシテ、果シテ農林大臣ノ言ハル、通り、商人ト農民トノ間ニ妥協ガ出來ルカドウカ、斯ウ云フヤウナ細カイ問題ニ關シマシテハ、委員會ノ席上ニ於テ考究ヲ致シ、論難致シテ見タイト思ヒマス、ソレデアリマスルカラ、斯ウ云フ風ナ諸般ノ問題ニ關シマシテハ、本日ハ質疑致スコトヲ止メマス、唯一點、果シテ此法案ヲ如何ナル理由ヲ以テ御提出ニナツタカ、此理由竝ニ動機ヲ御伺致シタイ、勿論ニ之ニ關シマシテハ、先刻民政黨ノ工藤君カラ御質問ガアリマシタケレドモ、マダ私ハ盡シテ居ラヌト思フ、同時ニ又本案ヲ提出シタ場合ニ於テ、此世ノ中ニ大キナ渦ヲ捲ケル、渦ヲ起スモノデアリマスルガ故ニ、特ニ本案提出ノ理由竝ニ動機ニ付テ、農林大臣ノ御説明ヲ伺ヒタイト思フ、農林大臣ハ先刻工藤君ノ質問ニ對シテ、今回急激ニ此法律案ヲ提出シタ理由ハ、現在ノ米穀統制法ノ下ニ於テハ外ニ方法ガナイ、本質的ニハ色々他ノ方法ガアリウガ、現在ノ米穀統制法中ニ於テ、是ヨリ外ニハ良策ガナイ、ソレガ本案ヲ提出シタ理由デアルト言ッテ、主トシテ米穀問題ヲ中心トシテ論ジラレテ居ルヤウデアル、即チ米穀ノ價格ノ調整、或ハ需要ノ調整ト云フモノガ、本案ヲ提出シタ所以カノ如クニ思ハレルノデアリマスルガ、私ニ言ハセルナラバ、本案ヲ提出スルコトニ依ッテ、米穀問題ヨリモ更ニ重大ナル社會問題ヲ、茲ニ

惹起スベキ原因ヲ生ゼシムルヤウニナツタ
ノデハナイカト考ヘル(拍手)

今マデノ社會問題ト云フモノハ、或ハ勞
働問題ノヤウナ工合ニ、生産部門ノ中ニ於
ケル利益ノ分配ノ問題デアッタ、所ガ此米穀
自治管理法案ト云フモノガ、昨年帝國議會
ニ提出セラレテカラ、此米穀自治管理法案
ハ、重大ナル社會問題ヲ吾々ノ眼前ニ展開
スルヤウニナツタデアッタ、労働問題ハ生
産者ノ部門ノ問題デアアル、併ナガラ此米穀
自治管理法案ハ、生産者、配給者、消費者
トノ三大部門ノ間ノ紛争ヲ起ス所ノ原
因ヲ含シテ居ルノデアアル(拍手)四年程以前
ニ商權擁護聯盟ト云フモノガ出来上ツタ、丸
内ノ丸ノ内「ホテル」ニ於テ其發起人會ガ開
カレタ、併ナガラ其時ニ於ケル商權擁護聯盟
ト云フモノハ、形ハアツタケレドモガ、實際ノ運
動ト云フモノハ殆ド寥々タルモノデアッタ、産業
組合ニ對抗スル爲ニ、商權擁護聯盟ガ出来タ
ノカモ知レナイ、私ハ知ラス、併ナガラ兎
ニ角反産運動ノ形式ヲ以テ生ジタ所ノ商權
擁護聯盟ト云フモノモ、此問題ガ提出サレ
ル迄ノ間ハ其運動ハ洵ニ微弱ナモノデアッ
タ、渡邊博士ノヤウナ人ガ各處ニ行ツテ、
商權擁護ノ實際運動ヲヤツタ、併ナガラ其實
際運動ヲヤツタト云ヒナガラ、之ニ共鳴ス
ル者ガ殆ドナカッタ、有ニル都會ニ於テ商權
擁護運動ト云フモノガ殆ド掛ケタ、併ナ
ガラ其運動ハ殆ド見ルベキモノガナカッタ、
併シ一昨年はガ山崎農林大臣ノ下ニ帝國議
會ニ提出セラレルト云フコトガ明瞭ニナッ
テカラ、日本ニ於ケル所ノ配給部門ト云フ
モノハ忽然トシテ起ツタデアアル、米屋ガ起
ツ、米屋バカリデハナイ、肥料商ガ起ツ、
肥料商バカリデハナイ、藪屋ガ起ツ、藪屋
バカリデハナイ、總テノ人々ト云フモノ
ガ——所謂配給機關ノ部門ト云フモノガ、此
農林省ノ提出セラレタ法律案ヲ中心トシテ
起チ上ツタデアアル、昨年度ニ於キマシテハ、
此議會ノ附近ニ於テ流血ノ慘事サヘ起ツテ來

タ(百姓ハドウスル、百姓ヲ犠牲ニスルノ
カ)ト呼フ者アリ)今農民ノ問題ヲ言フテ居
ルケレドモガ、農民ヲ富マス方法ハ別ニ他
ニアル(サウダ、サウダ)「百姓ハソナ義
務ハナイ」ト呼ビ其他發言スル者アリ)百姓
ヲ富マス方法ハ別ニアル(農民ノ窮狀ヲ知
ラスノカ)ト呼ビ其他發言スル者多シ)アト
デ言フカラ默レ

○議長(富田幸次郎君) 靜肅ニ
スル者多シ)

○野中徹也君(續) 兎ニ角何レニ致シマシ
テモ、此問題ヲ中心トシテ各配給部門ガ
起チ上ツタコトハ事實デアアル、其後ニ或ハ醫
師デアルトカ、或ハ小間物屋デアルトカ云
フ、殆ド吾々ガ腦中ニ置イテナカッタヤウ
ナ人々モ、現實ニ於ケル所ノ利害關係ニ立
脚シテ起チ上ツタコトガ、現在ニ於ケル事實
デアアル(ヒヤ〜)「即チ私ハ思フ、斯ウ云
フヤウナ法律案ヲ何ガ故ニ提出シナケレバ
ナラナカッタデアアルカ、唯單ニ米穀統制法
上ノ問題ニアラズシテ、大キナル所ノ社會
問題ヲ、何ガ故ニ日本ニ起シタカ(百姓ヲ
知ラスノカ)默レ」ト呼フ者アリ)

私ハ思フ、此米穀自治管理法案ト云フモ
ノハ、單ナル配給機關ノ問題ニアラズシ
テ、更ニ進ンデハ、思フニ國防上ノ問題モ之
ニ憂慮スベキコトデハナカラウカト考ヘ
ル、現在ノ兵士、現在ノ國民、是ハ昭和五
年ニ於ケル所ノ國勢調査ノ結果デアリマス
ルカラ、恐ラク間違ヒナイト思フ、日本ニ
於ケル人口ハ總數六千四百四十五万人、中、
業者有スル者二千九百六十一万九千人、無
業者三千四百八十三万人、此有業者中農業
一千四百萬、水産業五十四萬、鑛業二十五
萬、工業五百六十九萬、商業四百四十七萬、
交通業百十萬、公務、自由業一百万、其他
ノ人ヲ合セマシテ、即チ二千九百六十一万
人ト云フノガ、日本ニ於ケル所ノ有業者デ
アリ、中、農民ト云フモノハ一千四百萬即

チ日本ノ全人口ニ比較スルナラバ、二二%
ニ過ギナイデアアル、隨テ此率ガ日本ノ國
軍ノ中ニ於テモ左様デアラウト思フ、日本
ノ國軍ノ中ニ商人ノミ排斥セララル、ト云フ
コトハ、私共ハ聞カナイ、農民ノミガ軍人
デアルト云フコトハ私ハ聞カナイ、隨テ日
本ノ國軍ノ中ニ於テ、惟フニ斯ウ云フヤウ
ナ比例ヲ以テ兵士ガ出テ居ルニ相違ナイト
考ヘル、今日或ハ昨日、我が第一師團ハ滿
洲ニ於ケル邊境守備ノ任ニ任ズベク、東京
驛ヲ萬歲聲裡ノ間ニ出發シタ、併ナガラ
是等ノ第一師團ノ配下ノ人々モ惟フニ斯ウ
云フヤウナ狀態ニ於テ、此兵士ト云フモノ
ガ組織セラレタノデハナカラウカト考ヘル、此
人々ガ邊境守備ノ任ニ當ツテ居ル時ニ、日本
ノ内地ニ於テス様ナ社會問題ガ起リ、自分
ノ父兄ガ衣食ニマデ苦シマナケレバナラスト云フ
ヤウナ法律案ガ提出セラレタスル時ニ於テ、
果シテ安固ニ自分ノ任務ヲ盡シ得ルカドウ
カ、私共ハ洵ニ出征軍人ノ爲ニ御氣ノ毒ニ
考ヘル次第デアアル、即チ出征軍人ハ二重ノ
心配ヲシナケレバナラナイ、内ニ於テハ、陸
下ノ御命令ノマニ〜邊境守備ノ任ニ當ル
コトヲ努力スルト共ニ、一面ニ於テハ又後
ロニ於ケル家庭生活ヲ考ヘナケレバナラ
ナイ、要スルニ二重ノ心配ヲ貽スモノト謂
ハナケレバナラナイ、隨テ私ガ斯ウ云フヤ
ウナ社會問題ヲ惹起スベキ法律案ヲ提出ス
ルコトハ、國防ニモ關係スルニアラズヤト
言ウタ理由デアアル

又私共ハ考ヘル、團體生活ト云フモノ
ハ、各人ノ犧牲ニ依ツテ初メテ圓滿ナルモ
ノデアアル、吾々ハ納稅ノ義務ヲ負フ、又
兵役ノ義務ヲ吾々ハ持ツテ居ル、吾々ノ權
利デアリ、又洵ニ吾々ノ義務デアアル、併
ナガラ冷カニ之ヲ觀察スル時ニ於テ、果
シテ納稅ヲ喜ブ人アリヤ否ヤ、或ハ喜ンデ
兵役ニ行ク人ハアルケレドモ、其中ニハ兵
役ニ行クコトヲ、或ル意味ニ於キマシテハ
許シテ貰ヒタイト云フヤウナ考ヲ持ツ人無

キニシモアラズデアアル、サウ云フ風ナ人々
ガ、サウ云フ風ナ狀態ヲ我慢シテ、此義
務ヲ盡セバコソ、日本國家ハ圓滿デ、日本
ノ國民生活ハ圓滿ニ行ハレルデアアル、隨
テ各人ノ犧牲ノ上ニ、初メテ社會生活ト云
フモノハ圓滿ナモノデアアル、私共ハ今日ニ
於テ斯ウ云フ法律案ニ依ツテ、零細ナル金ヲ
農村ニ集メナクモ宜カラウト考ヘル、併シ
若シ幾ラカデモ農村ニ餘剩ガアルナラバ、
而シテソレニ依ツテ生活スル者ガアルナラ
バ、是等ノ人々ニ自分ノ犧牲ニ依ツテ生活セ
シメルコトガ、日本ノ國民トシテ最上ノ喜
ビデナカラウカト考ヘル、故ニ私ハ信ズ
ル、或ハ此法律案ニ依ツテ若干農民ガ利益
ヲ得タ所デ、或ハ此農民ノ利益ヲ幾分犧牲
ニシタ所デ、喜ンデ日本ノ農民ト云フモノ
ハ、自分等ノ仲間デアアル配給機關ノ生活ヲ
保障スルコトハ必然ノモノデアラウト思フ
(ソシナ幼稚ナ時代ヂヤナイ)「農民ノ經濟
思想ヲ何ト考ヘテ居ル」ト呼フ者アリ)又思
フ、斯ウ云フヤウナ法律案ヲ提出ハ、果シ
テ聖旨ニ副フ所以デアアルカドウカ(ソレハ
イカヌ)困ルナト呼フ者アリ)

陛下ノ大御心ハ、所謂萬民ト云フモノハ
齊シク 陛下ノ赤子デアアル、其間ニ何等ノ
取扱上ニ於ケルケジメモナケレバ、差別モ
ナイノガ 陛下ノ大御心デアラウト私ハ考
ヘル 陛下ノ大御心ニハ農民モナケレバ商
人モナイ(謹慎セイ)ト呼フ者アリ)此間ニ
何等ノ變化ハナイ、此變化ノナイコトガ大
御心デアルトスルナラバ、斯ウ云フ差別的
ノ法律案ヲ提出ハ、果シテ其聖旨ニ副フ所
以デアアルカドウカ、是ハ甚ダ疑問ト致サナ
ケレバナラヌ、要スルニ斯ウ云フ風ナ工合
ニ、此法律案ニ對シマシテハ、幾多ノ本質
的ニ於テ提案ノ理由ニ疑ヲ持ツテ居ル、隨テ
島田農林大臣ヨリ少クトモ此問題ニ對シテ
明確ナ御答辯ヲ得タイト思フ
又此法律案ヲ提出シタ動機ニ付テ私ハ聽
キタイ、何ガ故ニ此臨時議會ヲ選ンダカ、

是ハ勿論先程民政黨ノ工藤君カラ質問ガアリマシテ、一日モ早ク此法律案ノ實施ガ必要デアルガ故ニト云フヤウナ御返事デアッタ、併シソレ程私ハ今日此法律案ヲ實施スルコトガ、急ヲ要スルモノデアラカドウカ、果シテ此法律案ガ今日實行セラレテ、今年ノ秋ニ實施セラレカドウカ、否現在ニ於テ其必要ガアルカドウカ、或ハ島田農林大臣ガ提出ノ動機トシテ、議院ノ内部ガ依然トシテ昔ト同ジヤウナ工合ニ御考デアルカモ知レナイ、即チ現廣田内閣ハ、政友會、民政黨ガ支持セラレテ居リマスルカラ、絕對多數ノモノデアリマス、ソレデアリマスカラ、惟フニ此法律案ガ提出セラレラナラバ、民政黨モ政友會モ無條件ニ此案ニ賛成スルト云フヤウナ考カラ、斯ウ云フ動機提出セラレタノデハナカラウカトモ思フ、併シ現在ノ議員、現在ノ代議士ト云フモノハ、昔ノ議員、昔ノ代議士トハ少シ違ッテ居ルヤウニ考ヘル、現實ニ於テ例ヘバ政府與黨デア

施行シヨウト云フ意味カラ御提出ニナッタノデハナカラウカトモ思フ、併ナガラ統制經濟ト云フモノハサウ云フモノデアリマセヌ、統制經濟ノ内容ニ付キマシテハ、私ハ本日ハ申上ゲナイ、併ナガラ眞ノ統制經濟ト云フモノハ、萬人萬我ノ完成ヲ最高目標トスルノガ、其眞ノ目的デアリマス、一階級ノ利益ノミヲ目的トスルモノハ、統制經濟ノ眞ノ目的デアリマセヌ、私ハ此理由カラ動機ヲ伺ヒタイト思フ

民政黨ノ間ニ於キマシテモ、一昨日本案ニ質問スベキカ、スベカラザルカト云フヤウナ問題ニ付テ、非常ナ紛争ガアリ、昨日ニ於キマシテハ、代議士會ニ於テ是ガ決マラナカッタト云フヤウナ話ヲ私ハ聞イテ居ル、現在ノ代議士ノ諸君ハ幹部ニ盲從スルモノデアリマセヌ、惟フニ個々別々ニ自己ノ認識ノ下ニ於テ、自己ノ判斷ニ於テ、正シキモノナラバ之ニ從ヒ、然ラザルモノニ對シテハ之ニ反對スル、神聖ナル政治家ノ職分ニ立戻ッタノデハナカラウカト考ヘル、ソレダカラ唯單ニ政友、民政ノ兩黨ガ與黨デアルガ故、本案直チニ通過スベシト云フヤウナ氣持ヲ以テ、提出シタモノデアルトスルナラバ、ソコニ幾分ノ誤算ガアルノデハナカラウカト考ヘル、或ハ本案ヲ提出シマスル時ニ、所謂官僚ノ誤々統制經濟ノ理由カラ、廣田内閣ノ出現ヲ機トシテ、此際ニ於テ急激ナル、斯様ナ統制經濟ヲ

即チ農林大臣ハ各省大臣トシテ、農林省ノ大臣デアリマスルケレドモ、併ナガラ國務大臣ト致シマシテハ補助ノ責ニ任ズル大臣デアリマス、隨テ其行ヒハ農林省一箇ノ所見ニノミ四ハレテハナリマセヌ、其提出スル法律案ハ農林省ノ案ニ依ッテ出サレテハナリマセヌ、勿論閣議ニ於テ是ハ御相談ニナツタデセウ、併ナガラ閣議ノ際ニ、アナタガ之ヲ御提出ニナツタ時ニ於テ「ノ」ト答ヘル各省大臣ハ恐ラクアルマ、ソレデアラカラ要スルニ自己ニ於テ各省大臣ノ一員デアルト云フコトヲ認識セラレマシテ、即チ國務大臣トシテ閣議ヒノナイコトヲ爲サルヤウニナラナケレバナラスト考ヘル、是等ノ問題ニ關シテマダ幾ツモアリマスケレドモ、委員會ノ席上ニ讓リマシテ、根本的ナ是等ノ問題ニ付キマシテ農林大臣ノ所見ヲ御伺致ス次第デゴザイマス(拍手)

(國務大臣島田俊雄君登壇)

○國務大臣(島田俊雄君) 野中君ノ御質問ニ對シテ御答ラ致シマス、本案提出ノ理由ニ付キマシテハ先ニ述ベマシタ通りデアリマス、又他ノ方々ノ質問ニ對シテ御答ラシタコトニ依ッテ御諒承ラ願ヒマス、唯其動機ト云フコトニ付テ、何カ機略ヲ含シデ居ルヤウナ意味ノ御話ガアリマシタガ、左様ナコトハ決シテアリマセヌト云フコトヲ言明致シテ置キマス、是ハ全ク我國ノ農村問題中、米穀問題ニ關シテ、國家の見地ヨリ極

メテ重要適切ナ場合デアルト、斯様ニ考ヘテ提案ラ致シタ次第デアルト云フ風ニ御諒承ラ願ヒタイノデアリマス、隨テ聖旨云々ト云フ御言葉ガアツタヤウデアリマスガ、此點ニ付テハ以上ヲ以テ私ノ本意、此内閣ガ之ヲ提案シタル理由ガ、先程申シタヤウナ純眞ナ立場ニアルト云フコトヲ御諒承下サレバ、御諒解下サルコトト思ヒマス

尙ホ是ハ數字ノ問題デアリマスカラ、私ハ強ヒテ茲ニ申上ゲルノ必要ハナイト思ヒマスガ、或ハ申上ゲテ置ク方ガ適當カトモ考ヘマスカラ申上ゲテ置キマスガ、先程野中君ノ御話ニナリマシタ人口全體六千四百五十萬、其中有業人口二千九百萬、農業者千四百萬云々ト云フコトヲ御話ニナリマシテ、此點カラ言ヘバ全人口ノ中僅ニ二二%ガ農民デアルト云フ御話デアリマシタガ、其意味ニ數字ヲ言ヒマスレバ其通りデアリマスケレドモ、六千四百萬ノ人口中ニハ其半バハ女子デアル、而シテ又是ニハ業務ニ從事スルコトノ出來ナイ少年、老年ノ者モ居ル譯デアリマシテ、二千九百萬ノ有業人口ト云フノハ、左様ナ者ヲ除イタ職業ノアル者ヲ言フノデアリマシテ、隨テ其有業人口中ノ千四百萬、野中君ノ御引キニナリマシタ通りノ數字ヲ正シイモノト致シマスルト、二千九百萬ノ有業人口中千四百萬ハ農業者デアルトスルナラバ、全人口ノ半分ハ農業者デアルト云フコトニ見テ差支ヘナイ(拍手) 即チ農村ノ問題、農民ノ問題ハ、全國人口ノ上カラ申シマス、其半數ノ問題デアル、斯様ニ自分ハ考ヘテ居ルト云フコトヲ一言附加ヘテ置キマス(拍手)

○野中徹也君 此席カラ發言ヲ御許シ願ヒマス

○議長(富田幸次郎君) 御許シ致シマス

○野中徹也君 今ノ人口ノ問題デアリマス

ルガ、農林大臣ノ御考ハ少シ間違ッテ居ルカノ如ク考ヘマス、ソレハ婦女子モ勿論農民、此農業ノ中ニハ含マレテ居リマス、農

民ノ家族モ含マレテ居リマス、唯内閣調査局ノ統計ニ依リマス、疑ハシイ者ハ是ハ全部無業者ノ中ニ入ッテ居リマスルカラ、サウ云フヤウナ意味合デ、或ハ半農半商ノ人ハ此中ニハ入ッテ居リマス、併ナガラ兎ニ角農民ノ全體ヲ合セテ一千四百萬デアルトハ、是ハ間違ヒナイ事實デゴザイマスカラ、此點ハ特ニ附加ヘテ御説明申上ゲテ置キマス

○議長(富田幸次郎君) 是ニテ質疑ハ終了

致シマシタ、各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○松永東君 日程第一乃至第三ノ三案ヲ一括シテ議長指名三十六名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○松永東君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、明後十一日定期ヨリ特ニ本會議ヲ開クコト、ナシ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(富田幸次郎君) 松永君提出ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(富田幸次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十八分散會

衆議院議事速記第五號中正誤

頁	段	行	誤	正
八三	四	六	併ナガラ	併ナガラ
八四	二	二六	答ヲ臨キ	答ヲ臨キ
八八	二	一〇	一人當リ	二キロ當
八八	二	一一	五十圓	三十七圓